

平成28年度
社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業報告・決算

あいちネットワーク



社会福祉
法 人

開成町社会福祉協議会

平成28年度

社会福祉法人 開成町社会福祉協議会 事業報告

はじめに

開成町社会福祉協議会は、一人ひとりの声を大切に、生涯にわたる生活を総合的に支えるしくみをコミュニティワークの実践をつうじて築いていくこと、開成町らしさあふれる”共助”文化の創造をめざして、平成28年度は次の事業・活動に取り組みましたので報告いたします。

目次

■事業報告 総括表	2
■福祉・企画 部門	
地域福祉活動推進 関係	
01 自治会福祉活動の支援	7
02 ボランティア活動の推進（ボランティアセンター）	8
03 当事者活動の支援	10
04 広報啓発事業の充実	13
05 福祉教育事業の充実	15
法人運営 関係	
06 事業推進体制の整備	17
■福祉サービス 部門	
福祉サービスの利用支援 関係	
07 安心センター事業の充実	25
08 総合相談・援護事業の充実	25
在宅福祉サービス 関係	
09 在宅福祉サービスの推進（介護保険外）	27
10 介護保険事業の推進	29
11 地域包括支援センター事業の推進	30
■資 料	

平成28年度社会福法人開成町社会福祉協議会
事業報告 総括表

◎：計画以上の成果（100%以上）
○：概ね計画通りの成果（60～100%）
△：計画どおり進まなかった（30～60%未満）
■：成果がない・未実施・未実施（30%未満）

事業名称	事業 報告 ペー ジNo.	評価	評価の説明	改善策及び今後の取り組み
福祉・企画部門				
O1自治会福祉活動の支援				
① 自治会福祉活動サポート事業の実施	7	○	本事業助成金が実効性を伴って活用されているため。	自治会域における共助活動のレベルアップと支援方策のアップデート
② 自治会福祉部長連絡会の開催	7	○	本連絡会において自治会福祉部長各位の課題認識の共有化が図れているため。	・開成町らしい共助活動のレベルアップ ・地域における新たな福祉課題の把握と柔軟・先駆的な取り組みへのアプローチ強化
③ 自治会福祉部の育成・支援	7	○	本会の運動体としての機能発揮が少なからず図れているため。	・①自治会福祉活動サポート事業及び②自治会福祉部長連絡会とリンクさせながらの新基軸に基づく支援 ・28年度開催の地区別ふくし座談会へ寄せられた意見等の適切な反映・フィードバック
④ 地区別ふくし座談会の開催	8	○	本会の運動体としての機能発揮が少なからず図れているため。	・寄せられたご意見の適切・リアルタイムな事業反映とフィードバック ・オープン参加で公開性を高めるアプローチと真に福祉ニーズを抱える当事者の出席促進
O2ボランティアセンターの推進				
① ボランティア講座の開催	8	○		
① AED講習会	8	○	AEDを福祉会館に設置するだけではなく、AEDの使い方を学び、救命対応ができるように講習会を開催できたため。	・受講対象者を一般住民や町内公共機関への拡大 ・誰もがAEDの使用が可能で、救命措置対応ができる町となるよう取り組み
② 手話講習会（入門講座）	8	○	参加10人（1回平均7人強）の参加が得られたため。	・他町との連携による広域事業展開
② ボランティア活動交流会の開催	9	△	年間2回開催予定だったが、1回の開催となり、全登録団体の出席が得られなかったため	・各ボランティアグループの活動把握と支援 ・地域における新たな福祉課題解決に向けた組織化
③ ボランティアの発掘・育成	9	△	団体及び個人の登録数が前年度を上回れなかったため。	・個人、団体の活動状況の把握 ・地域と連携したニーズ、マッチング方法の確立（生活支援体制整備業務との連携強化）
④ ボランティアグループ等の育成・支援	9	○	助成金交付申請手続きにおいて各団体の活動状況が把握できたため。	各ボランティアグループの活動把握と支援
⑤ お互いさま活動「ちょこボラ」の実施	9	△	2件派遣はできましたが、周知等不足しているため。	・生活支援体制整備業務と連携 ・地域のニーズを地域のボランティアで対応できる体制づくりに向けた取り組み
⑥ ボランティアセンター機能の整備・強化	10	○	災害ボランティアセンターに関する協定を町と締結できたため。	・地域と連携したニーズ、マッチング方法の確立（生活支援体制整備業務との連携強化） ・市民活動的なボランティア活動の把握
⑦ 足柄上地区災害ボランティアセンター運営訓練	10	◎	中井町社協幹事のもと、訓練を実施でき理解が深まったため。	・広域連携による運営 ・平成29年度は9県都市総合防災訓練（H29.9.1小田原市於）への参画予定。
O3当事者活動の支援				
（高齢者）				
① 敬老会の開催	10	△	敬老会全体としては概ね成功したが、長寿夫妻芳名の広報掲載に誤りがあったため。	準備・役割分担の明確化。当事者家族の参加。長寿夫妻申し込みの方法変更。

平成28年度社会福祉法人開成町社会福祉協議会
事業報告 総括表

◎：計画以上の成果（100%以上）
○：概ね計画通りの成果（60～100%）
△：計画どおり進まなかった（30～60%未満）
■：成果がない・未実施・未実施（30%未満）

事業名称	事業報告ページNo.	評価	評価の説明	改善策及び今後の取り組み
② ふれあい交流会の開催	11	△	・参加される方も例年と変化なく、新規参加者少なかったため。 ・日頃外出の機会が少ない方を中心とした案内・勧誘ができなかったため（前回の参加者が主となった）。 ・参加された方には、楽しいひと時を過ごしていただけたため。	・参加対象者の見直しと外出の機会の少ない高齢者・障がい者等の社会参加の機会とした取り組み。 ・観覧型から参加者型への移行。
③ 老人クラブ連合会の育成・支援	11	○	・会員数は1,000人以上を維持できたため。 ・部会を再整備し、役員の負担軽減（分担の均一化）ができたため。	部会機能の明確化。
（障がい児者）				
① 足柄上郡障がい者ボウリング大会の開催	11	○	当事者団体、作業所以外の新たな参加者を発掘できたため。	参加費、参加方法、参加人数などの検討（次年度以降の開催検討）。
② 障がい児者ネットワーク会議の開催	11	○	・事務局、当事者、関係機関との情報交換ができたため。 ・新たな参加者が得られたため。	・各機関、団体の活動把握と年2回開催の定着化、学習機会要素の開催。 ・地域における新たな課題解決に向けた開催
③ 身体障がい者福祉協会と心身障がい児者と家族の会かもの育成・支援	12	○	新たなイベントを実施し、ボランティアの参加も得られたため。	協力ボランティアの発掘と定期的な協力を得る。
（ひとり親家庭）				
① ひとり親家庭ネットワーク会議の開催	12	○	関係機関の取り組み状況や情報交換が図れたため。	当事者の現状把握や関係機関との情報の共有化を図る。
② 母子寡婦福祉会つくしの会の育成・支援	12	△	新規会員獲得のためのPR等を行っているものの会員数が伸びていないため。	当事者相互の交流を目的とした事業のほか、学習会等の企画やHPの活用により組織強化（新規会員募集）を図る。
（子育て支援）				
① 子育て中の親子のサロン「チビっ子らんど」の開放	12	○	おはなし会等の参加を通じ、親子の交流や情報交換の機会となったため。	・HP等を活用した事業PR強化 ・他機関の子育て支援事業との連携
② チビっ子らんどフェスタの開催	13	○	地域の団体や機関との協力のもと開催、多数の参加が得られたため。	子育て世代への社協PRの一環として開催（フリマ・工作教室・親向けの講座など内容の充実）
04広報啓発事業の充実				
① 広報紙「社協だよりかいせい」と「かいせい社協かわら版」	13	○	1月より社協だより表紙を写真1枚にし、親しみやすい広報紙にできた	・モニター員の増員（現在2人） ・広報紙設置場所の拡大検討。
○ ② 社会福祉大会の開催	14	○	対外的PR含め、30周年記念大会に相応しい内容として開催できた考えるため。	当町らしい共助文化を育み、創造する場面としての内容刷新（リニューアル）
③ ホームページの公開・更新	14	○	定期更新以外にタイムリーな記事を掲載することができたため。	常にタイムリーな記事を掲載するとともに、住民が必要とする情報（イベント・募集など）を掲載（提供）する。
④ 地区別かいせい社協説明会の開催（会員加入の促進とのリンク）	14	○	①本会概要⇒②会費納入手順の一体性・連続性を考慮しつつ、地域特性を踏まえ、赴いた地区担当職員が説明できていると考えるため。	会員制度含む本会の必要性の訴求
05福祉教育事業の充実				
① 福祉ふれあい教育推進事業への助成	15	◎	・申請・交付・事業実施・報告まで混乱なく実施できたため。 ・新たな取り組みも実施できたため。	・助成金制度を広く活用して福祉教育の充実へ寄与する。 ・近年助成金申請の内容が「手話体験学習」に偏っているため福祉教育関係者連絡会等でPR強化。
② 小・中学生福祉作文コンクールの実施	15	○	・目標値（応募数）と比較すると574／580と目標を下回ってしまいましたが、昨年度と比較すると33増（小学生13増、④中学生20増）となったため。 ・神奈川県福祉作文コンクールにおいて例年以上の成果を収められたため。	審査方法の改善について、審査ポイントの採点（配点）及び相対評価方式の統一

平成28年度社会福法人開成町社会福祉協議会
事業報告 総括表

◎：計画以上の成果（100%以上）
○：概ね計画通りの成果（60～100%）
△：計画どおり進まなかった（30～60%未満）
■：成果がない・未実施・未実施（30%未満）

事業名称	事業報告ページNo.	評価	評価の説明	改善策及び今後の取り組み
○ ③ 親子ふくしー日教室の開催	15	△	・着手、開催時期が遅れてしまったが、各種団体の協力を得て体験型の福祉教室が開催できたため。 ・新規に案内チラシを作成しPRを強化しましたが、昨年度の参加者数を大きく下回ってしまったため。	・参加、体験型の事業として内容の充実（盲導犬のデモンストレーションの実施）。 ・体験コーナーの終了時間を広報記載していなかったため、終了後来館された方がいられたので改善する。
④ 福祉教育関係者連絡会の開催	16	△	・年間2回開催の目標に対して、1回の開催となってしまったため。 ・各機関の情報交換ができ、相互間の理解が深められたため。	情報交換の場としての定期開催。 助成金の有効活用いただくための情報提供の場としての開催。
⑥ 資格取得のための学生等実習生の受入	16	△	受入予定者のうち2人が履修不足により辞退されました。	実習指導者の研修受講済の職員が1人しかいないため、有資格者の研修受講により積極的な受け入れ体制を整える。

06事業推進体制の整備

1) 会務等

① 理事会の開催	17	○	理事会への出席率も高く、毎回活発な議論が交わされているため。	自律的法人経営をめざした的確な判断と地域に開かれた組織体制の確立
② 監事会の開催	17	○	毎回適切に監査いただき、活発な質問や意見、指摘が表出され、都度説明を加えることにより、監査機関としての役割発揮が果たせていると考えるため。	新たに整備した監査マニュアルに沿った監査の実施。
③ 評議員会の開催	18	○	毎回活発な質問や意見が表出され、都度説明を加えることにより、議決機関としての役割発揮が果たせていると考えるため。	自律的法人経営をめざした的確な判断と地域に開かれた組織体制の確立
④ 理事担当部会（総務・事業）の開催	18	○	毎回活発な質問や意見が表出され、都度説明を加えることにより、理事担当部会としての役割発揮が果たせていると考えるため。	自律的法人経営をめざした理事担当部会の機能強化
⑤ トップミーティング（経営者会議）の開催	19	○	毎回活発な質問や意見が表出され、都度説明を加えることにより、経営者会議としての役割発揮が果たせていると考えるため。	自律的法人経営をめざしたトップミーティング（経営者会議）の機能強化（経営判断）
⑥ 役員研修会の開催	19	○	本研修をとおし、役員各位の識見向上に少なからず寄与できていると考えるため。	役員各位の出席率向上
⑦ 役員選考委員会の開催	20	○	必要な手続きとして機能しているため。	役員の任期満了・改選期に随時設置・開催
⑧ 評議員選任・解任委員会の開催（新規）	20	○	必要な手続きとして機能しているため。	評議員の任期満了・改選期及び選出母体側都合による任期途中の交替期に随時設置・開催
⑨ 職員会議の開催	20	△	PDCAミーティングは12回開催できましたが、部門ミーティングにおいては定期開催ができなかったため。	・PDCAミーティングについては、事業進捗チェック機能の強化。 ・部門（福祉企画、福祉サービス）ミーティングの開催及び課題の共有と分析強化。
◎ ⑩ 職員の資格取得促進と各種研修等への参加	20	△	各種研修の受講はできましたが、新たな資格（国家資格、ケアマネジャー）取得には至らなかったため。	職員の資質及び専門性の向上を図るための資格（国家資格、ケアマネジャー）取得

2) 財源の確保

◎ ① 会員加入の促進と会員構成の拡充（一部新規）	21	○	一般会員（世帯）数の増が必ずしも町内全世帯数の増と比例していませんが、少なくとも世帯数・口数とも前年比プラスとなったため。	現行の加入率61.9%（H28実績）を自治会加入率相当の約80%まで引き上げることを当座の目標とし（＝自治会加入世帯は100%本会会員）、最終的には町内全世帯加入をめざします。
② 寄付寄託者の拡大	21	△	前年実績を下回ったため。	PRの強化及び使途の見える化に努めます。
③ 福祉基金の増強	21	△	基金取り崩しを行わざるをえなかったため。	避難的基金取り崩しの事態回避と積み増しの実現
④ 共同募金の実施	22	○	前年実績を上回ることができたため。	PRの強化及び使途の見える化に努めます。

平成28年度社会福法人開成町社会福祉協議会
事業報告 総括表

◎：計画以上の成果（100%以上）
○：概ね計画通りの成果（60～100%）
△：計画どおり進まなかった（30～60%未満）
■：成果がない・未実施・未実施（30%未満）

事業名称	事業報告ページNo.	評価	評価の説明	改善策及び今後の取り組み
3) 連絡調整機能の充実				
① 公私社会福祉事業関係機関・団体等との連携	22	○	関係機関・団体と連携し、各協議会等へ参画できたため	今後も積極的に関係機関・団体と連携協働し、地域福祉の増進に努め、社協の存在意義を強く示す
② 生活支援体制整備業務の実施（生活支援コーディネーターの配置（町受託事業））	22	○	今年度新規に受託した事業として、コーディネーターを配置でき、地域調査や研修会の開催ができました。生活支援サービス推進協議会について、保険健康課と協働して開催できました。	本事業を、地域住民へわかりやすく説明ができる媒体として作成したガイドを配架してさらに周知を図ります。継続してセミナーや研修会開催して、本事業の周知を図り、地域づくりに努めます。
② 福祉会館の管理・運営（※指定管理者制度事業）	23	■	前年度比の利用実績が、回数212回減・人数212人減・時数1,003時間減・稼働率2.8%減とすべてにおいて下回ってしまっています。抜本的に担当職員の稼働率2%アップに向けた取り組みや企画・対応能力が欠如していました。	・会館イベント・会館事業の創出（チャリティーコンサート・夏休みプログラム・避難所宿泊体験など） ・小学生以下の子どもと母親が属する子育てサークル・団体の利用料無料化（町との調整・協議要） ・新規利用者・団体への初回（体験）無料貸し出し（町との調整・協議要） ・現行のPR（広報紙掲載・案内パンフレット・HP掲載）を維持しながら、公共施設・各自治会施設・町内店舗（賛助会員）などに案内ポスター貼付・パンフレットの設置をお願いする。
③ 民生委員児童委員協議会の運営・支援	24	◎	平成28年12月に一斉改選があり、定数が35人（2人増）となりました。（現在1人欠員状態） 定例会等の開催及び研修会の開催（調整）、補助金等の申請事務等	平成30年度新たな自治会が立ち上げ予定のため、委員委嘱に向けて町との連携 委員活動支援強化と独自事業の展開

福祉サービス部門

07安心センター事業の充実

① 日常生活自立支援事業の実施（※県社協受託事業）	25	△	・相談、審査、契約、支援、モニタリングの一連のプロセスが実行できていないため。 ・生活支援員の不足により専門員が生活支援員を兼務する状況があるため。	・専門員及び生活支援員の資質向上と適正な支援が行われるように管理監督を強化。 ・専門員と生活支援員がそれぞれの役割を踏まえた相互牽制機能できる体制整備。
② 福祉対象者カルテの整備・活用	25	○	更新は年間2回実施できた。掲載人数については目標の820件（H29.2更新時）は達成できなかったため。	対象者の理解（同意）を得て、必要な方が記載されるようPRする。
③ 法人後見事業の調査・研究	25	△	足柄上地区ネットワーク連絡会等へ参加し、情報交換や近隣の状況を把握ができましたが、本会の方向性を確立することはできなかったため。	近隣社協（足柄上地区社協連絡会）で課題の一つとして広域連携事業として検討する。

08総合相談・援護事業の充実

① 総合生活相談の実施	25	△	・目標の相談件数80件を達成することができなかったため。 ・一般相談員研修の開催時期が遅れたため。	公共施設等に案内ポスターを掲示するなど広報・案内を強化して、町民のみなさんに「総合生活相談所」を知っていただき、日常生活上のあらゆる相談に応じ、関係機関との連携のもと、適切な助言と援助を行うこと・的確な機関につなげ、福祉ニーズの把握から解決までの一貫した相談援助体制を確立してまいります。
② 生活福祉資金の貸付（※県社協受託事業）	26	○	低所得、障がい者世帯等の資金貸付に関する問い合わせ、相談対応を行えた。	相談者や借受者への他サービスへのつなぎフォロー
③ 小口（緊急）資金の貸付	26	---	相談件数なし	・他の支援策（ライフサポート事業／神奈川県社協）との連携
④ 年末たすけあい援護費の支給	27	○	効果的な配分ができた。	配分の妥当性（使途）の確認。
⑤ 交通遺児援護費（県社協受託事業）の支給	27	---		

平成28年度社会福祉法人開成町社会福祉協議会
事業報告 総括表

◎：計画以上の成果（100%以上）
○：概ね計画通りの成果（60～100%）
△：計画どおり進まなかった（30～60%未満）
■：成果がない・未実施・未実施（30%未満）

事業名称	事業 報告 ページ No.	評価	評価の説明	改善策及び今後の取り組み
⑥ 災害見舞金支給	27	---		
09在宅福祉サービスの推進				
① 福祉機器貸与事業の実施	27	○	・本会所有の機器を希望者に貸与できたため。	・利用者モニタリングと福祉機器メンテナンス。 ・使用できなくなった機器の廃棄と、在庫管理スペースの確保
② ふくし移送サービスの実施	27	○	利用者の利便性向上に向けて要項の一部を変更したことにより利用登録、利用件数が増加したため。	支援者の発掘及び教育。利用者モニタリングの継続。
③ 軽度生活援助事業の実施	28	○	関係機関と連携のもとサービス利用につなげることができたため。	・事業名称の変更、対象範囲の拡大についてPR強化する ・新規利用者（若年層）獲得
④ ミニ・デイサービス「ふれあい金曜日」の実施	28	○	年間計画に沿い、参加者・ボランティアとともにプログラムを計画、実施することができたため。	・健康づくりのメニューやレクリエーションを取り入れつつ、参加者とボランティアとともにプログラムを検討する体制づくり ・新たな参加者を募集
⑤ レスパイト（障がい児者家族等の休息）サービスの実施	29	△	障がい者デイサービス（民間事業所）利用者が多く、本会のレスパイトサービスの利用にへつなげていないため。	・当事者団体と共催し、多様なプログラムを実施し登録、利用の拡大 ・ニーズ調査（必要サービスの聞き取り）。
○ ⑥ コミュニティバスの運行	29	○	試行運行2年次目としての運行及び利用状況調査が実施できたため。 地域の声、利用者要望への可能な限り対応できたため。	・サービスの質の維持に向けた運転員ミーティングの実施 ・利用者要望の把握と今後の運行形態の協議 ・巡回バスと他の事業との連携
10介護保険事業の推進				
① 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）の実施（“介護予防”含む）	29	◎	年間を通じプラン立案件数を維持することができたため。	新規ケースの受け入れに対し可能な限り対応できるよう事業所の体制整備（新規採用）
② 通所介護事業（デイサービス）の実施（“介護予防”を含む）	30	△	・利用件数（収入）が目標値を大きく下回ったため。	さらなる営業活動とPRに努めるとともに、新規サービス（配食他）で新たな利用者を獲得する。
③ 介護保険事業利用者等意向調査の実施	30	○	回収率は低いものの、回答内容については比較的満足度が高い回答が得られた	多様なニーズや要望への対応能力や職員の資質・専門性の向上に努め、よりよいサービス提供をめざす
11地域包括支援センター事業の推進				
① 介護予防事業・二次予防事業の実施	31	○	訪問・電話・ポスティング等により地域包括支援センターの周知が図れたため。	事業の目的の明確化と、聞き取り調査のルール等の詳細について早期の打ち合わせが必要と思われる。
② 介護予防ケアマネジメント業務	31	◎	介護予防・日常生活自立支援総合事業の開始に伴い請求事務が煩雑になりましたが、大きな混乱を招くことなく対応できたため。	地域包括支援センター配置のプラン立案担当者の配置（新規採用）・プラン立案を受けていただける居宅介護支援事業所の確保。
③ 相談窓口・支援事業	31	○	住民からの相談に対し概ね包括三職種での対応が図れたため。	相談窓口体制の整備と包括支援センターの周知。
④ 権利擁護業務	31	○	町福祉課と連携を図り、年度末に相談ケースの振り返りを行なったため。	・消費者被害や虐待防止のための啓蒙活動や周知活動の実施。 ・早期発見早期対応。
⑤ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	31	○	初動に課題はありますが、寄せられたケースには三職種連携のもと対応できたため。	相談窓口体制の整備
⑥ 任意事業の実施	32	○	町と連携して開催ができ、多くの方に参加いただけたため。	・町との情報交換を密に行い、介護者の求めるテーマの把握が必要。 ・介護家族の会の発足に向けたきっかけになるような取り組み。
⑦ その他	32	○	定期的に開催し地域包括支援センターの資質向上につながったため。	①の会議の運営について、構成員の役割を見出す（各関係機関が担えることを積極的に意見交換する）場に変更していく。

【評価基準】 ◎：計画以上の成果（100%以上）
 △：計画どおり進まなかった（30～60%未満）

○：概ね計画どおりの成果（60～100%）
 ■：成果がない・未達・未実施（30%未満）

□ 福祉・企画部門 □

地域福祉活動推進 関係

01 自治会福祉活動の支援

① 自治会福祉活動サポート事業の実施		担当:土井高史	
内容	暮らしに身近な小地域（自治会エリア）において、さまざまな人々が互いにたすけあい、交流できるようにする取り組み（自治会福祉活動）が、それぞれの地区にふさわしい創意と工夫を活かしたものであるものとして主体的かつ継続的に展開できるよう支援するために、サポート事業を実施しました（助成金の交付、地区担当職員の派遣等）。 具体的には、自治会福祉活動の推進に意欲的に取り組む自治会を実施主体とし、次のメニュー例のうちいずれかを、地区の特性を活かしてすすめました。 ステップ1（基本事業） ①啓発活動 ～ ふれあい交流活動、広報啓発活動 ②援助活動 ～ 定期的訪問・見守り活動、ふれあい・いきいきサロン活動、その他 ステップ2（選択事業） ①認知症高齢者を支える活動 ②介護予防を目的とした活動		
期日	通年		
対象地区	①岡 野、②金井島、③上延沢、④下延沢、⑤円 中、⑥宮 台、⑦牛 島、 ⑧上 島、⑨河原町、⑩榎 本、⑪中家村、⑫下 島 ⑬パレットガーデン *計13地区		
助成額	計1,550,000円（＊1地区上限130,000円、平均119,000円）		
実績・成果	ふれあい・いきいきサロン等、自治会域においてそれぞれの地域特性を踏まえた①啓発活動と②援助活動が、自治会福祉部を中心に当町らしい取り組みとして展開されています。福祉活動における住民自治（共助文化）の実現へ向けて、本事業助成金が実効性を伴って活用されています（当事者を包み、支え、励まし、つなげる）。		
課題	・参加者の固定化、事業のマンネリ化からの脱却 ・新たな福祉ニーズに着目した柔軟な事業展開視座の涵養		
評価	○	評価の説明	本事業助成金が実効性を伴って活用されているため。
改善策及び今後の取り組み	自治会域における共助活動のレベルアップと支援方策のアップデート		
② 自治会福祉部長連絡会の開催			
担当:土井高史			
内容	各地区の事業進捗状況についての情報交換と今後の新たな活動展開及び課題についての意見交換等を行うために、連絡会を2回開催しました。		
期日	①7月 4日（月） ②3月15日（水） *計2回		
会場	福祉会館		
参加者数	計24人		
実績・成果	主に自治会福祉部長を対象に、相互の情報・意見交換を行うべく開催しています。課題認識の共有化とその打開策模索の場として機能しています。		
課題	より生活支援型活動を意識した取り組みへのアプローチ強化		
評価	○	評価の説明	本連絡会において自治会福祉部長各位の課題認識の共有化が図れているため。
改善策及び今後の取り組み	・開成町らしい共助活動のレベルアップ ・地域における新たな福祉課題の把握と柔軟・先駆的な取り組みへのアプローチ強化		
③ 自治会福祉部の育成・支援			
担当:土井高史			
内容	地区担当職員（福祉活動専門員）を派遣し、情報提供・助言等を行うことにより、各地区の特性に応じた福祉活動を支援しました。		
期日	通年		
職員派遣回数	延71回（＊全事業計／前年比9回増）		
実績・成果	派遣時における情報提供・助言等をつうじて、各地区の特性に応じた福祉活動が主体的・継続的に展開できるよう支援しました（コミュニティワーク実践）。		
課題	地区担当職員の地域援助技術たるコミュニティワークのスキルアップ（情報収集、分析、提供能力）		
評価	○	評価の説明	本会の運動体としての機能発揮が少なからず図れているため。
改善策及び今後の取り組み	・①自治会福祉活動サポート事業及び②自治会福祉部長連絡会とリンクさせながらの新基軸に基づく支援 ・28年度開催の地区別ふくし座談会へ寄せられた意見等の適切な反映・フィードバック		

④ 地区別ふくし座談会の開催

担当:土井高史

内容	役職員が町内全地区へ赴き、住民の方々と膝を交えながらこれからの福祉のありかた等とともに話し合うことにより、福祉活動における自治の実現をめざしたさまざまな取り組みのより一層の充実・発展を図るとともに、開成町らしい福祉コミュニティ（共助文化）づくりに寄与することを目的として開催しました（隔年開催）。 ①説明 ～ 開成町のたすけあい活動はいまー ②話し合い ～ ずっとこのまちで安心して暮らしていくためにー 疑問や不安を出し合って、解決へ向けてみんなで話し合いましょう なお、全地区終了後、お寄せいただいたすべてのご意見やご要望をテーマごとに分類・整理し、「報告書」として発行しました。		
期日	① 9月24日（土／岡 野） ② 9月27日（火／上延沢） ③ 9月30日（金／榎 本） ④ 10月 1日（土／牛 島） ⑤ 10月15日（土／宮 台） ⑥ 10月16日（日／上 島）	⑦ 10月21日（金／下延沢） ⑧ 10月22日（土／中家村） ⑨ 11月 5日（土／河原町） ⑩ 11月12日（土／円 中） ⑪⑫ 13日（日／金井島、下 島） ⑬ 11月20日（日／パレットガーデン） ＊計13回	
会場	当該地区の自治会館等集会施設		
参加者数	延329人 ＊1地区平均25.3人／前回（H26）比2人増		
共催	開催地の自治会		
実績・成果	住民各位が本来有している「福祉力」をいかに発露させられるか（エンパワーメント）を主眼として開催しています（コミュニティワーク実践）が、ご発言のひとつひとつから自治・共助意識の着実な醸成・高まりが感じ取れます。また、住民各位の抱かれる想いや要望、実態と本会の描く将来像（ビジョン）とが乖離することのないよう働く「調整弁」としての役割も果たせています。 特に多かった「巡回バス」へのご要望については、29年度からの本格稼働・運行に際しその結果を反映しています。		
課題	・組長会議以外の単独開催地区における参加者が関係者のみに矮小化されつつある傾向からの脱却 ・映像をとおして視覚に訴えるプレゼンテーション手段としての効果的ツールの有効活用		
評価	○	評価の説明	本会の運動体としての機能発揮が少なからず図れているため。
改善策及び今後の取り組み	・寄せられたご意見の適切・リアルタイムな事業反映とフィードバック ・オープン参加で公開性を高めるアプローチと真に福祉ニーズを抱える当事者の出席促進		

02 ボランティアセンター事業の推進

① ボランティア講座の開催

担当:高橋政幸

内容	ボランティア活動に興味のある方々を対象として、知識の習得と住民の主體的な福祉活動であるボランティア活動への参加を促進することを目的に、ボランティア活動入門編としての手話講座、AED講習会を開催しました。		
①AED講習会			
期日	①9月28日（水） ②9月30日（金）	＊計2回	
会場	福祉会館		
協力	フクダ電子神奈川販売(株)		
参加者数	①12人 ②10人	＊計22人	
実績・成果	2004年にAEDの使用が一般の方でも認められ12年が経過し、2010年にガイドラインが見直されたことで、以前受講された方を含めて、私たち一般の者が、「突然の心肺停止」に遭遇した時に的確な救命対応ができるように、わかりやすく説明していただきました。		
課題	1～2回の受講だけではなく、年に1回開催して受講していただき、誰もがAED（自動体外式除細動器）の使用が可能で、救命措置対応ができるようする。		
評価	○	評価の説明	AEDを福祉会館に設置するだけではなく、AEDの使い方を学び、救命対応ができるように講習会を開催できたため。
改善策及び今後の取り組み	・受講対象者を一般住民や町内公共機関への拡大 ・誰もがAEDの使用が可能で、救命措置対応ができる町となるよう取り組み		
②手話講習会（入門講座）			
期日	①2月10日（金） ②2月17日（金） ③2月24日（金）	④3月 3日（金） ⑤3月10日（金） ⑥3月17日（金） ＊計6回	
会場	福祉会館		
協力	手話サークルかたつむり、足柄上ろうあ福祉協会		
参加者数	10人（延44人）		

実績・成果	知識技能の習得がすすみ、興味関心が深まりました。受講者の一部に協力いただいたサークルへ加入された方もあり、グループの機能強化にもつながりました。		
課題	・新たな内容の検討（講座内容の固定化） ・受講者のフォローアップ（ボランティア活動へつなぎ）		
評価	○	評価の説明	参加10人（1回平均7人強）の参加が得られたため。
改善策及び今後の取り組み	・他町との連携による広域事業展開		

② ボランティア活動交流会の開催

担当:高橋政幸

内容	町内外で活動するボランティアグループ等が集い、お互いの交流を深め、情報と課題を共有し、ボランティアネットワークの拡大を図ることを目的に、交流会を開催しました。 グループの活動紹介、情報・意見交換等。		
期日	7月7日（木）		
会場	福祉会館		
参加者数	14人（7グループ）		
実績・成果	情報・意見交換が活発に行われ、他グループの活動に興味をもたれる等相互の理解が深まりました。その反面、当初年間2回の開催予定だったが、2回目の開催ができませんでした。		
課題	情報交換の場としての定期開催		
評価	△	評価の説明	年間2回開催予定だったが、1回の開催となり、全登録団体の出席が得られなかったため
改善策及び今後の取り組み	・各ボランティアグループの活動把握と支援 ・地域における新たな福祉課題解決に向けた組織化		

③ ボランティアの発掘・育成

担当:高橋政幸

内容	ボランティアの発掘・育成を図り、登録促進・育成等を促進しました。		
期日	通年		
登録者数	①グループ	11グループ（155人）	*計 175人
	②個人	20人	*前年比 10人減
実績・成果	新規登録1団体、活動中止1団体がありました。		
課題	・地域包括ケアシステム構築に向けた、地域の担い手（個人登録ボランティア）の確保 ・地域と連携したニーズ、マッチング方法の確立		
評価	△	評価の説明	団体及び個人の登録数が前年度を上回れなかったため。
改善策及び今後の取り組み	・個人、団体の活動状況の把握 ・地域と連携したニーズ、マッチング方法の確立（生活支援体制整備業務との連携強化）		

④ ボランティアグループ等の育成・支援

担当:高橋政幸

内容	情報提供等を行うとともに、活動費の一部を助成し、活動を支援しました。		
期日	通年		
助成数・金額	9グループ	計209,000円	（前年度比 2団体増 9,000円増）
実績・成果	地域で活動されている各グループへ活動費を助成し支援することにより、安定的・継続的に活動が展開されています。また、各グループの活動内容・状況等が把握できます。 必要な団体に貸出ロッカーの貸出をし、利便が向上しました。		
課題	・財源の確保と助成対象グループの固定化 ・助成金交付に係る審査、交付時期		
評価	○	評価の説明	助成金交付申請手続きにおいて各団体の活動状況が把握できたため。
改善策及び今後の取り組み	各ボランティアグループの活動把握と支援		

⑤ お互いさま活動「ちょこボラ」の実施

担当:高橋政幸

内容	軽度生活援助事業で派遣していた内容の一部を「生活支援ボランティア派遣」と位置づけ、ニーズと派遣のコーディネート（相談、登録、マッチング、派遣）を行いました。 *ゴミ出し *電球交換 *雨戸締め *移送サービス同乗		
期日	通年		
派遣件数	2件		
登録者数	2人		
実績・成果	ニーズ（相談）は4件の問い合わせがあり、2件派遣いたしました。		
課題	登録や派遣（利用）につながる内容にリニューアルする		

評価	△	評価の説明	2件派遣はできましたが、周知等不足しているため。
改善策及び今後の取り組み	・生活支援体制整備業務と連携 ・地域のニーズを地域のボランティアで対応できる体制づくりに向けた取り組み		
⑥ ボランティアセンター機能の整備・強化			担当:高橋政幸
内容	ボランティア活動に関する情報の整備・提供、相談及びボランティアの登録促進・育成等を行うことにより、ボランティアセンター拠点機能の整備・強化を図りました。		
期日	通年		
実績・成果	・ボランティア登録により、団体は福祉会館利用料金免除、個人はボランティア保険を本会負担で加入することにより、負担軽減が図られています。 ・災害ボランティアセンターに関する協定を町と締結いたしました。		
課題	登録団体・者の固定化とボランティアの高齢化		
評価	○	評価の説明	災害ボランティアセンターに関する協定を町と締結できたため。
改善策及び今後の取り組み	・地域と連携したニーズ、マッチング方法の確立（生活支援体制整備業務との連携強化） ・市民活動的なボランティア活動の把握		

⑦ 足柄上地区災害ボランティアセンター運営訓練

内容	災害ボランティアセンターの運営訓練を、足柄上1市5町社協合同にて実施しました。災害発生数日後を想定し、同センターを開設するとともに、ボランティアの受付・調整・派遣・帰着の一連の流れに従い訓練（シュミレーション）を行いました。		
期日	9月27日（火）		
会場	中井町保健福祉センター（社会福祉協議会）		
参加者数	7人（*当町からの参加者／職員等）		
共催	足柄上1市5町社協		
実績・成果	平成24年度から継続して訓練が実施できていることにより、災害ボランティアセンターの概要・運営方法等の理解が深まりました（足柄上地区社協連絡会事業として位置付け）。		
課題	・同連絡会事業として継続実施。 ・災害ボランティアセンター運営マニュアルの整備検討。 ・有事の際の社協間の連携体制の構築。		
評価	◎	評価の説明	中井町社協幹事のもと、訓練を実施でき理解が深まったため。
改善策及び今後の取り組み	・広域連携による運営 ・平成29年度は9県都市総合防災訓練（H29.9.1小田原市於）への参画予定。		

03 当事者活動の支援

1) 高齢者関係

① 敬老会の開催			担当:鈴木雅人
内容	多年にわたり社会に貢献してこられた高齢者に敬意を表し、長寿をお祝いするとともに、敬愛精神の高揚と高齢者福祉の一層の推進を図るために、「開成町敬老会」を開催いたしました。 また、結婚50年（金婚）ならびに結婚60年（ダイヤモンド婚）を迎えられたご夫妻のご長寿をお祝いすることを目的に、「長寿夫妻記念品贈呈事業（記念写真入りミニアルバム）の贈呈」を実施しました。		
期日	9月21日（月）*敬老の日		
会場	福祉会館		
参加者数	230人		
共催	開成町		
協力	開成町老人クラブ連合会 開成町民生委員児童委員協議会 開成町自治会長連絡協議会 開成町婦人会 中央大学落語研究会 魂の巾着 ラタタッタ 作文朗読者（開成小学校・文命中学校） 司会者 フォートあしがら		
実績・成果	・高齢者に好まれる落語と芸人（吉本所属）による楽しい敬老会を開催することができました。 ・長寿夫妻記念品はアルバムとフォトスタンドの選択ができるように配慮できました。		
課題	余興メニューの研究と開発		
評価	△	評価の説明	敬老会全体としては概ね成功したが、長寿夫妻芳名の広報掲載に誤りがあったため。
改善策及び今後の取り組み	準備・役割分担の明確化。当事者家族の参加。長寿夫妻申し込みの方法変更。		

② ふれあい交流会の開催

担当:堀口一美

内容	各種在宅福祉サービス利用者や日頃外出の機会の少ない方々が一堂に会する社会参加の機会を提供し、相互の交流と仲間づくりを促進するために、交流会を開催しました。 ①昼食会 ②余興 太鼓 / 酒田保育園（園児） 歌 唱/ふれあい金曜会歌唱隊		
期日	6月27日（土）		
会場	福祉会館		
参加者数	183人（対象者等89人・来賓5人・余興出演者45人・実行委員関係者等44人）		
主催	ふれあい交流会実行委員会（民生委員児童委員協議会、町社協）		
協力	開成町（福祉課、保健介護課）、日本製紙クレシア（株）開成工場、（有）司建材（つかさ惣菜）、（株）明治ゴム化成、酒田保育園、ミニデイサービスふれあい金曜会歌唱隊		
実績・成果	日頃外出の機会の少ない方々が一堂に会して、ふれあいの中から参加者相互の交流と世代間交流の場となり、所期の目的はほぼ達成できています。		
課題	- 参加される方々の定着と新規参加者の減少 - 余興・プログラムのマンネリ化 - 送迎希望者の増に伴う、送迎対応策の検討（家族送迎・送迎車両増台）。		
評価	△	評価の説明	- 参加される方も例年と変化なく、新規参加者少なかったため。 - 日頃外出の機会が少ない方を中心とした案内・勧誘ができなかったため（前回の参加者が主となった）。 - 参加された方には、楽しいひと時を過ごしていただけたため。
改善策及び今後の取り組み	- 参加対象者の見直しと外出の機会の少ない高齢者・障がい者等の社会参加の機会とした取り組み。 - 観覧型から参加者型への移行。		

③ 老人クラブ連合会の育成・支援

担当:鈴木雅人

内容	当事者の固有な課題の解決、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援しました。		
期日	通年		
会員数	1,019人		
実績・成果	- 会員数は1,000人以上の加入をいただきました。 - 会則の一部を変更し部会を再整備して組織強化を行いました。		
課題	再整備した部会の機能（役割分担の明確化）。		
評価	○	評価の説明	- 会員数は1,000人以上を維持できたため。 - 部会を再整備し、役員の負担軽減（分担の均一化）ができたため。
改善策及び今後の取り組み	部会機能の明確化。		

2) 障がい児者関係

① 足柄上郡障がい者ボウリング大会の開催

担当:鈴木雅人

内容	障がいをお持ちの方の社会参加を促進する事業の一環として、ボウリング大会（コロナキャットボウル小田原店招待事業）を開催しました。		
期日	2月27日（月）		
会場	コロナキャットボウル小田原店（小田原市）		
参加者数	22人（＊当町からの参加者）		
共催	足柄上5町社協		
実績・成果	広報紙での周知で新たな当事者の参加を含め19人の参加が得られました。		
課題	各町で参加人数に偏りがあり、参加費を取ることで参加しない対象者がいました。		
評価	○	評価の説明	当事者団体、作業所以外の新たな参加者を発掘できたため。
改善策及び今後の取り組み	参加費、参加方法、参加人数などの検討（次年度以降の開催検討）。		

② 障がい児者ネットワーク会議の開催

担当:鈴木雅人

内容	障がいをお持ちの方の生活を支援する一環として、関係機関・団体との情報の共有化と連携強化を図り、ネットワーク化をすすめるために、ネットワーク会議を開催しました。		
期日	3月8日（水）		
会場	福祉会館		
参加者数	10人		

協力	身体障がい者福祉協会、心身障がい児者と家族の会かろがも、KOMNY地域作業所れんげ、地域作業所合力の郷、開成町（福祉課）、放課後デイサービストゥモローランド、生活介護トゥモローランド、風祭の森太陽の門医療福祉センター風祭、相談支援センターエール		
実績・成果	当事者の情報共有のほか、新たな関係機関を交えての情報交換ができた。		
課題	年2回を予定したが1回しか開催できなかった。情報交換のほかに学習の機会ともしたい。		
評価	○	評価の説明	・事務局、当事者、関係機関との情報交換ができたため。 ・新たな参加者が得られたため。
改善策及び今後の取り組み	・各機関、団体の活動把握と年2回開催の定着化、学習機会要素の開催。 ・地域における新たな課題解決に向けた開催		

③ 身体障がい者福祉協会と心身障がい児者と家族の会かろがもの育成・支援 担当:鈴木雅人			
内容	当事者の固有な課題の解決、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援しました。		
期日	通年		
実績・成果	定期的に役員会を開催し、研修、役員育成を行いました。かろがもは2名の会員増（身障協会26人・かろがも24人）となりました。身障協会では新たに花火大会・イルミネーション見学を行いました。		
課題	外出等共催事業の実施。賛助会員制度の導入（かろがも導入済み）。協力ボランティアの発掘育成。		
評価	○	評価の説明	新たなイベントを実施し、ボランティアの参加も得られたため。
改善策及び今後の取り組み	協力ボランティアの発掘と定期的な協力を得る。		

3) ひとり親家庭関係

① ひとり親家庭ネットワーク会議の開催 担当:内田幸江			
内容	ひとり親家庭の生活を支援する一環として、関係機関・団体との情報の共有化と連携強化を図り、ネットワーク化をすすめるために、ネットワーク会議を開催しました。		
期日	3月25日（土）		
会場	福祉会館		
参加者数	5人		
協力	母子寡婦福祉会つくしの会、足柄上保健福祉事務所、民生委員児童委員協議会		
実績・成果	関係機関相互の情報交換等により現状把握や課題の共有化を図ることができた		
課題	当事者に向けた情報発信の方法や情報の共有化		
評価	○	評価の説明	関係機関の取り組み状況や情報交換が図れたため。
改善策及び今後の取り組み	当事者の現状把握や関係機関との情報の共有化を図る。		

② 母子寡婦福祉会つくしの会の育成・支援 担当:内田幸江			
内容	当事者の固有な課題の解決、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援しました。		
期日	通年		
実績・成果	昨年度に引き続き、県母子連主催の行事へ参加し他市町会員との交流を深めました。このほか、料理講習会へ他市会員を招待するなど積極的に親睦と交流の機会を持ちました。		
課題	年間を通じた会員募集の方法やHPを活用した情報発信方法の検討		
評価	△	評価の説明	新規会員獲得のためのPR等を行っているものの会員数が伸びていないため。
改善策及び今後の取り組み	当事者相互の交流を目的とした事業のほか、学習会等の企画やHPの活用により組織強化（新規会員募集）を図る。		

4) 子育て支援関係

① 子育て中の親子のサロン「チビっ子らんど」の開放 担当:内田幸江			
内容	福祉会館の一室（2F娛樂室、教養娛樂室）と3F人工芝バルコニー（ひよこ広場）を開放し、おもちゃ図書館的な要素を加味した子育て中の親子のサロンとしてチビっ子らんどを設置し、自由に交流や情報交換ができるスペースを提供しました。 また、毎月第2水曜には、ぱたぱたママの協力によるおはなし会を開催しました。 さらに、子育て支援センター酒田保育園の協力により、子育て相談や保護者の仲間づくりの一助となるよう、毎月1回チビっ子サロンも併せて開催しました。		

期日	①チビッ子らんど ②チビッ子サロン ③ひよこ広場	毎週火・木曜（祝日除く） 毎月1回木曜 通年
会場	福祉会館	
参加者数	延1,083人 *前年比158人増	
協力	ばたばたママ、子育て支援センター酒田保育園	
実績・成果	チビッ子らんど、おはなし会の参加者が前年より増加しており、親子の交流の場となっています。	
課題	広報紙以外の事業PRの検討、子育て世代への社協PR	
評価	○	評価の説明 おはなし会等の参加を通じ、親子の交流や情報交換の機会となったため。
改善策及び今後の取り組み	・HP等を活用した事業PR強化 ・他機関の子育て支援事業との連携	

② チビッ子らんどフェスタの開催

担当:内田幸江

内容	子育て中の若世代への町社協の活動PRの機会として、また地域の子育て中の親子や地域間の交流の機会として開催しました。あわせて子育て中の方の生活実態や施策・サービスへの要望等を把握し、課題や福祉ニーズを明確化するとともに、その解決へ向けて現行サービス改善の他、新規サービス創出のための基礎資料とするためにニーズ調査を実施しました。		
期日	10月29日（土）		
会場	福祉会館		
参加者数	400人		
協力	開成町商工振興会、松田ライオンズクラブ、NPO法人KOMNYれんげ、心身障がい児者と家族の会かろがも、母子寡婦福祉会つくしの会、おむすびころりん、町内スポーツクラブ		
実績・成果	「法人化30周年記念」の冠をつけて開催。フリーマーケットのほか各種団体等の協力による出店、商工振興会協力によるさんま大祭を同時に開催。親子連れや地域住民の参加が多数あり、社協のPRにつながった。ニーズ調査において、寄せられた産前産後の支援については軽度生活援助事業（別掲）の対象者を拡大していく。		
課題	・事業PRの方法 ・開催時間帯の検討（10～15時）などの工夫		
評価	○	評価の説明	地域の団体や機関との協力のもと開催、多数の参加が得られたため。
改善策及び今後の取り組み	子育て世代への社協PRの一環として開催（フリマ・工作教室・親向けの講座など内容の充実）		

04 広報啓発事業の充実

① 広報紙「社協だよりかいせい」と「かいせい社協かわら版」の発行

担当:鈴木雅人

内容	本会の活動・事業のPRと福祉情報の提供、福祉意識の啓発・醸成のために広報紙を発行し、町内全世帯、賛助会員及び関係機関等へ配布しました（自主財源確保の一環としての紙面への広告掲載含む）。		
① 社協だより（A4/8頁）			
発行日	① 5月1日（No.183） ② 7月1日（No.184） ③ 9月1日（No.185）	④ 11月1日（No.186） ⑤ 1月1日（No.187） ⑥ 3月1日（No.188）	*計6回
発行部数	5,400部（7月のみ5,700部）		
② かわら版（A4/4頁）			
発行日	① 4月1日（No.101） ② 6月1日（No.102） ③ 8月1日（No.103）	④ 10月1日（No.104） ⑤ 12月1日（No.105） ⑥ 2月1日（No.106）	*計6回
発行部数	5,300部		
実績・成果	1月号より表紙レイアウトを変更し親しみやすい広報紙に変更しました。		
課題	・モニター員の増員（現在2人） ・モニターからの意見を紙面構成へ反映（紙面改善）する。		
評価	○	評価の説明	1月より社協だより表紙を写真1枚にし、親しみやすい広報紙にできたため。
改善策及び今後の取り組み	・モニター員の増員（現在2人） ・広報紙設置場所の拡大検討。		

② (法人化30周年記念) 社会福祉大会の開催

担当:土井高史

内容	「福祉のまちづくりをみんなの手で！」を合言葉に、昭和61年4月社会福祉法人格を取得し地域福祉の推進役として産声をあげた本会は、おかげさまで平成28年4月30周年を迎えることができました。この間の町民皆様方の方ならぬご厚情に深く感謝の意を表しつつ、福祉に携わる関係者が一堂に会し、永年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々の功績を称えとともに、開成町らしさあふれる地域福祉の来し方を振り返り行く末を展望することにより、香り高い福祉文化と共助社会を創造してゆくための一里塚とすべく、法人化30周年記念社会福祉大会を開催しました。 ①式典 ～ オープニングコーラス、功労者表彰及び感謝、福祉作文朗読、30周年記念宣言採択等 ②記念講演 ～ 講師：田 嶋 享 さん（ヤオマサ名誉会長、報徳農場代表） 演題：わが人生～神奈川新聞連載を終えて想うこと また、記念事業として、 ①30周年記念誌「きずな」の発行 ②ミニコミ誌への関連記事（30周年特別号）掲載 をそれぞれ行いました。		
期日	10月30日（日）		
会場	福祉会館		
参加者数	350人		
後援	開成町、開成町教育委員会、開成町自治会長連絡協議会、開成町民生委員児童委員協議会、開成町老人クラブ連合会		
実績・成果	「法人化30周年記念」の冠をつけて開催。通常の顕彰者に加え、記念大会として大幅に「感謝」を増。日頃本会の各種事業に協力いただいている4個人40団体へ節目を迎え改めて感謝の意を表すことができました。さらに「大会宣言」を採択し、福祉向上へ向けた関係者総意としての決意を新たにするとともに、「記念誌」も当日併せて発行することができました。		
課題	・式典へのアクセント要素の付加 ・大会運営（ありかた）の見直し、新たな企画による内容刷新		
評価	○	評価の説明	対外的PR含め、30周年記念大会に相応しい内容として開催できたと考えるため。
改善策及び今後の取り組み	当町らしい共助文化を育み、創造する場面としての内容刷新（リニューアル）		

③ ホームページの公開・更新

担当:鈴木雅人

内容	本会の活動・事業のPRと福祉情報の提供、福祉意識の啓発・醸成のためにホームページを公開・更新しました（福祉会館各部署の予約状況公開含む）。		
実績・成果	アクセス数5,240件（436件／月）。年間を通してのアクセスをカウント。		
課題	平均525（5%増）に及ばなかった。		
評価	○	評価の説明	定期更新以外にタイムリーな記事を掲載することができたため。
改善策及び今後の取り組み	常にタイムリーな記事を掲載するとともに、住民が必要とする情報（イベント・募集など）を掲載（提供）する。		

④ 地区別かいせい社協説明会の開催（会員加入の促進とのリンク）

担当:土井高史

内容	7月の会員加入強化月間に先立ち、地区担当職員が当該地区で行われる組長会議へ赴き、①本会の事業概要と②会員制度・会費納入の各説明（プレゼンテーション）を、自治会役員と組長の皆様を対象に行いました（説明責任の遂行と共助意識の具現化促進目的）。		
期日	① 5月14日（土／円 中） ⑧⑨ 5月22日（日／上 島、パレットガーデン） ②③ 5月15日（日／金井島、榎 本） ⑩ 6月 5日（日／牛 島） ④ 5月17日（火／河原町） ⑪⑫⑬ 6月19日（日／上延沢、中家村、下 島） ⑤⑥⑦ 5月21日（土／岡 野、下延沢、宮 台） *計13回		
会場	当該地区の自治会館等集会施設		
参加者数	延410人 *前年比9人増		
共催	開催地の自治会		
実績・成果	会費納入にあたりご支援を仰ぐ自治会役員と組長の皆様へ、説明責任遂行を目的として毎年度定例的に開催することにより、本会への継続的な理解促進が少なからず図れています。		
課題	・より分かりやすいプレゼンテーションの工夫（見える化） ・子育て支援事業紹介等による若年層への訴求		
評価	○	評価の説明	①本会概要⇒②会費納入手順の一体性・連続性を考慮しつつ、地域特性を踏まえ、赴いた地区担当職員が説明できていると考えるため。
改善策及び今後の取り組み	会員制度含む本会の必要性の訴求		

05 福祉教育事業の充実

① 福祉ふれあい教育推進事業への助成

担当:高橋政幸

内容	保育園、幼稚園、小・中学校、文命中学校及び吉田島総合高等学校が各々実施する福祉ふれあい活動に対して助成するとともに、講師の派遣や情報提供等を行い、活動を支援しました。 ①開成幼稚園 ～敬老会手作り作品プレゼント ②酒田保育園 ～ふれあい交流会へ出演協力（おゆうぎとうた） ③開成小学校4年生 ～総合的な学習の時間～公共施設見学（福祉会館） ④同 4年生 ～共に生きる（手話体験学習） ⑤開成南小学校4年生～総合的な学習の時間～公共施設見学（福祉会館） ⑥同 4年生～総合的な学習の時間～共に生きる（手話体験学習） ⑦文命中学校1年生 ～総合的な学習の時間～福祉体験（手話体験学習） ⑧同 3年生 ～認知症サポーター養成講座（地域包括支援センター） ⑨吉田島総合高等学校～かるがもクリスマス会協力（フラワーアレンジメント） ⑩同 3年生 ～福祉科社会福祉基礎福祉体験プログラム（誘導・車イス・点字・手話・認知症サポーター養成講座等） ⑪同 総合学科2年生～生物学科生徒とデイサービスセンター利用者との交流事業（プランター寄植） *計11回		
期日	通年		
助成数・金額	3件（開成小学校、開成南小学校、文命中学校） 30,000円		
協力	ボランティアグループ四つ葉、手話サークルかたつむり、点字グループ若葉、地域包括支援センター、デイサービスセンター		
実績・成果	各校が希望する福祉教室のコーディネート（連携）ができました。		
課題	助成金交付申請方法および周知の徹底（申請書事前提出、局内査定、交付決定）		
評価	◎	評価の説明	・申請・交付・事業実施・報告まで混乱なく実施できたため。 ・新たな取り組みも実施できたため。
改善策及び今後の取り組み	・助成金制度を広く活用して福祉教育の充実に寄与する。 ・近年助成金申請の内容が「手話体験学習」に偏っているため福祉教育関係者連絡会等でPR強化。		

② 小・中学生福祉作文コンクールの実施

担当:高橋政幸

内容	作文をととして社会連帯を基調とした福祉への理解と関心を深め、福祉活動への主体的な参加意識を育むために、小・中学校の児童・生徒を対象にコンクールを実施しました。 審査会では、小・中学生の部それぞれに優秀賞3篇（町社協会長賞、共同募金会開成町支会長賞、開成町教育長賞）、優良賞2篇、佳作5篇の各10篇を選出しました。 また、入選作品を文集化し、小・中学校や社会福祉大会にて配布するとともに、入選された児童・生徒に朗読・発表いただきました。 なお、上位作品を神奈川県福祉作文コンクール（神奈川県共同募金会等主催）に応募したところ、次の方が入選されました。 小学生の部 優秀賞：笠間康平さん（開成5年）、準優秀賞：瀬戸美咲さん（開成南4年）、佳作：田淵湊翔さん（開成南4年）、美濃島由智さん（開成南5年） 中学生の部 準優秀賞：中野有純さん（3年）		
募集期間	7～8月		
審査会期日	9月30日（水）		
応募数	①小学生	532篇 *計	574篇
	②中学生	42篇	
後援	開成町教育委員会		
協力	開成小学校 開成南小学校 開成町立文命中学校		
実績・成果	第40回神奈川県福祉作文コンクールにおいて、小学生の部4人（最優秀賞〈テレビ神奈川社長賞〉①、優秀賞①、準優秀賞②）、中学生の部1人（準優秀賞）に入選いたしました。		
課題	・審査会の運営と作文集の製作 ・応募者増への取り組み		
評価	○	評価の説明	・目標値（応募数）と比較すると574/580と目標を下回ってしまいましたが、昨年度と比較すると33増（小学生13増、④中学生20増）となったため。 ・神奈川県福祉作文コンクールにおいて例年以上の成果を収められたため。
改善策及び今後の取り組み	審査方法の改善について、審査ポイントの採点（配点）及び相対評価方式の統一		

○③ 親子ふくしー日教室の開催

担当:高橋政幸

内容	より多くの子どもやその親たちが「ふくし」について考えるきっかけづくりとして様々な体験学習の機会を提供し、「ふくし」に対する理解と関心を深め、“助けあいの心・他人を思いやり共に生きていくやさしい福祉の心”を育むことを目的に開催しました。 ①認知症サポーター講座 ②視覚障がい者の理解《誘導体験・盲導犬デモンストレーション》 ③聴覚障がい者の理解《手話体験・聴導犬デモンストレーション》 ④自助具製作体験 ⑤福祉用具展示・説明 ⑥障がい者とお話しよう		
----	---	--	--

期日	7月28日（水）		
会場	福祉会館		
参加者数	75人		
後援	開成町教育委員会		
協力	開成小学校、開成南小学校、NPO法人聴導犬育成の会、ボランティアグループ四つ葉、足柄上ろうあ福祉協会、手話サークルかたつむり、福祉ボランティア点字グループ若葉、開成町身体障害者福祉協会、開成町地域包括支援センター		
実績・成果	講座→デモンストレーション（盲導犬、聴導犬）→体験学習（誘導、手話、点字）をプログラムすることができ、多くの参加を得られました。 福祉教育としての“種まき”的な活動としては十分成果があったと思われるが、他の事業や機関につなげることも重要性が認識できました。		
課題	・会場内の移動（動線の確保）と案内表示の検討 ・体調不良者等の対応（看護職員と休養室の確保）		
評価	△	評価の説明	・着手、開催時期が遅れてしまったが、各種団体の協力を得て体験型の福祉教室が開催できたため。 ・新規に案内チラシを作成しPRを強化しましたが、昨年度の参加者数を大きく下回ってしまったため。
改善策及び今後の取り組み	・参加、体験型の事業として内容の充実（盲導犬のデモンストレーションの実施）。 ・体験コーナーの終了時間を広報記載していなかったため、終了後来館された方がいられたので改善する。		

④ 福祉教育関係者連絡会の開催

担当:高橋政幸

内容	福祉教育事業とボランティア育成事業との整理を前提として、福祉教育プログラムの充実と継続的な支援体制の確立及び学校等教育機関との連携強化を図るために、連絡会を開催しました。		
期日	①6月30日（月）	*計1回	
会場	福祉会館		
参加者数	9人		
協力	酒田・酒田みずのべ保育園、開成・開成南小学校、文命中学校、吉田島総合高等学校、開成町教育委員会		
実績・成果	本会から園・学校への依頼内容の確認や事業終了後の成果などを共有できました。		
課題	情報交換の場としての定期開催		
評価	△	評価の説明	・年間2回開催の目標に対して、1回の開催となってしまったため。 ・各機関の情報交換ができ、相互間の理解が深められたため。
改善策及び今後の取り組み	情報交換の場としての定期開催。 助成金の有効活用いただくための情報提供の場としての開催。		

⑤ 資格取得のための学生等実習生の受入

内容	社会福祉士資格取得をめざす学生を、その実習先として受け入れました（社会福祉援助技術現場実習）。		
期日	通年（実習期間は1人あたり概ね1週間～1ヶ月）　＊計1回（1人）		
実績・成果	実習期間中、輪番で職員が指導にあたることにより、日々の業務の振り返りもすることができました。		
課題	依頼先の拡大（積極的な周知）		
評価	△	評価の説明	受入予定者のうち2人が履修不足により辞退されました。
改善策及び今後の取り組み	実習指導者の研修受講済の職員が1人しかいないため、有資格者の研修受講により積極的な受け入れ体制を整える。		

法人運営 関係

06 事業推進体制の整備

1) 会務等

① 理事会の開催		担当:高橋政幸	
内容	執行機関である理事会を、福祉会館にて6回開催しました。		
① 期日	5月13日（金）		
出席者数	理 事：9人、監 事：1人		
議題	①平成27年度事業報告について ②平成27年度一般会計決算について 監査報告 ③平成28年度補正予算について ④評議員の選任について ⑤福祉コミュニティプラン及びかいせい社協発展・強化計画（H28－32）について ⑥その他		
② 期日	6月1日（水）		
出席者数	理 事：12人、監 事：2人		
議題	①正副会長の選任について 常務理事指名 ②理事担当部会の選出について ③かいせい社協説明会及び会員加入の促進について ④その他		
③ 期日	8月24日（水）		
出席者数	理 事：12人、監 事：1人		
議題	①敬老会の開催について ②共同募金の実施について ③社会福祉大会の開催について ④デイサービス事業の運営について ⑤その他		
④ 期日	10月3日（月）		
出席者数	理 事：12人、監 事：2人		
議題	①チビッ子らんどフェスタの開催について ②社会福祉大会（30周年記念事業含む）の開催について ③デイサービス事業の運営について ④その他		
⑤ 期日	11月22日（火）		
出席者数	理 事：9人、監 事：2人		
議題	①定款の変更について ②その他		
⑥ 期日	2月28日（火）		
出席者数	理 事：12人、監 事：2人		
議題	①平成28年度補正予算について ②平成29年度事業計画について ③平成29年度予算について ④評議員選任・解任委員会運営細則の制定について ⑤評議員選任・解任委員会委員の選任について ⑥評議員候補者の選任について ⑦各種規程の一部改正について ⑧その他		
出席率	91.7%（＊平均）		
実績・成果	役員各位から建設的・活発な質問や意見等が多く寄せられ、法人運営への主体的な参画意識が醸成されつつあります（年6回開催は県西地区最多）。		
課題	問題意識の共有化を図り、「アイデアのゆりかご」として議論することにより、問題提起等、真の執行機関にふさわしい役割発揮をすすめます。		
評価	○	評価の説明	理事会への出席率も高く、毎回活発な議論が交わされているため。
改善策及び今後の取り組み	自律的法人経営をめざした的確な判断と地域に開かれた組織体制の確立		

② 監事会の開催

担当:高橋政幸

内容	監査機関である監事会を、福祉会館にて3回開催しました。		
① 期日	5月 9日（月）		
出席者数	監 事：3人		
議題	平成27年度事業及び会計に関する決算監査		

② 期日	9月13日（火）		
出席者数	監 事：3人		
議題	平成28年度（4～7月）事業及び会計に関する中間監査（第1回）		
③ 期日	1月18日（水）		
出席者数	.		
議題	平成28年度（8～11月）事業及び会計に関する中間監査（第2回）		
実績・成果	・中間含め年3回監査を実施することにより、定期的なチェック体制が整備されています。 ・新たに監査マニュアル整備を検討し、平成29年度から施行いたします。		
課題	監査提出資料（主に会計面）に工夫が必要。		
評価	○	評価の説明	毎回適切に監査いただき、活発な質問や意見、指摘が表出され、都度説明を加えることにより、監査機関としての役割発揮が果たせていると考えるため。
改善策及び今後の取り組み	新たに整備した監査マニュアルに沿った監査の実施。		

③ 評議員会の開催		担当:高橋政幸
内容	議決機関である評議員会を、福祉会館にて3回開催しました。	
① 期日	5月26日（木）	
出席者数	評議員：23人、理 事：4人、監 事：1人、来 賓：2人	
議題	①平成27年度事業報告について ②平成27年度一般会計決算について 監査報告 ③平成28年度補正予算について ④役員（理事・監事）の選任について ⑤かいせい社協発展・強化計画（H28－32）について ⑥その他	
② 期日	12月13日（火）	
出席者数	評議員：17人、理 事：4人	
議題	①定款の変更について ②役員の選任について ③その他	
③ 期日	3月23日（木）	
出席者数	評議員：22人、理 事：4人、来 賓：2人	
議題	①平成28年度補正予算について ②平成29年度事業計画について ③平成29年度予算について ④各種規程の一部改正について ⑤その他	
出席率	79.5%（＊平均）	
実績・成果	評議員各位から第三者性を有した活発な質問や意見等が寄せられ、最終議決機関にふさわしいスタイルとなりつつあります。	
課題	発言者が固定化されるきらいがあるため、進行方法と提供資料に工夫が必要。	
評価	○	評価の説明 毎回活発な質問や意見が表出され、都度説明を加えることにより、議決機関としての役割発揮が果たせていると考えるため。
改善策及び今後の取り組み	自律的法人経営をめざした的確な判断と地域に開かれた組織体制の確立	

④ 理事担当部会（総務・事業）の開催		担当:高橋政幸
内容	理事担当部会（総務、事業）を、福祉会館にて開催しました。	
1) 総務部会		
① 期日	5月10日（火）	
出席者数	総務部会担当理事等：5人	
議題	①平成27年度事業報告について ②平成27年度一般会計決算について ③平成28年度予算補正予算について ④評議員の選任について ⑤福祉コミュニティプラン及びかいせい社協発展・強化計画（H28-32）について	
② 期日	2月16日（木）	
出席者数	総務部会担当理事等：5人	

議題	①平成28年度 補正予算について ②平成29年度 事業計画について ③平成29年度 予算について ④評議員選任・解任委員会運営細則の制定について ⑤各種規程の一部改正について		
2) 事業部会	担当:高橋政幸		
① 期日	8月22日(月)		
出席者数	事業部会担当理事等:4人		
議題	①敬老会の開催について ②社会福祉大会の開催について ③法人化30周年記念事業について ④デイサービスセンターの運営について		
実績・成果	役員各位が理事会とは別に本会運営について幅広くかつ率直に参画・議論できる場として機能しています。		
課題	開催時期、回数		
評価	○	評価の説明	毎回活発な質問や意見が表出され、都度説明を加えることにより、理事担当部会としての役割発揮が果たしていると考えため。
改善策及び今後の取り組み	自律的法人経営をめざした理事担当部会の機能強化		
⑤ トップミーティング(経営者会議)の開催	担当:高橋政幸		
内容	トップマネジメント構築へ向けた合意形成を図るために、正副会長、常務理事、事務局長の計5人によるミーティング(理事会開催前の事前協議等)を、福祉会館にて5回開催しました。		
期日	① 5月13日(金) ④11月14日(月) ② 7月12日(火) ⑤ 2月20日(月) ③ 9月26日(月) *計5回		
実績・成果	理事会に先立ち、本会全体のマネジメントについて協議し、コンセンサスを得る場として機能しています。		
課題	本会の経営・運営方針や社会的使命、将来像、戦略の立案。		
評価	○	評価の説明	毎回活発な質問や意見が表出され、都度説明を加えることにより、経営者会議としての役割発揮が果たしていると考えため。
改善策及び今後の取り組み	自律的法人経営をめざしたトップミーティング(経営者会議)の機能強化(経営判断)		
⑥ 役員研修会の開催	担当:土井高史		
内容	役員研修会を、2回開催しました。		
1) 役員研修会			
期日	11月16日(水)		
会場	(静岡県)小山町健康福祉会館		
出席者数	理事:8人、監事:2人		
内容	社協の組織運営基盤強化と事業展開の実践を先進事例に学ぶ 視察先:小山町社協		
2) 足柄上地区・西湘地区(2市8町)社協役員合同研修会			
期日	2月1日(水)		
会場	福祉会館		
出席者数	理事:4人(*当町からの出席者)		
内容	課題提起 ~演題:社協を取り巻く制度動向と社協の役割発揮 講師:飯島信彦さん(神奈川県社協地域福祉推進部長) 実践報告 ~演題:制度動向や地域の課題に対応した組織運営・事業展開の実践から 講師:原秀人さん(静岡県小山町社協常務理事)		
出席率	46.7%(*平均)		
実績・成果	1)については、柔軟かつ先駆的な取り組み事例を現地へ赴き直接説明を受けました。現在の本会の立ち位置、その周辺事情含め、相対比較・質疑応答ができたことにより、役員各位の課題認識の共有化がすすみました。		
課題	今後の持ち方として、①内部研修(理事会以外の議論の場)と②外部研修(先進地視察)を一年ごと交互に企画・実施することにより、役員各位のさらなる資質向上に寄与したいと考えます。		
評価	○	評価の説明	本研修をとおり、役員各位の識見向上に少なからず寄与できていると考えため。
改善策及び今後の取り組み	役員各位の出席率向上		

⑦ 役員候補者選考委員会の開催 担当:土井高史

内容	役員の任期満了に伴い、新たな役員候補者を選考するための委員会を、評議員会に先立ち福祉会館にて1回開催しました（第2回は書面表決）。		
期日	4月7日（木）		
会場	福祉会館		
出席者数	選考委員（評議員）：8人		
議題	①役員（理事・監事）の選出区分について ②その他		
実績・成果	民主的かつ透明性ある法人運営へ向けた必要な手続きとして機能しています。		
課題	協議体として、より多種会員（団体、機関）から選出・応援いただくための工夫。		
評価	○	評価の説明	必要な手続きとして機能しているため。
改善策及び今後の取り組み	役員の任期満了・改選期に随時設置・開催		

⑧ 評議員選任・解任委員会の開催（新規） 担当:土井高史

内容	社会福祉法改正・施行と続く本会定款変更・県認可に伴い、新たに必置となった評議員選任・解任委員会を、福祉会館にて1回しました。		
期日	3月13日（月）		
会場	福祉会館		
出席者数	委員：4人（新規委嘱）		
議題	①評議員の選任について ②その他		
実績・成果	民主的かつ透明性ある法人運営へ向けた必要な手続きとして機能しています。		
課題	協議体として、より多種会員（団体、機関）から選出・応援いただくための工夫。		
評価	○	評価の説明	必要な手続きとして機能しているため。
改善策及び今後の取り組み	評議員の任期満了・改選期及び選出母体側都合による任期途中の交替期に随時設置・開催		

⑨ 職員会議の開催 担当:高橋政幸

内容	職員の資質・専門性の向上と情報・課題意識の共有化を図るために、職員会議を福祉会館にて開催しました。		
1) 常勤職員ミーティング			
期日	毎週1回 *会長・常務理事含む		
2) PDCAミーティング（事業進捗状況のチェック機能）			
期日	毎月1回		
3) その他（居宅、通所、給食、包括 各部門別ミーティング）			
期日	毎月各1回他		
実績・成果	専門職員間の情報・課題意識の共有化がすすみました。		
課題	コミュニティワーク含む地域福祉援助技術等専門技術のレベルアップ。		
評価	△	評価の説明	PDCAミーティングは12回開催できましたが、部門ミーティングにおいては定期開催ができなかったため。
改善策及び今後の取り組み	・PDCAミーティングについては、事業進捗チェック機能の強化。 ・部門（福祉企画、福祉サービス）ミーティングの開催及び課題の共有と分析強化。		

⑩ 職員の資格取得促進と各種研修等への参加 担当:高橋政幸

内容	職員の資質・専門性の向上を図るために、神奈川県社協等主催による各種研修会・研究会に随時積極的に参加しました。		
実績・成果	各担当業務にかかる専門知識・技術の修得がすすみました。		
課題	体系的研修プログラムの立案と計画的な受講		
評価	△	評価の説明	各種研修の受講はできましたが、新たな資格（国家資格、ケアマネジャー）取得には至らなかったため。
改善策及び今後の取り組み	職員の資質及び専門性の向上を図るための資格（国家資格、ケアマネジャー）取得		

2) 財源の確保

① 会員加入の促進と会員構成の拡充（一部新規）

担当:土井高史

内容	住民組織、公私社会福祉事業関係者をはじめ、幅広い分野からの参加を得、地域社会の総意を結集することとあわせて、社会福祉への関心の喚起、町社協への参加意識の醸成のために、一般会員（一般世帯）は全世帯加入を、賛助会員は新規加入促進を各々目標に、町社協会員の募集と会費徴収を行いました。		
募集月間	7月		
加入結果	①一般会員（一般世帯） ＊年額1口 500円～	3,995世帯（4,568口／加入率61.9%） ＊前年比38世帯増	
	②同（各種団体） ＊年額1口 500円～	76団体（ 554口） ＊前年比 1団体減	
	③賛助会員（法人、企業等） ＊年額1口3,000円～	146社（ 242口） ＊前年比 2社増	
協力	自治会		
実績・成果	一般会員（世帯）は、前年比38世帯の増となりました。ただし、加入率をみると、分母を①全世帯数としてみた場合及び②自治会加入世帯数としてみた場合の何れも前年を僅かですが下回っています。一般会員（団体）は前年比1団体減、賛助会員は同2社増の各結果となりました。 なお、前年からの継続的取り組みとして役員各位に企業あて訪問いただき（職員随行）、加入依頼に際しトップセールス（後方支援）いただきました。		
課題	事前に行った説明会（前述のとおり）では、本会概要～会費納入手順の一体性・連続性を考慮しつつ、地区担当職員がコミュニティワークの一環として各担当地区へ赴き、自治会役員並びに組長各位へプレゼン（セールス）させていただいています（説明責任遂行）が、若い組長様も増えているなか、幅広い層へのより分りやすい（本会の必要性が身近に感じられる）説明方法の工夫が必要です。また、本会会費の各組毎の徴収・納入方法が、結果からみた推測で全体の67.7%が組費からの一括納入方式となっている現状に鑑み、呼応した新たな対応策を模索していくことも急務です。		
評価	○	評価の説明	一般会員（世帯）数の増が必ずしも町内全世帯数の増と比例していませんが、少なくとも世帯数・口数とも前年比プラスとなったため。
改善策及び今後の取り組み	現行の加入率61.9%（H28実績）を自治会加入率相当の約80%まで引き上げることを当座の目標とし（＝自治会加入世帯は100%本会会員）、最終的には町内全世帯加入をめざします。		

② 寄付寄託者の拡大

担当:土井高史

内容	住民の皆さんから寄せられた善意の寄付金品等を受け入れるとともに、寄付寄託者の拡大を図り、自主財源の確保に努めました。 また、賛同いただいた企業や商店等に募金箱「善意の小箱」を設置させていただき、積極的に寄付金を募りました。		
期日	通年		
寄付件数	①寄付金	62件	
	②寄託品	15件	
	*計	77件	*前年比19件減
同 金額	①一般受付分	735,541円	
	②善意の小箱（*設置協力店舗数：35店舗）	64,368円	
	*計	799,909円	*前年比240,012円減
実績・成果	寄付件数・金額とも前年比減となってしまいました。		
課題	寄付金受入については、その結果を本会広報紙に都度掲載・報告していますが、積極的に寄付を募る等攻めの姿勢までは至っておりません。本会が実施する地域福祉推進事業の貴重な財源としての活用状況含め、周知・PRに一層の工夫が必要です。		
評価	△	評価の説明	前年実績を下回ったため。
改善策及び今後の取り組み	PRの強化及び使途の見える化に努めます。		

③ 福祉基金の増強

担当:土井高史

内容		果実（利息）等を自主事業の安定した財源とするために、寄付金収入等により福祉基金の増強に努めました。	
期日		通年	
積立等結果	①本年度積立額	517,521円	
	②同 取崩額	7,762,000円	
	③累計	71,116,466円	
実績・成果		住民各位からの寄付金を積み立てましたが、法人全体の歳入不足により止む無く本年度も基金を崩し補てんせざるをえない事態が続いています。	
課題		・基金と積立金の位置づけの明確化（本来趣旨と役割、整合性） ・原資取り崩しを極力抑えた法人財務体質の健全化（収支バランス均衡）	

評価	△	評価の説明	基金取り崩しを行わざるをえなかったため。
改善策及び今後の取り組み	避難的基金取り崩しの事態回避と積み増しの実現		

④ 共同募金の実施

担当:土井高史

内容	神奈川県共同募金会開成町支会主管による共同募金に協力しました。 お寄せいただいた寄付金は、①赤い羽根募金分については神奈川県共同募金会へ全額送金するとともに、②年末たすけあい募金分については一部作業所への配分を除き、翌年度の本会事業費として活用させていただきます。		
募金月間	10～12月		
同 結果	①戸別募金	2,060,400 円	⑤学校募金 106,101 円
	②街頭募金	70,658 円	⑥その他の募金 33,215 円
	③法人募金	248,930 円	*計 2,583,381 円
	④職域募金	64,077 円	*前年比168,827円増
戸別募金協力	各自治会		
街頭募金協力	町議会議員、民生委員児童委員協議会委員、KOMNY地域作業所れんげ、地域作業所合力の郷、マックスバリュ開成店・開成駅前店、小田急開成駅		
実績・成果	4年連続続いていた実績額の微減傾向に歯止めがかかり、5年ぶりに前年比プラス（15万円強）となりました。募金種別ごとにみても、職域募金以外はすべて前年比プラスの結果となっています。運動のPR的役割を果たす街頭募金では、多くの関係機関・団体の方々の協力をいただきました。		
課題	国民たすけあい運動の一環として実施される共同募金は、本会を含む民間福祉活動を資金面から支えるために重要かつ不可欠であることから、引き続き「たすけあいの心の普及」を基調とした各種募金活動を積極的に展開してまいります。		
評価	○	評価の説明	前年実績を上回ることができたため。
改善策及び今後の取り組み	PRの強化及び使途の見える化に努めます。		

3) 連絡調整機能の充実

① 公私社会福祉事業関係機関・団体等との連携

担当:高橋政幸

内容	公私社会福祉事業関係機関・団体等と連携し、協働事業の推進を図りました。 なお、他機関・団体からの要請・依頼に応じ、本会役職員が着任・参画した委員会等は、次のとおりです。		
期日	通年		
連携先	開成町、自治会長連絡協議会、民生委員児童委員協議会、共同募金会開成町支会、ともしび運動推進協議会、NPO、近隣社協		
実績・成果	地域福祉推進のコーディネート役たる機能を柔軟に発揮し、関係機関・団体と連携しつつ、福祉のまちづくりをすすめました。		
課題	地域福祉推進における本会としての明確な将来像の確立と協働事業の具体的展開。		
評価	○	評価の説明	関係機関・団体と連携し、各協議会等へ参画できたため
改善策及び今後の取り組み	今後も積極的に関係機関・団体と連携協働し、地域福祉の増進に努め、社協の存在意義を強く示す		

② 生活支援体制整備業務の実施（生活支援コーディネーターの配置（町受託事業）

担当:高橋政幸

内容	高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能（資源開発やネットワーク構築の機能）を果たす「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」の配置しました。 また、生活支援サービスのコーディネート等に関する業務、生活支援・介護予防サービスの把握等、関係機関とのネットワーク構築、ニーズとサービスのマッチングの調査を実施しました。 開成町生活支援サービス推進協議会（協議体）の開催に向けて、事務局（保険健康課）と連携・協働しました。 本事業の理解を深めるため、各種研修会等への参加と、住民向けの研修会を開催いたしました。		
期日	通年		
	① 地域調査 *調査期間：5月18日 ～ 9月15日 *調査対象：住民 236人 社会資源 27件 介護支援専門員 14人		

実績・成果	② 研修会開催			
	*「支え合い活動セミナー」			開催日：11月28日（月）
	講師：社会福祉法人大磯町社会福祉協議会 統括管理者 木内健太郎氏			参加：40人
	*「生活支援サービス担い手養成研修」			開催日：1月31日（月）
	講師：NPO法人よこはま地域福祉研究センター 佐塚玲子氏			参加：29人
	③ 研修受講			
	*認知症キャラバン・メイト養成研修			
	期日：7月21日（木）、10月31日（月）			受講：2人
	*南足柄市社協 地域福祉研修会 発揮しよう住民力			
	期日：9月30日（金）			受講：3人（実習生含む）
	*介護保険法改正に係る社協の対応～地域づくりに向けた行政へのアプローチ			
	期日：9月1日（木）			参加：1人
	*地域リーダー育成研修会			
	期日：10月16日（日）			参加：1人
	実績・成果	*第2回よこはま地域フォーラム～「おたがいさま」の縁づくり～縁を紡いでいく		
期日：11月24日（木）			参加：2人	
*足柄上地区社会福祉協議会連絡会 地域福祉実践交流会				
期日：12月8日（木）			参加：1人	
*生活支援コーディネーターフォローアップ研修				
期日：1月19日（木）			参加：1人	
④ その他				
*生活支援サービス推進協議会開催への協力				
期日：①11月28日（月） ②2月23日（木）				
*開成町ガイドの作成				
*牛島自治会福祉部「地域づくり・開始絵町における生活支援体制整備業務」説明			参加：福祉部員13人 社協職員3人	
期日：1月16日（木）				
*地域包括支援センター業務との連携（部門ミーティング等への参画）				
*地域ケアねっとわーく会議への参画				
課題		本事業のイメージがつきづらく、地域住民へわかりやすく説明ができない。 コーディネーターとしてのスキルアップ		
評価	○	評価の説明	今年度新規に受託した事業として、コーディネーターを配置でき、地域調査や研修会の開催ができました。 生活支援サービス推進協議会について、保険健康課と協働して開催できました。	
改善策及び今後の取り組み	本事業を、地域住民へわかりやすく説明ができる媒体として作成したガイドを配架してさらに周知を図ります。 継続してセミナーや研修会開催して、本事業の周知を図り、地域づくりに努めます。			
③ 福祉会館の管理・運営（*指定管理者制度事業）				
担当:堀口一美				
内容	福祉会館の施設・設備の維持・管理並びに利用に伴う運営を行いました。また、利用案内等を広報紙に随時掲載し広くPRに努めるとともに、開成町とも連携を密にし施設利用の充実を図りました（本会ホームページ上にて福祉会館各部屋の予約状況公開含む）。 また、①酒田・酒田みずのべ保育園及び②開成幼稚園の園児、③開成・開成南小学校や④文命中学校の児童・生徒の絵画等作品を、年間をつうじて会館1F（多目的ホール西側）に展示しました。			
期日	通年			
利用回数	延2,106回 *前年比212回減			
同 者数	延36,245人 *前年比212人減			
その他	詳細「資料1」のとおり			
	1) 寺子屋サマースクールの開催（小学生を対象に夏休み期間中の全5日間） 参加者 延81人・学習指導支援ボランティア 延8人			
	2) AED講習会（*再掲）			
	3) 「体験教室・講習会・セミナーなど」共催事業の開催（企業・店舗等）			
	①しゅんこうの和紙ちぎり絵一日講習会（第1回）		9月30日（金）／参加者 11人	
	②しゅんこうの和紙ちぎり絵一日講習会（第2回）		11月18日（金）／参加者 09人	
	③しゅんこうの和紙ちぎり絵一日講習会（第3回）		1月20日（金）／参加者 06人	
	④JuicePaint（ジュースペイント）お絵かき体験		2月04日（土）／参加者 11人	
	4) 防災訓練（町防災訓練を含む3回）			
	5) 季節に応じたイメージアップの展開（会館正面玄関・エントランスホールの季節感のある装飾） 鯉のぼり（5月）・七夕飾り（7月）・クリスマスイルミネーション（11月下旬～12月） 門松（1月）・ひな飾り（2月下旬～3月中旬）			
実績・成果	会館の予約状況をホームページでリアルタイムに公開して、利用者の利便を図りました。			

課題	第3期指定期間（28～32年度）の単年度ごとに27年度実績の稼働率を基準として、2%ずつアップ（5年間10%）する目標を達成することができませんでした。（H27稼働率25.1% ⇒ H28稼働率22.3%）		
評価	■	評価の説明	前年度比の利用実績が、回数212回減・人数212人減・時数1,003時間減・稼働率2.8%減とすべてにおいて下回ってしまっています。抜本的に担当職員の稼働率2%アップに向けた取り組みや企画・対応能力が欠如していました。
改善策及び今後の取り組み	・会館イベント・会館事業の創出（チャリティーコンサート・夏休みプログラム・避難所宿泊体験など） ・小学生以下の子どもと母親が属する子育てサークル・団体の利用料無料化（町との調整・協議要） ・新規利用者・団体への初回（体験）無料貸し出し（町との調整・協議要） ・現行のPR（広報紙掲載・案内パンフレット・HP掲載）を維持しながら、公共施設・各自治会施設・町内店舗（賛助会員）などに案内ポスター貼付・パンフレットの設置をお願いする。		

④ 民生委員児童委員協議会の運営・支援			担当:高橋政幸
内容 期日	地域福祉推進のパートナーたる同協議会の事務局として、運営を支援しました。 通年 ＊定例会及び役員会：毎月各1回開催		
実績・成果	役員会・定例会の開催（各12回／年） 委員活動の支援及び研修会の開催（外部との調整） 活動日数は述べ5,349日でした。 平成22年度から事務局を担うことにより、両者の連携協働体制がより強化され、地域福祉活動の着実な進展が図られつつあります。また、平成24年度から受託した地域包括支援センター事業においても、各地区の民生委員児童委員との連携が発揮され、住民の安心に寄与できています。		
課題	・予算措置なし（民児協より事務用品購入等一部負担あり） ・事務局運営の多様化 ・民児協の主体性の確保		
評価	◎	評価の説明	平成28年12月に一斉改選があり、定数が35人（2人増）となりました。（現在1人欠員状態） 定例会等の開催及び研修会の開催（調整）、補助金等の申請事務等
改善策及び今後の取り組み	平成30年度新たな自治会が立ち上げ予定のため、委員委嘱に向けて町との連携 委員活動支援強化と独自事業の展開		

【評価基準】 ◎：計画以上の成果（100%以上）
△：計画どおり進まなかった（30～60%未満）

○：概ね計画どおりの成果（60～100%）
■：成果がない・未達・未実施（30%未満）

福祉サービス部門

福祉サービス利用支援 関係

07 安心センター事業の充実

① 日常生活自立支援事業の実施（※県社協受託事業）

担当：堀口一美

内容	判断能力が不十分な高齢者や障がいをお持ちの方の日常生活上の金銭管理、財産の保全及び福祉サービスの利用を支援するために、日常生活自立支援事業を受託・実施しました。		
期日	通年		
契約締結 審査会	奇数月第2木曜日	*計6回 *足柄上5町社協合同設置・開催	
相談件数	延547件		
訪問活動件数	延318件		
契約者数	延19人（うち、新規5人 終了1人）		
支援員数	延 1人（非常勤職員）		
実績・成果	行政や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携により、5件の新規利用契約者を含む利用者に、日常生活上の金銭管理、財産の保全及び福祉サービスの利用を支援するために、必要な支援を適切に行いました。		
課題	・利用者が抱える課題を的確に判断し、その課題解決に向けた相談援資質 ・契約者の増加に伴い、生活をサポートしていくための生活支援員の増員		
評価	△	評価の説明	・相談、審査、契約、支援、モニタリングの一連のプロセスが実行できていないため。 ・生活支援員の不足により専門員が生活支援員を兼務する状況があるため。
改善策及び今後の取り組み	・専門員及び生活支援員の資質向上と適正な支援が行われるように管理監督を強化。 ・専門員と生活支援員がそれぞれの役割を踏まえた相互牽制機能できる体制整備。		

② 福祉対象者カルテの整備・活用

担当：高橋政幸

内容	在宅での援助を必要とする高齢者や障がいをお持ちの方等の個別状況を把握し、適切なサービス提供へつなげることとあわせて、関係機関・団体との情報の一元化を図るために、名簿を整備し活用しました。		
期日	通年 *更新2回/年（9・2月）		
連携先	開成町（福祉課）、地域包括支援センター、民生委員児童委員協議会		
実績・成果	各種サービス利用者・登録者の個別状況を把握・一元化して、関係機関・団体と情報の共有化ができました。①756人（9月） ②777人（2月）		
課題	・カルテ掲載への拒否希望者の対応 ・要援護対象者の対応・取り扱い方法		
評価	○	評価の説明	更新は年間2回実施できた。掲載人数については目標の820件（H29.2更新時）は達成できなかったため。
改善策及び今後の取り組み	対象者の理解（同意）を得て、必要な方が記載されるようPRする。		

③ 法人後見事業の調査・研究

担当：高橋政幸

内容	判断能力が不十分な高齢者や障がいをお持ちの方の権利を擁護するための法人後見事業について調査・研究しました。		
期日	通年		
連携先	自立支援協議会権利擁護部会 足柄上地区ネットワーク連絡会		
実績・成果	自立支援協議会権利擁護部会と足柄上地区ネットワーク連絡会へ参加し情報交換や近隣町の状況を把握しました。		
課題	今後の方向性の確立		
評価	△	評価の説明	足柄上地区ネットワーク連絡会等へ参加し、情報交換や近隣町の状況を把握ができましたが、本会の方向性を確立することはできなかったため。
改善策及び今後の取り組み	近隣社協（足柄上地区社協連絡会）で課題の一つとして広域連携事業として検討する。		

08 総合相談・援護事業の充実

① 総合生活相談の実施

担当：堀口一美

内容	住民の皆さんの日常生活上のあらゆる相談に応じ、関係機関との連携のもと、適切な助言と援助を行うことにより、福祉ニーズの問題把握から解決までの一貫した相談援助体制を確立するために、総合生活相談所を開設しました。		
----	---	--	--

	1) 一般相談 2) 専門相談	毎月第2・4火曜	計23回
期日	①法律 ②法務	毎月最終火曜 毎月第3土曜	計12回 計12回 *計47回
会場	福祉会館		
相談員数	1) 一般相談（相談員：民生委員児童委員協議会） 2) 専門相談	2人／回	1件
及び同件数	①法律（相談員：弁護士） ②法務（同：行政書士）	1人／回 2人／回	22件 37件 *計60件
同内訳	①財産 ②相続 ③土地 ④遺産	33件 30件 10件 8件	⑤家族 7件 ⑥住宅 5件 ⑦離婚 4件 ⑧その他 13件 *計（重複あり） 110件
協力	民生委員児童委員協議会、横浜弁護士会、小田原行政書士会		
実績・成果	定期的に相談窓口を開設することにより、住民のみなさんのいざというときの駆け込み寺的な安心感につながっています。（相談件数 前年度比7件増）特に毎月第3土曜日開設の「法務相談」に寄せられる相談件数が前年度比15件増となりました。		
課題	相談所開設PR・広報を拡充して、より相談しやすい相談所としていく。		
評価	△	評価の説明	・目標の相談件数80件を達成することができなかったため。 ・一般相談員研修の開催時期が遅れてしまったため。
改善策及び今後の取り組み	公共施設等に案内ポスターを掲示するなど広報・案内を強化して、町民のみなさんに「総合生活相談所」を知っていただき、日常生活上のあらゆる相談に応じ、関係機関との連携のもと、適切な助言と援助を行うこと・的確な機関につなげ、福祉ニーズの把握から解決までの一貫した相談援助体制を確立してまいります。		

② 生活福祉資金の貸付（※県社協受託事業）

担当:鈴木雅人

内容	低所得、障がい、高齢者世帯等の生活の安定及び修学のために必要な資金の貸付と相談指導を行いました。		
期日	随時		
相談件数	57件（生活福祉資金32件、総合支援資金2件、臨時つなぎ資金0件、緊急小口0件、問い合わせ23件）		
貸付件数	1件（生活福祉資金：教育支援）		
協力	民生委員児童委員協議会		
実績・成果	貸付により、大学へ進学することができた。		
課題	相談者への他サービスへのつなぎと助言		
評価	○	評価の説明	低所得、障がい者世帯等の資金貸付に関する問い合わせ、相談対応を行えた。
改善策及び今後の取り組み	相談者や借受者への他サービスへのつなぎフォロー		

③ 小口（緊急）資金の貸付

担当:鈴木雅人

内容	教育、自立更生、疾病治療、生活安定等のために緊急に必要な資金の貸付と相談指導を行いました。		
期日	随時		
相談件数	0件		
貸付件数	0件		
実績・成果	相談件数なし		
課題	貸し付けに相当する相談がない。		
評価	---	評価の説明	相談件数なし
改善策及び今後の取り組み	・他の支援策（ライフサポート事業／神奈川県社協）との連携		

④ 年末たすけあい援護費の支給		担当:鈴木雅人	
内容	年末たすけあい募金（神奈川県共同募金会開成町支会主管）へ寄せられた寄付金の一部を激励金として町内2ヶ所の障がい者地域作業所へ配分しました。		
期日	12月20日（金）		
内訳	①れんげ	90,306円 *計	110,306円
	②合力の郷	20,000円	
実績・成果	れんげ90,306円・合力の郷20,000		
課題	配分額の妥当性の検討		
評価	○	評価の説明	効果的な配分ができた。
改善策及び今後の取り組み	配分の妥当性（使途）の確認。		

⑤ 交通遺児援護費（県社協受託事業）の支給 担当:鈴木雅人
*今年度支給対象なし

⑥ 災害見舞金の支給 担当:鈴木雅人
*災害見舞金は、今年度支給なし

在宅福祉サービス 関係

09 在宅福祉サービスの推進（介護保険外）

① 福祉機器貸与事業の実施		担当:鈴木雅人	
内容	在宅で日常生活をおくることに支障のある高齢者や障がいをお持ちの方等に対し、必要とする福祉機器を貸与し、その在宅生活を支援しました。 対象 ①高齢者または身体障がい者（要介護認定された方除く） ②要介護認定され、介護保険給付サービス「福祉用具貸与」を利用する方（給付まで） ③介護保険給付サービス「福祉用具貸与」の対象外の福祉機器を利用する方 ④一時的に負傷し、福祉機器が必要な方 ⑤町外在住の方を一時的に預かる方		
期日	通年		
利用件数	①車イス 20件（27） ②ポータブルトイレ 2件（10） ③ベッド 7件（ 8）	④シャワーイス 3件（ 4） ⑤その他 0件（ 5） *計 32件 *（ ）は保有台数 *前年比21件減	
利用者数	延28人（団体含む）		
実績・成果	必要時に迅速に貸し出しが行えた。貸出品目のメンテナンス、廃棄を行えた。		
課題	定期的な利用者モニタリングの実施。		
評価	○	評価の説明	・本会所有の機器を希望者に貸与できたため。
改善策及び今後の取り組み	・利用者モニタリングと福祉機器メンテナンス。 ・使用できなくなった機器の廃棄と、在庫管理スペースの確保		

② ふくし移送サービスの実施 *福祉有償運送対応事業 担当:鈴木雅人

内容	歩行困難な高齢者や障がいをお持ちの方に対し、日常生活上の移動手段による利便提供として、ふくし移送サービスを実施しました。		
期日	通年		
	1) 目的地別		
	①足柄上病院	81件	⑭松元医院 2件
	②北小田原病院	14件	⑮岡部医院 14件
	③白鷗医院	3件	⑯栢山眼科 1件
	④二宮たまご薬局	34件	⑰さくら眼科 3件
	⑤小田原市立病院	5件	⑱大熊整形外科 1件
	⑥東海大学病院（伊勢原）	2件	⑲ダイデンタルクリニック 2件
	⑦同（大磯）	9件	⑳安藤眼科 2件
利用件数	⑧安藤眼科	7件	㉑ひかりの里 1件
	⑨横浜子ども医療センター	4件	㉒神奈川病院 2件
	⑩辻村歯科	11件	㉓渥美医院 1件

登録者数	①竹田クリニック	7件	④小田原循環器病院	9件
	⑫西湘病院	1件	⑤熊沢皮膚科	2件
	⑬佐藤病院	2件	*計	220件
	2) 内容別			
	①通院	219件		
実績・成果	②入所・退所（施設）	1件	*前年比6件増	
	①利用者	45人（新規登録30人）		
	②支援者	10人（在宅福祉サポーター／運転業務）		
課題	利用者の利便性向上に向けて要項の一部を変更したことにより利用登録、利用件数が増加しました。			
評価	・ 定期的な利用者モニタリングの実施。 ・ 支援者（運転業務）の不足。			
	○	評価の説明	利用者の利便性向上に向けて要項の一部を変更したことにより利用登録、利用件数が増加したため。	
改善策及び今後の取り組み	支援者の発掘及び教育。利用者モニタリングの継続。			

③ 軽度生活援助事業の実施

担当:内田幸江

内容	おおむね65歳以上の高齢者のみの世帯等に対し、軽易な日常生活上の援助を行い、自立した生活の継続を可能にするため、軽度生活援助事業を実施しました。			
期日	通年			
利用件数	1) 派遣別			
	①社会福祉協議会	288件	*計	342件
	②シルバー人材センター	54件		
	2) 内容別			
	①清掃、整理整頓	266件	⑤洗濯・日干し	0件
	②調理指導	151件	⑥ゴミの搬出	2件
登録者数	③庭の手入れ	57件	*計（重複あり）	507件
	④買い物	31件	*前年比87件減	
	①利用者	25人（うち、実利用者数19人、新規7人）		
	②支援者	3人（在宅福祉サポーター／ヘルパー）		
	実績・成果			
	初回アセスメント、定期的なモニタリングにより適切なサービス提供が行えました。			
課題				
高齢者以外の対象範囲の拡大に伴うPRが不十分。				
評価	○	評価の説明	関係機関と連携のもとサービス利用につなげることができたため。	
改善策及び今後の取り組み	・事業名称の変更、対象範囲の拡大についてPR強化する ・新規利用者（若年層）獲得			

④ ミニ・デイサービス「ふれあい金曜会」の実施

担当:内田幸江

内容	外出することの少ない高齢者がつどい、ふれあいのなかから相互の交流と仲間づくりを図ることにより、孤独感の解消と社会参加を促進するために、ミニ・デイサービスを実施しました。 おしゃべり、歌、散歩、レクリエーションゲーム等。 また、健康づくりの一環として、いきいき健康体操を毎回実施。アクセントイベントとして観梅や外食会を実施したほか、ゲスト等を招き、ともに楽しいひとときを過ごしました。		
期日	毎月第2・4金曜	＊計24回	
会場	福祉会館他		
参加者数	延418人（ボランティアスタッフ含む）		
協力	ボランティアスタッフ、杉の子会、秀駒会（三味線）、マザーズベル（ハンドベル）		
実績・成果	定期的な外出の機会、ふれあいの場となっており参加者とボランティアが、相互に交流と仲間づくりができました。		
課題	参加者の固定化、新規参加者募集のPR不足		
評価	○	評価の説明	年間計画に沿い、参加者・ボランティアとともにプログラムを計画、実施することができたため。
改善策及び今後の取り組み	・健康づくりのメニューやレクリエーションを取り入れつつ、参加者とボランティアとともにプログラムを検討する体制づくり ・新たな参加者を募集		

⑤ レスパイト（障がい児者家族等の休息）サービスの実施

担当:鈴木雅人

内容	養護学校等に通う児童・生徒の夏休み期間中に、障がいをお持ちの方を一時的に預かり、介護者の身体的・精神的な負担軽減と、当事者の情緒安定等を図ることを目的として、レスパイトサービスを実施しました。 水遊び、歌、レクリエーションゲーム、散歩、工作、おやつづくり等。 障がい児者支援ボランティア講座		
期日	①7月12日（火） ①7月29日（金） ②8月 3日（水） ③8月 8日（月）	*計1回 ④8月24日（水） ⑤8月29日（月） *計5回	
会場	福祉会館他		
参加者数	延 5人（ボランティア講座） 延33人（ボランティアスタッフ含む）		
協力	開成町（福祉課）、民生委員児童委員協議会、吉田島総合高等学校、個人協力ボランティア・開成小学校、開成南小学校		
実績・成果	小学校への呼びかけを行い、レスパイトサービスの状況を学校教諭に確認してもらうことができた。利用登録者が3名でサービス利用者が少なかった。		
課題	レスパイトサービス内容の検討と需要の確認。		
評価	△	評価の説明	障がい者デイサービス（民間事業所）利用者が多く、本会のレスパイトサービスの利用にへつなげていないため。
改善策及び今後の取り組み	・当事者団体と共催し、多様なプログラムを実施し登録、利用の拡大 ・ニーズ調査（必要サービスの聞き取り）。		

⑥ コミュニティバスの運行

担当:高橋政幸

内容	高齢化の進展に伴い、「新たな公共交通を…」との要望が多方面から出されている中、町民の利便性の向上と外出の機会とコミュニティの場を提供することを目的として町（福祉課）から運行（試行）事業を受託実施しました。また、コミュニティバスの利用者の把握や運行時の利用状況を調査しました。				
期日	4月1日～翌年3月31日　＊月～金曜日（祝祭日・12月29日～翌年1月3日は運休） ＊4月1日～7月31日《1日4便》、8月1日～3月31日《1日7便》				
実績・成果	当初の目標値（利用件数）延4,131件を大きく超える延5,781件の利用がありました。 1日平均利用者数においても、23.8人（目標17.0人）となり、町民の利便性を図ることができました。				
その他	詳細「資料2」のとおり				
課題	・ 買い物支援、外出支援目的とする社協の福祉サービスとして対応力 ・ 利用者要望の把握と今後の運行形態の協議（本格事業化含む町との協議） ・ 公共交通の補完、充実目的の社協としての役割				
評価	○	評価の説明	試行運行2年次目としての運行及び利用状況調査が実施できたため。 地域の声、利用者要望への可能な限り対応できたため。		
改善策及び今後の取り組み	・ サービスの質の維持に向けた運転員ミーティングの実施 ・ 利用者要望の把握と今後の運行形態の協議 ・ 巡回バスと他の事業との連携				

10 介護保険事業の推進

① 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）の実施（“介護予防”居宅介護支援事業を含む）

担当:内田幸江

内容	介護保険法等関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて自立した日常生活を行うために必要な居宅サービスが利用できるよう「居宅サービス計画（ケア・プラン）」を、また地域包括支援センターからの委託を受け、要支援の方の「介護予防サービス計画」をそれぞれ作成するとともに、当該計画に基づいて適切な居宅サービスまたは介護予防サービスの提供が確保されるよう、サービス事業者等との連絡調整及びその他の便宜を図りました。		
期日	通年		
契約者数	①介護 ②予防	79人 *計 11人 *前年比3人減	90人
利用者数	①介護 ②予防	729人 *計 98人 *前年比13人増	827人
その他	詳細「資料3」のとおり		
実績・成果	プラン立案件数の目標数（82件/月）には及ばなかったものの、月平均68件ペースでプラン立案件数を維持することができました。		

課題	新規ケース依頼に対し、十分な対応がとれていないため事業所の体制整備が必要		
評価	◎	評価の説明	年間を通じプラン立案件数を維持することができたため。
改善策及び今後の取り組み	新規ケースの受け入れに対し可能な限り対応できるよう事業所の体制整備（新規採用）		

② 通所介護事業（デイサービス）の実施（“介護予防”通所介護事業を含む）

担当:鈴木雅人

内容	介護保険法等関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅で自立した日常生活を営むために、「介護」給付対象または「介護予防」給付対象となる機能訓練やレクリエーション、給食、入浴等の通所介護事業を一体的に行いました。 「介護」給付対象：要介護1～5、「介護予防」給付対象：要支援1～2。 プログラムメニューとしては、午前はタオル体操や歌、ゲームのほか、あじさい見学等の季節に応じた行事を、午後はカレンダーづくり等さまざまな作品づくりをつうじて、手指の訓練を目的とした創作活動をそれぞれ実施しました。 毎月1回防災訓練を実施し、スタッフ利用者ともに安全に避難することができる体制づくりを実施しました。		
期日	毎週月～金曜（4、5月の国民の休日・敬老の日・12月29日～翌年1月4日を除く） *計 258回		
会場	デイサービスセンター（福祉会館1F）		
契約者数	①介護	24人 *計	33人
	②予防	9人 *前年比1人減	
利用者数	①介護	2,042人 *計	2,220人
	②予防	178人 *前年比204人減 *一日平均8.6人（同前年比0.8人増）	
その他	詳細「資料4」のとおり		
実績・成果	きめ細かなサービスを提供することにより、利用者の身体負担軽減、利用者家族の介護負担軽減につながりました。また地域の居宅介護支援事業所への営業活動と広報紙、パンフレットによるPRにより、利用者の増につながりました。		
課題	・本会が通所介護事業を実施する目的の再認識（事業継続定期的な判断） ・利用者確保（定員充足率の向上）に向けた取り組み（営業活動） ・事業所・利用者等への意向調査の実施、課題分析、改善		
評価	△	評価の説明	・利用件数（収入）が目標値を大きく下回ったため。
改善策及び今後の取り組み	さらなる営業活動とPRに努めるとともに、新規サービス（配食他）で新たな利用者を獲得する。		

③ 介護保険事業利用者等意向調査の実施

担当:内田幸江

内容	本会が実施している介護保険事業（居宅介護支援事業）のご利用者・ご家族の意向・要望等を把握し、今後のより質の高いサービス提供・運営体制に反映していくことを目的として、契約終了時にアンケート形式による調査を行いました。		
期日	平成28年11月1日（火）～平成29年3月31日（金）		
実績・成果	例年、現在の契約者を対象にアンケート調査を実施していたが、契約終了後にことにより忌憚のない意見を集約することができました。		
課題	アンケート調査配布件数8件に対し、回収が3件と回収率が低く回収方法の検討が必要		
評価	○	評価の説明	回収率は低いものの、回答内容については比較的満足度が高い回答が得られた
改善策及び今後の取り組み	多様なニーズや要望への対応能力や職員の資質・専門性の向上に努め、よりよいサービス提供をめざす		

11 地域包括支援センター事業の推進

包括的支援事業の実施

担当:小野洋美

内容	高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を送れるよう、介護・福祉・健康・医療などのさまざまな面からの支援を行い、多様化するニーズに対応していきます。各々の提供システムが分断されることなく包括的、継続的につながるしくみである「地域包括ケアシステム」構築に向け、町（保険者）と連携を図りながら取り組みました。 詳細「資料5」のとおり		
----	--	--	--

① 介護予防対象者把握事業の実施

担当:松井雅史

内容	開成町が75歳を対象に実施したアンケートから訪問や電話等により健康状態や生活状況を確認し、心身機能の低下を防ぎ、いつまでも住み慣れた地域でできる限り自立した生活が送れるよう、必要なサービスや相談を行っていくことを目的に調査を実施しました。アンケート提出先を役場と社協に設定し、期間中窓口当番を設ける等対応しました。また、アンケート提出の無かった方については直接訪問し話を伺ったり再度用紙をポストへ投函しました。		
相談件数	介護予防対象者212件（28年度75歳になられ介護保険未申請の方を対象）		
実績・成果	町の事業であるいきいき元気塾への案内や健康体操指導員担い手の案内・介護予防プランの作成等、調査の際に必要なに応じて対応しました。		
課題	町からの情報が住所のみであり、アンケート未提出者に対するフォローが再度ポスティングするのみで、状況把握に結びつかない対象者がいらっしゃいました。		
評価	○	評価の説明	訪問・電話・ポスティング等により地域包括支援センターの周知が図れたため。
改善策及び今後の取り組み	事業の目的の明確化と、聞き取り調査のルール等の詳細について早期の打ち合わせが必要と思われる。		

② 介護予防ケアマネジメント業務

担当:小野洋美

内容	要介護状態になるおそれのある方の介護予防プログラムや軽度者（要支援1・2の認定を受けている方）の介護予防サービスのケアプランを作成しました。		
プラン立案数	①包括分	648件 *計	946件
	②他事業者分	298 *前年比：195件増	
相談件数	延8,734件	*前年比：287件増	
実績・成果	介護予防・日常生活支援総合事業が平成28年度から開始されましたが、おおむね混乱なく対応ができました。		
課題	要支援認定者数が増加する一方であり、地域包括支援センター内の体制整備と共に、プラン立案を担っていただける居宅介護支援事業所の確保が必要です。		
評価	◎	評価の説明	介護予防・日常生活自立支援総合事業の開始に伴い請求事務が煩雑になりましたが、大きな混乱を招くことなく対応できたため。
改善策及び今後の取り組み	地域包括支援センター配置のプラン立案担当者の配置（新規採用）・プラン立案を受けていただける居宅介護支援事業所の確保。		

③ 相談窓口・支援事業

担当:松井雅史

内容	相談窓口体制を強化し、介護保険に関するもののほか、高齢者の生活全般にわたる幅広い相談を受け付け、専門的・継続的な観点から必要なサービスや機関へつなぐ支援を行いました。		
相談件数	延2,689件	*前年比：165件増	
実績・成果	相談件数の増加や内容も多岐に渡り、また、長期的・継続的な経過観察を求められるケースが増えています。住民や他機関からの苦情はありませんでした。		
課題	介護予防対象者把握事業の調査員やケアプラン作成担当者の雇用を図り、包括三職種での専門的な相談援助を行なえるよう体制整備と、包括支援センターの周知が課題です。		
評価	○	評価の説明	住民からの相談に対し概ね包括三職種での対応が図れたため。
改善策及び今後の取り組み	相談窓口体制の整備と包括支援センターの周知。		

④ 権利擁護業務

担当:松井雅史

内容	高齢者が安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図り、権利擁護相談や高齢者虐待防止に取り組みました。		
相談件数	延180件	*前年比：71件増	
実績・成果	昨年度と比べ大幅に相談件数が増加しました。包括三職種で相談し、町福祉課やケアマネジャー・民生委員等、関係機関と調整を図りました。		
課題	生命に関わるような緊急の措置が必要な場合に対応できるよう体制整備が必要と思われます。		
評価	○	評価の説明	町福祉課と連携を図り、年度末に相談ケースの振り返りを行なったため。
改善策及び今後の取り組み	・消費者被害や虐待防止のための啓蒙活動や周知活動の実施。 ・早期発見早期対応。		

⑤ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

担当:小野洋美

内容	医療機関との連携や介護支援専門員への後方支援、ネットワークづくりに取り組みました。		
相談件数	延961件	*他事業者からの相談件数	*前年比：440件増

実績・成果	相談しやすい窓口であるよう心がけ、寄せられたケースには三職種で連携のもと対応しました。		
課題	要支援認定者のプラン立案を三職種で担当せざるをえない体制のため、窓口当番を設けられず、初動に遅れをきたしています。		
評価	○	評価の説明	初動に課題はありますが、寄せられたケースには三職種連携のもと対応できたため。
改善策及び今後の取り組み	相談窓口体制の整備		

⑥ 任意事業の実施

担当:小野洋美

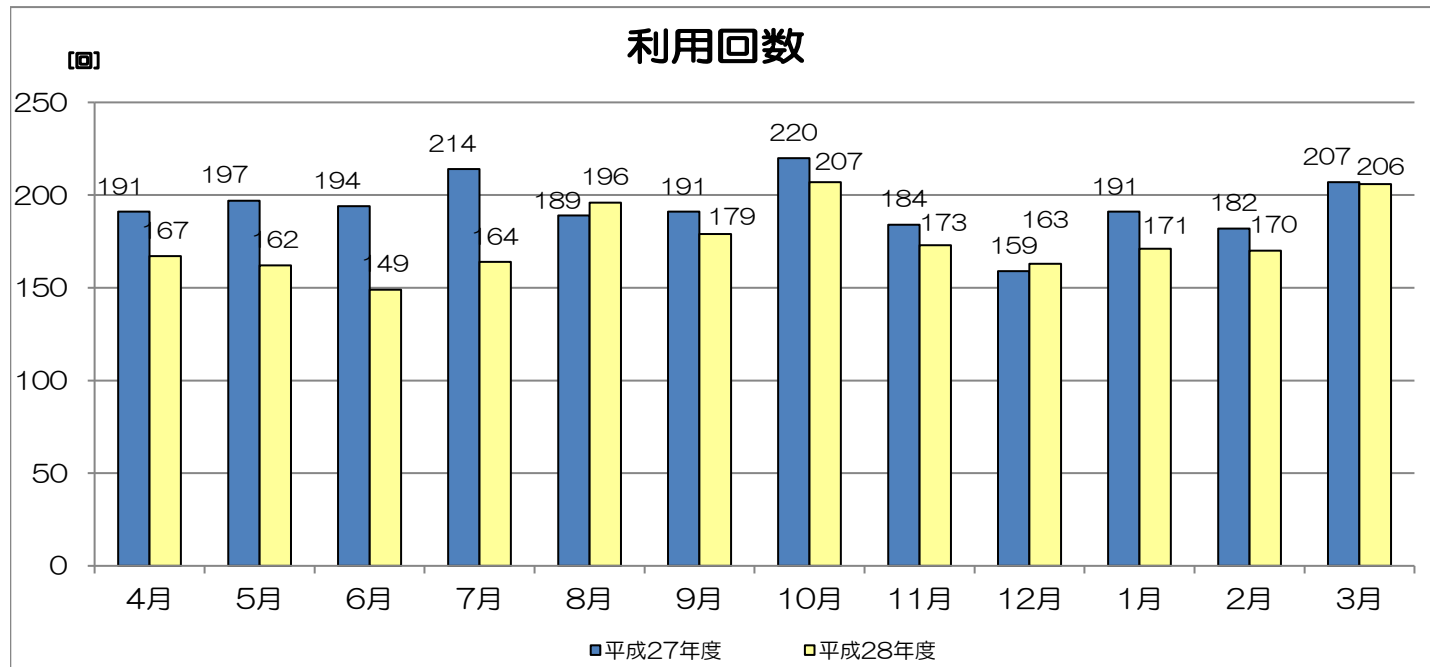
内容	介護者の健康維持・増進と介護負担の軽減、適切な介護知識・技術の習得、地域住民への啓発に、開成町や民生委員児童委員協議会、自治会福祉部等と協力して取り組みました。		
①認知症サポーター養成事業への協力			
期日	① 7月 3日(日) ② 8月21日(日) ⑤ 1月23日(月) ⑥ 1月30日(月)		
	③10月 8日(土) ④11月29日(火) ⑦ 3月 3日(金) *計7回		
会場	①牛島自治会館 ②福祉会館 ③開成南小学校 ④吉田島総合高校 ⑤⑥町民センター ⑦文命中学校		
協力	③は教育委員会主催「あじさい学校」に協力 ⑤⑥は町と共催		
参加者数	延339人(サポーターの実数)		
②介護家族教室・介護者のつどいの開催			
期日	①11月24日(木)		
	②12月07日(水)	*計2回	
会場	町民センター		
協力	町と共催		
参加者数	延26人		
実績・成果	参加者は決して多くありませんでしたが、介護中の家族の方、介護保険事業所、勉強したい方と幅広い層の参加があり、ピアカウンセリングの場になりました。		
課題	介護者が求めるテーマの把握と介護家族の会の発足に向けたきっかけづくりの検討が必要です。		
評価	○	評価の説明	町と連携して開催ができ、多くの方に参加いただけたため。
改善策及び今後の取り組み	・町との情報交換を密に行い、介護者の求めるテーマの把握が必要。 ・介護家族の会の発足に向けたきっかけになるような取り組み。		

⑦ その他

担当:小野洋美

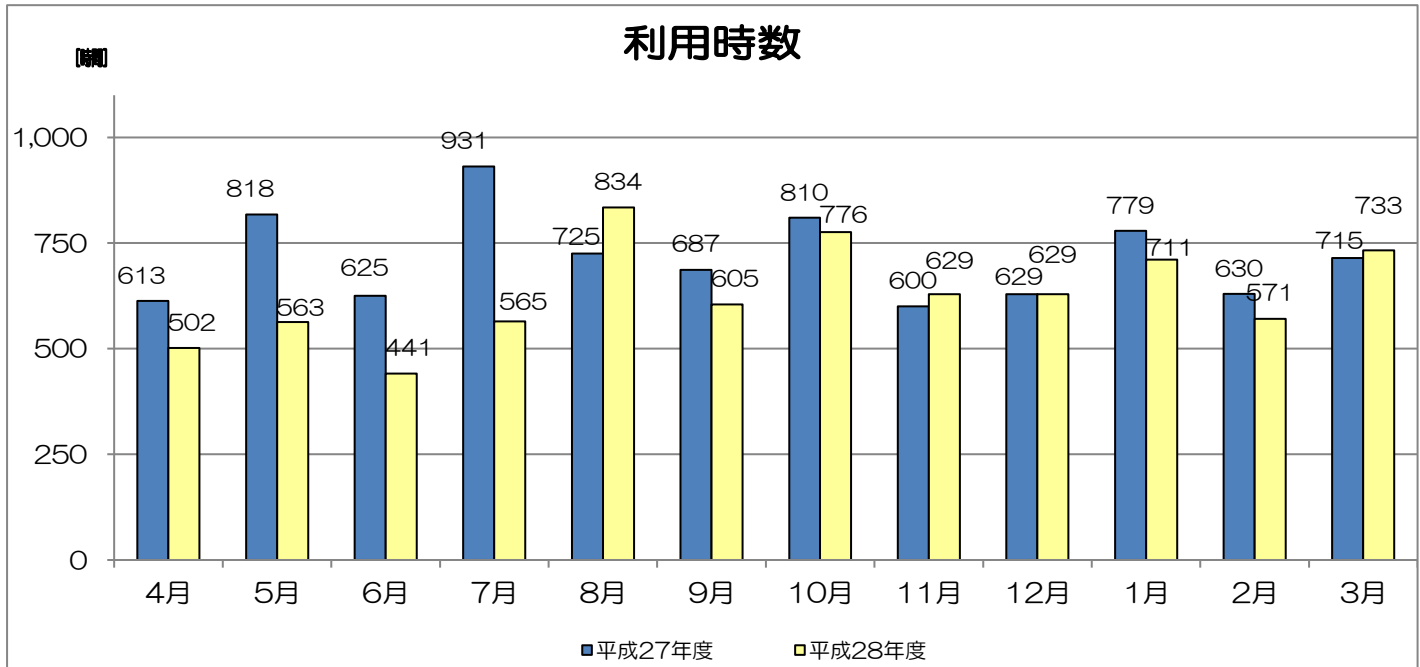
内容	①地域ケアねっとわーく会議 ②町（保険健康課）との連絡調整会議 ③部門間ミーティングを毎月各1回開催		
	期日	毎月1回開催	*計 36回
	会場	福祉会館	
実績・成果	①は5月～全11回の開催でしたが、③を緊急対応もあり全13回開催しました。		
課題	①は個別ケース検討にとどまることなく地域課題へのさらなるステップアップが必要です。		
評価	○	評価の説明	定期的に開催し地域包括支援センターの資質向上につながったため。
改善策及び今後の取り組み	①の会議の運営について、構成員の役割を見出す（各関係機関が担えることを積極的に意見交換する）場に変更していく。		

開成町福祉会館 平成28年度 利用状況報告（前年度対比）



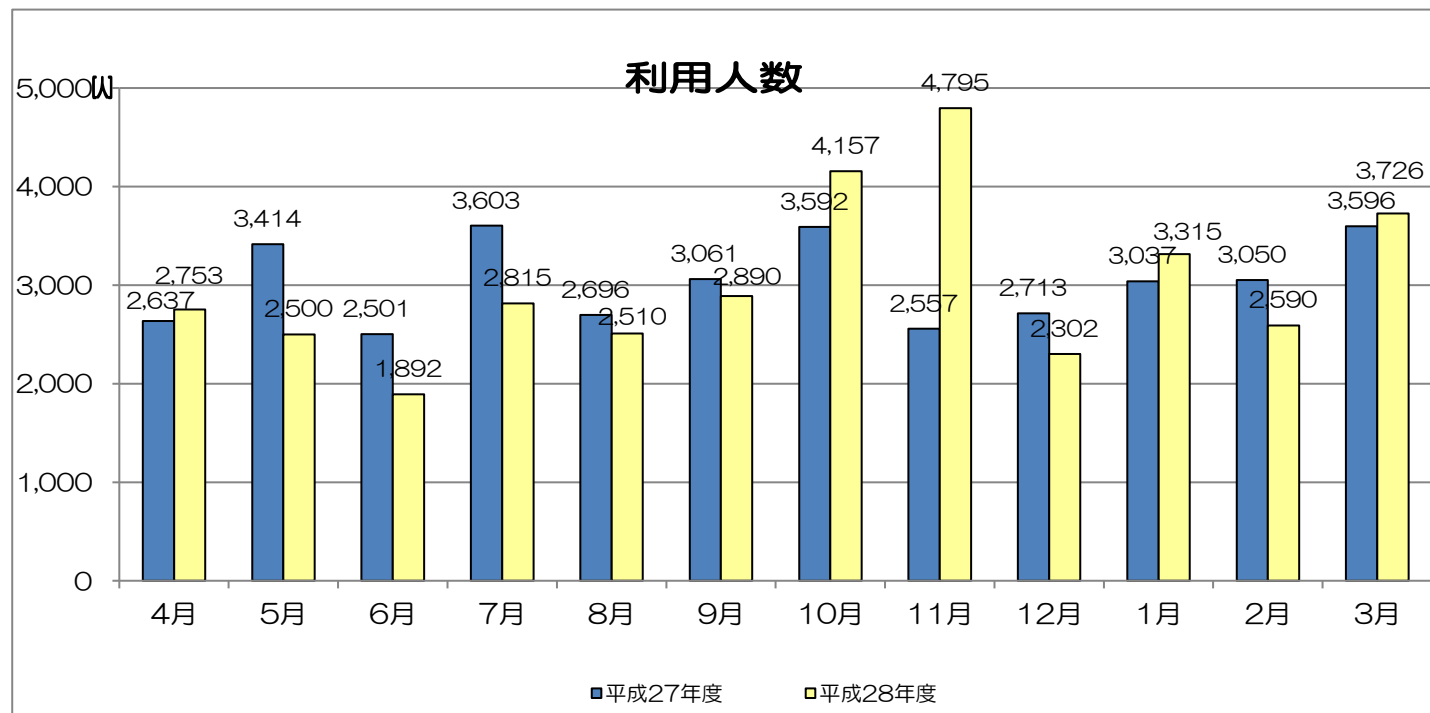
単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度	191	197	194	214	189	191	220	184	159	191	182	207	2,319
平成28年度	167	162	149	164	196	179	207	173	163	171	170	206	2,107
差異	-24	-35	-45	-50	7	-12	-13	-11	4	-20	-12	-1	-212



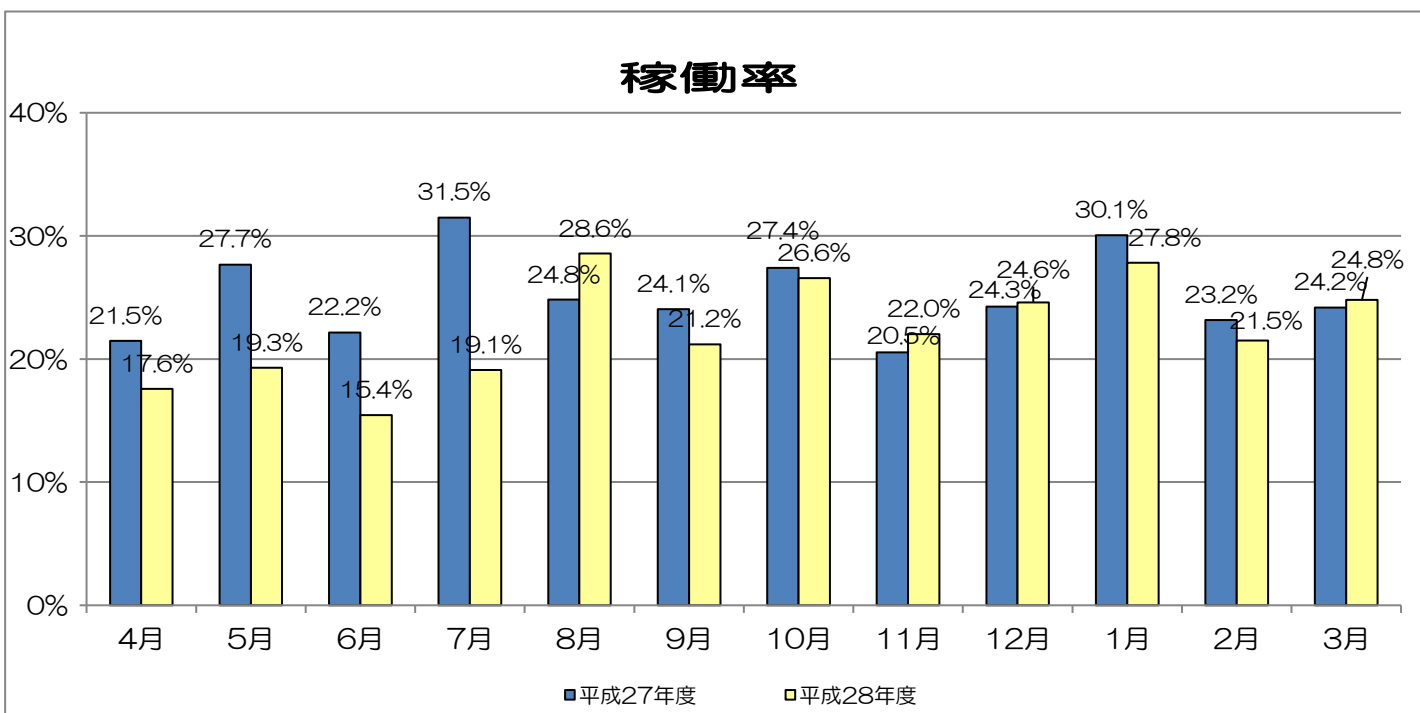
単位：時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度	613	818	625	931	725	687	810	600	629	779	630	715	8,562
平成28年度	502	563	441	565	834	605	776	629	629	711	571	733	7,559
差異	-111	-255	-184	-366	109	-82	-34	29	0	-68	-59	18	-1,003



単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度	2,637	3,414	2,501	3,603	2,696	3,061	3,592	2,557	2,713	3,037	3,050	3,596	36,457
平成28年度	2,753	2,500	1,892	2,815	2,510	2,890	4,157	4,795	2,302	3,315	2,590	3,726	36,245
差異	116	-914	-609	-788	-186	-171	565	2,238	-411	278	-460	130	-212

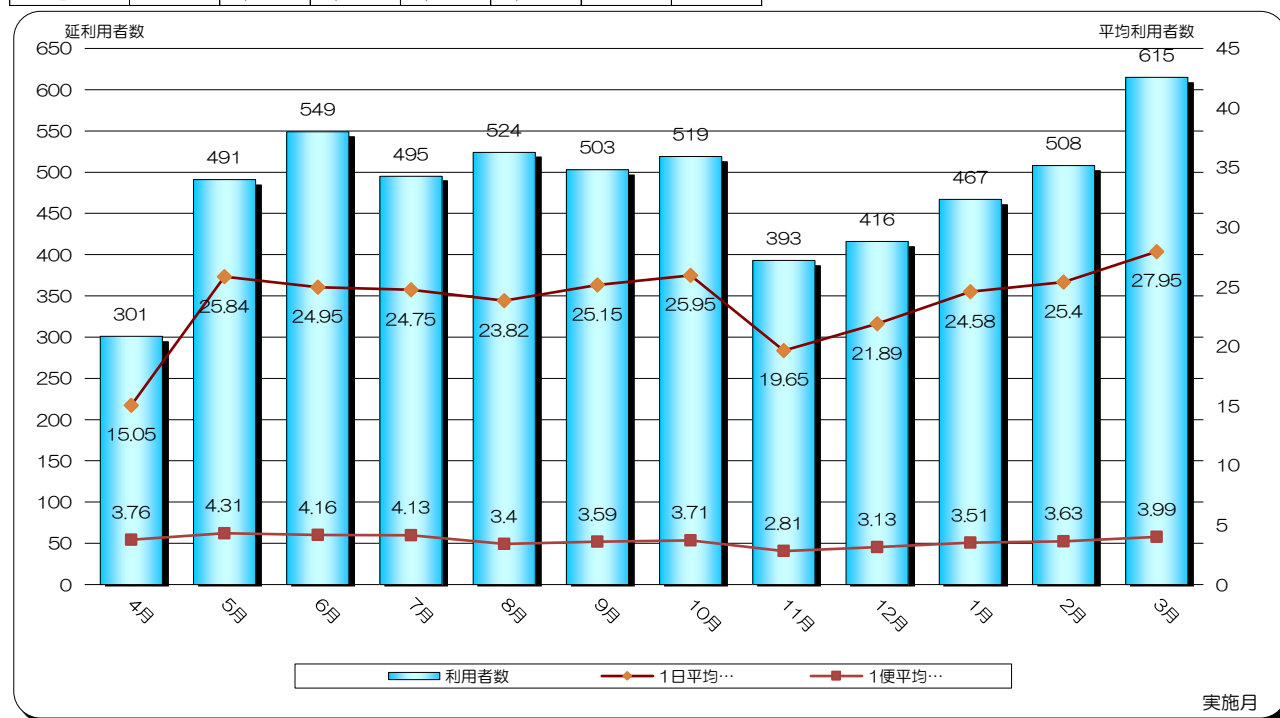
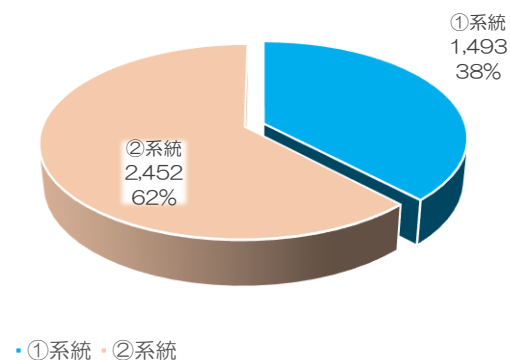


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度	21.5%	27.7%	22.2%	31.5%	24.8%	24.1%	27.4%	20.5%	24.3%	30.1%	23.2%	24.2%	25.1%
平成28年度	17.6%	19.3%	15.4%	19.1%	28.6%	21.2%	26.6%	22.0%	24.6%	27.8%	21.5%	24.8%	22.3%
差異	-3.9%	-8.4%	-6.7%	-12.4%	3.7%	-2.9%	-0.8%	1.5%	0.3%	-2.2%	-1.7%	0.6%	-2.8%

① 利用実績

	運行日数	運行便数	利用者数			1日平均	1便平均
			①系統	②系統	計		
4月	20	80	0	0	301	15.1	3.8
5月	19	114	0	0	491	25.8	4.3
6月	22	132	0	0	549	25.0	4.2
7月	20	120	0	0	495	24.8	4.1
8月	22	154	195	329	524	23.8	3.4
9月	20	140	185	318	503	25.2	3.6
10月	20	140	186	333	519	26.0	3.7
11月	20	140	142	251	393	19.7	2.8
12月	19	133	166	250	416	21.9	3.1
1月	19	133	188	279	467	24.6	3.5
2月	20	140	210	298	508	25.4	3.6
3月	22	154	221	394	615	28.0	4.0
計	243	1,580	1,493	2,452	5,781	23.8	3.7

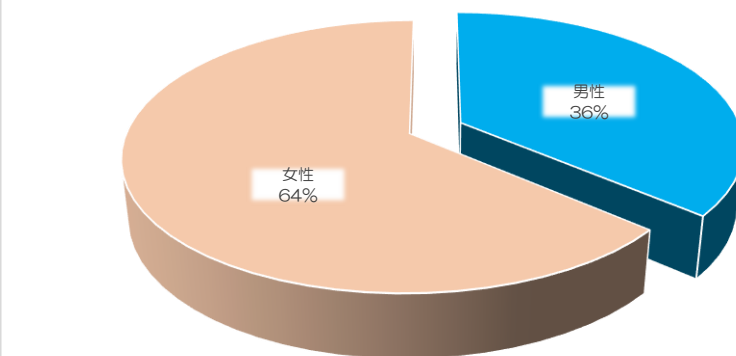
系統別



② 男女比（月次）

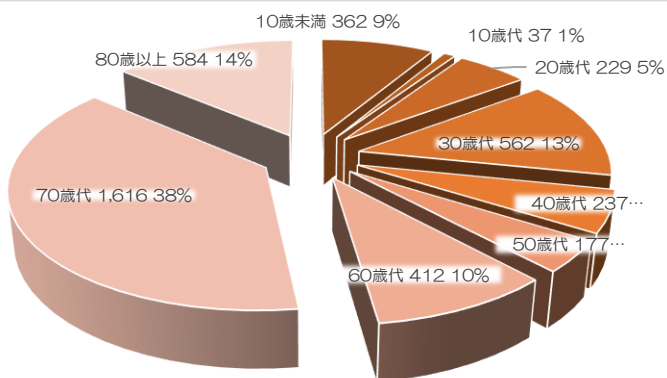
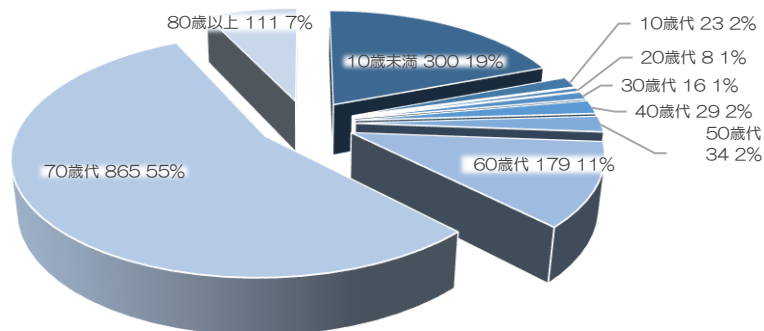
	男性	女性	計
4月	72	229	301
5月	127	364	491
6月	134	415	549
7月	128	367	495
8月	140	384	524
9月	113	390	503
10月	149	370	519
11月	104	289	393
12月	99	317	416
1月	154	313	467
2月	150	358	508
3月	195	420	615
計	1,565	4,216	5,781

② 男女比



③ 男女比（年代別）

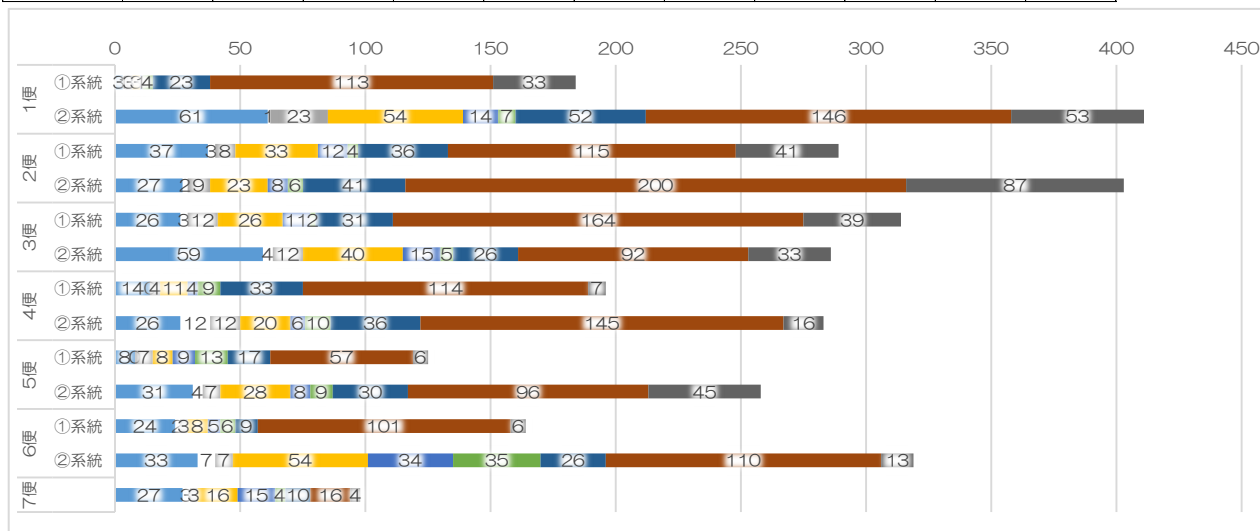
	男性	女性	計
10歳未満	300	362	662
10歳代	23	37	60
20歳代	8	229	237
30歳代	16	562	578
40歳代	29	237	266
50歳代	34	177	211
60歳代	179	412	591
70歳代	865	1,616	2,481
80歳以上	111	584	695
計	1,565	4,216	5,781



④ 利用系統（年代別）

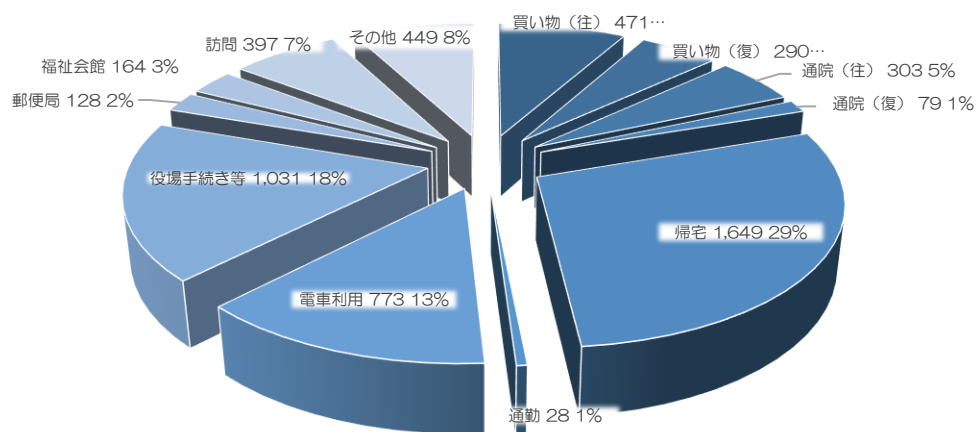
		10歳 未満	10歳 代	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 代	80歳 以上	計
1便	①系統	3	1	3	3	1	4	23	113	33	184
	②系統	61	1	23	54	14	7	52	146	53	411
2便	①系統	37	3	8	33	12	4	36	115	41	289
	②系統	27	2	9	23	8	6	41	200	87	403
3便	①系統	26	3	12	26	11	2	31	164	39	314
	②系統	59	4	12	40	15	5	26	92	33	286
4便	①系統	14	0	4	11	4	9	33	114	7	196
	②系統	26	12	12	20	6	10	36	145	16	283
5便	①系統	8	0	7	8	9	13	17	57	6	125
	②系統	31	4	7	28	8	9	30	96	45	258
6便	①系統	24	2	3	8	5	6	9	101	6	164
	②系統	33	7	7	54	34	35	26	110	13	319
7便		27	3	3	16	15	4	10	16	4	98
合計		376	42	110	324	142	114	370	1,469	383	3,330

*H28.8～カウント



⑤ 利用用途

	買 い 物 (往)	買 い 物 (復)	通 院 (往)	通 院 (復)	帰 宅	通 勤	電 車 利 用	役 場 手 続 等	郵 便 局	福 祉 会 館	訪 問	そ の 他	計
4月	32	10	18	7	105	1	39	51	9	6	14	9	301
5月	20	36	27	3	151	1	36	86	16	27	35	53	491
6月	32	15	22	7	181	0	76	98	20	6	58	34	549
7月	41	20	23	3	125	7	47	89	19	32	64	25	496
8月	70	23	27	5	164	1	47	91	13	12	52	14	519
9月	49	14	29	6	125	4	77	91	7	9	31	55	497
10月	20	14	28	5	147	2	83	95	2	20	24	62	502
11月	21	15	24	2	114	6	76	81	6	14	9	25	393
12月	23	32	19	7	90	1	85	94	10	9	14	24	408
1月	70	23	27	5	164	1	47	91	13	12	52	14	519
2月	42	43	27	12	131	2	63	78	5	7	31	55	496
3月	51	45	32	17	152	2	97	86	8	10	13	79	592
計	471	290	303	79	1,649	28	773	1,031	128	164	397	449	5,763

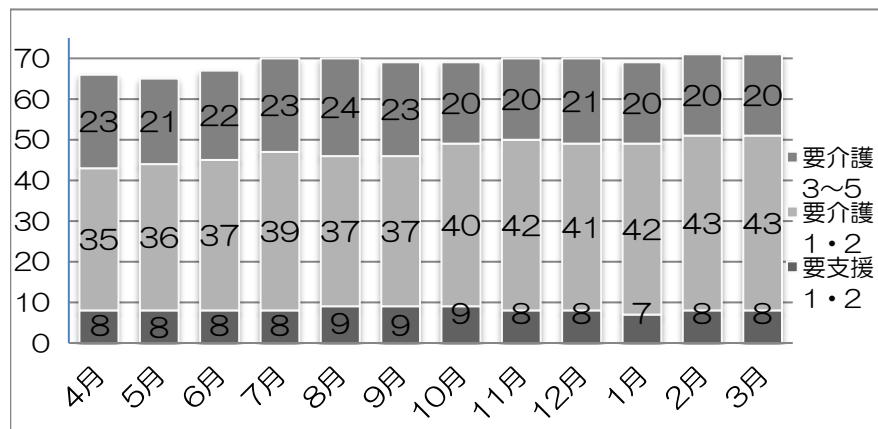


居宅介護支援事業

平成28年度

	プラン立案状況				加算の状況			
	要支援 1・2	要介護 1・2	要介護 3～5	計	初回加算	入院時 連携Ⅰ	入院時 連携Ⅱ	退院・退所
4月	8	35	23	66	0	0	0	0
5月	8	36	21	65	1	0	0	0
6月	8	37	22	67	2	0	0	0
7月	8	39	23	70	2	0	1	0
8月	9	37	24	70	2	0	0	1
9月	9	37	23	69	0	1	0	0
10月	9	40	20	69	3	0	0	0
11月	8	42	20	70	4	0	0	0
12月	8	41	21	70	3	0	0	0
1月	7	42	20	69	2	0	0	1
2月	8	43	20	71	3	0	0	0
3月	8	43	20	71	0	0	0	0
合計	98	472	257	827	22	1	1	2

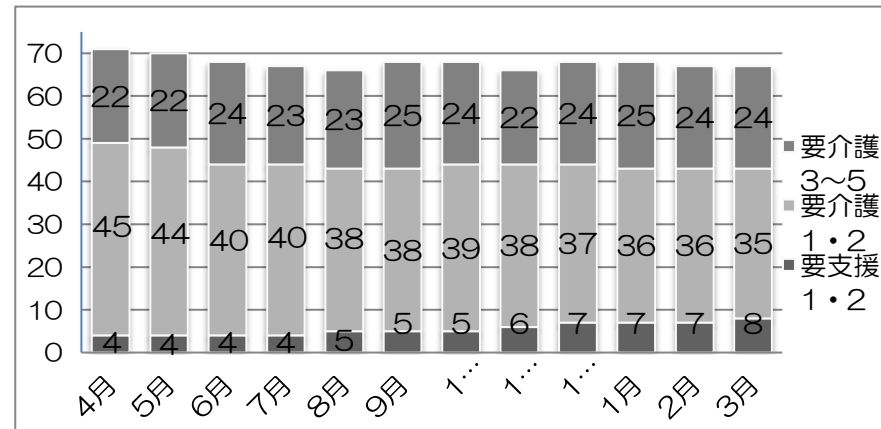
68.9



平成27年度

	プラン立案状況				加算の状況			
	要支援 1・2	要介護 1・2	要介護 3～5	計	初回加算	入院時 連携Ⅰ	入院時 連携Ⅱ	退院・退所
4月	4	45	22	71	4	0	0	0
5月	4	44	22	70	3	1	0	0
6月	4	40	24	68	2	0	0	0
7月	4	40	23	67	1	0	0	2
8月	5	38	23	66	1	1	1	0
9月	5	38	25	68	1	0	0	1
10月	5	39	24	68	2	0	1	0
11月	6	38	22	66	0	0	0	0
12月	7	37	24	68	1	0	0	1
1月	7	36	25	68	1	0	0	1
2月	7	36	24	67	1	0	0	0
3月	8	35	24	67	1	0	0	0
合計	66	466	282	814	18	2	2	5

67.8

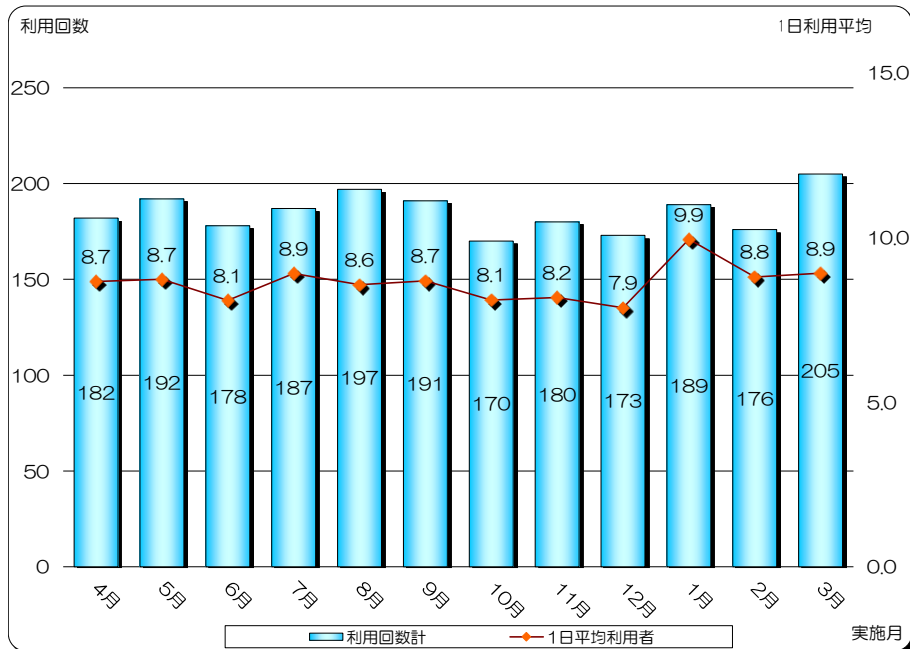


参考資料④

デイサービスセンター事業（通所介護・介護予防通所介護）

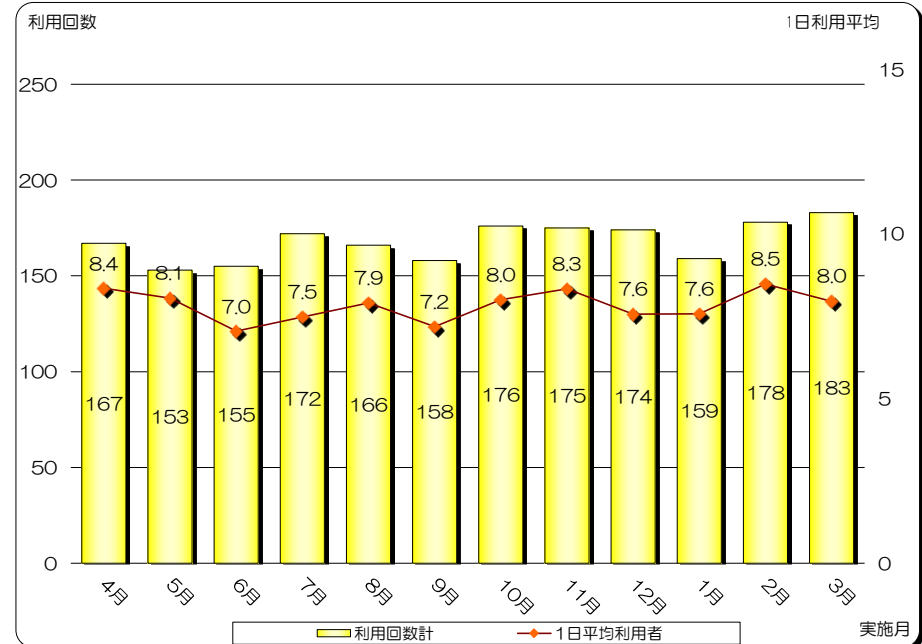
平成28年度

	介護予防通所介護		通所介護					利用回数計	開設数	1日平均利用者
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	0	13	93	32	29	15	0	182	21	8.7
5月	0	13	100	43	22	14	0	192	22	8.7
6月	0	13	99	31	26	9	0	178	22	8.1
7月	0	11	100	26	38	12	0	187	21	8.9
8月	0	9	112	24	41	11	0	197	23	8.6
9月	3	9	90	22	56	11	0	191	22	8.7
10月	4	11	85	22	34	14	0	170	21	8.1
11月	4	13	102	21	25	15	0	180	22	8.2
12月	4	12	87	14	38	18	0	173	22	7.9
1月	8	16	92	11	19	43	0	189	19	9.9
2月	8	11	91	12	8	46	0	176	20	8.8
3月	5	11	108	19	9	53	0	205	23	8.9
合計	36	142	1,159	277	345	261	0	2,220	258	8.6
前年度比	36	-3	-89	48	284	-53	-19	204	0	0.8



平成27年度

	介護予防通所介護		通所介護					利用回数計	開設数	1日平均利用者
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	0	8	100	16	0	36	7	167	20	8.4
5月	0	8	91	15	0	32	7	153	19	8.1
6月	0	9	99	13	0	29	5	155	22	7.0
7月	0	14	112	14	0	32	0	172	23	7.5
8月	0	12	112	13	0	29	0	166	21	7.9
9月	0	13	106	12	0	27	0	158	22	7.2
10月	0	14	115	17	0	30	0	176	22	8.0
11月	0	12	117	17	0	29	0	175	21	8.3
12月	0	12	107	28	0	27	0	174	23	7.6
1月	0	17	94	26	11	11	0	159	21	7.6
2月	0	12	99	28	23	16	0	178	21	8.5
3月	0	14	96	30	27	16	0	183	23	8.0
合計	0	145	1,248	229	61	314	19	2,016	258	7.8



平成28年度 開成町地域包括支援センター業務報告書

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
Ⅰ／包括的支援事業														
1.介護予防ケアマネジメント業務														
地域包括支援センター プラン立案数（利用のあった件数）		54	55	57	58	53	56	56	56	53	50	49	51	648
内訳	要支援1	17	18	19	19	21	21	19	20	17	14	13	13	211
	要支援2	36	35	34	33	23	23	25	23	23	24	23	23	325
	総合事業	1	2	4	6	9	12	12	13	13	12	13	15	112
	※初回加算・小規模多機能連携加算	0	3	4	3	1	3	1	1	0	1	0	2	19
	認定結果未のため次月請求の件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他事業者 プラン立案数（利用のあった件数）		26	25	25	23	22	24	25	25	25	23	28	27	298
内訳	要支援1	5	4	4	2	3	2	2	2	2	2	3	3	34
	要支援2	20	18	18	17	16	16	16	15	13	11	13	13	186
	総合事業	1	3	3	4	3	6	7	8	10	10	12	11	78
	※初回加算・小規模多機能連携加算	0	0	0	0	1	1	1	1	2	0	6	0	12
要支援認定者の介護保険利用者数		78	75	75	71	63	62	62	60	55	51	51	0	703
総合事業利用者数		2	5	7	10	12	18	19	21	23	22	25	0	164
相談件数		702	670	702	833	716	765	863	679	730	630	745	699	8,734
内訳	サービス担当者会議	17	19	18	15	24	13	17	14	14	9	15	21	196
	サービス調整	335	282	316	351	282	295	387	285	283	253	300	291	3,660
	モニタリング	350	369	368	467	410	457	459	380	433	368	430	387	4,878
2.総合相談・支援事業														
相談件数		177	221	239	242	238	269	187	186	229	203	251	247	2,689
3.権利擁護業務														
相談件数		3	10	30	29	10	11	7	12	20	17	14	17	180
4.包括的・継続的ケアマネジメント支援事業														
他事業所からの相談件数（個々の介護支援専門員へのサポート）		65	54	74	69	63	96	92	80	104	75	89	100	961
Ⅱ／介護予防把握事業														
把握数		0	0	93	12	35	37	6	29	0	0	0	0	212

平成28年度 介護予防支援事業 給付管理一覧表

	国保連 請求総額	地域包括 支援センター 純利益	内訳				他事業所 扱い分 合計	内訳			他事業所純利益																										
			請求数			初回 等加算		他事業所 担当分 差額	請求数			初回 等加算	ニコニコプラン		居宅介護支援 エリア		開成町社協		高齢者支援センター はなの詩		ケアプラン なかむら		在宅福祉77 子育て支援センター		居宅介護支援 秀徳の郷ほなみ		富士 ライフデザイン		すいふよう		あかつき居宅介 護支援事業所		草の家		おうちDE介護		
			要支援 1	要支援 2	総合 事業				要支援 1	要支援 2	総合 要支援 1		総合 要支援 2	総合	件数	総合	件数	総合	件数	総合	件数	総合	件数	総合	件数	総合	件数	総合	件数	総合	件数	総合	件数	総合	件数	総合	件数
4月	344,000	237,790	17	36	0	0	5,590	106,210	5	20	0	8,170	2	8,170	2	32,680	8	16,340	4	4,085	1	4,085	1	4,085	1	8,170	2	8,170	2	4,085	1	4,085	1	0	0		
			0	1	0	0			0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,085	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5月	353,000	250,875	18	35	0	2	5,375	102,125	4	18	0	8,170	2	8,170	2	32,680	8	8,170	2	4,085	1	4,085	1	0	0	8,170	2	8,170	2	4,085	1	4,085	1	0	0		
			0	2	0	1			0	3	0	0	0	0	0	0	0	4,085	1	4,085	1	0	0	4,085	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
6月	364,600	262,475	19	34	0	2	5,375	102,125	4	18	0	8,170	2	8,170	2	32,680	8	8,170	2	4,085	1	4,085	1	0	0	8,170	2	8,170	2	4,085	1	4,085	1	0	0		
			1	3	0	2			0	3	0	0	0	0	0	0	0	4,085	1	4,085	1	0	0	4,085	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
7月	357,300	263,345	19	33	0	1	4,945	93,955	2	17	0	8,170	2	4,085	1	32,680	8	8,170	2	0	0	0	0	0	8,170	2	8,170	2	4,085	1	4,085	1	0	0			
			1	5	0	2			1	3	0	0	0	0	0	0	0	4,085	1	8,170	2	0	0	4,085	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
8月	328,500	235,930	21	23	0	1	5,030	92,570	3	16	1	8,170	2	4,085	1	39,465	9	4,085	1	0	0	0	0	0	8,170	2	8,170	2	4,085	1	4,085	1	0	0			
			1	8	0	0			1	2	0	0	0	0	0	0	0	4,085	1	8,170	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
9月	356,000	255,260	21	23	0	0	5,460	100,740	2	16	0	8,170	2	4,085	1	36,765	9	0	0	0	0	0	0	8,170	2	8,170	2	4,085	1	4,085	1	0	0				
			1	11	0	3			2	4	1	0	0	0	0	0	8,170	2	8,170	2	0	0	10,870	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
10月	354,300	249,475	19	25	0	1	5,675	104,825	2	16	0	8,170	2	4,085	1	36,765	9	0	0	0	0	0	0	8,170	2	8,170	2	4,085	1	4,085	1	0	0				
			1	11	0	0			2	5	1	0	0	0	0	0	8,170	2	14,955	3	0	0	8,170	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
11月	354,300	249,475	20	23	0	0	5,675	104,825	2	15	1	8,170	2	4,085	1	32,680	8	0	0	6,785	1	0	0	8,170	2	4,085	1	4,085	1	4,085	1	0	0				
			1	12	0	1			3	5	0	0	0	0	0	0	8,170	2	12,255	3	0	0	8,170	2	0	0	0	0	4,085	1	0	0	0	0			
12月	341,400	233,875	17	23	0	0	5,675	107,525	2	13	0	8,170	2	4,085	1	28,595	7	0	0	4,085	1	0	0	8,170	2	4,085	1	0	0	4,085	1	0	0				
			2	11	0	0			4	6	2	0	0	0	0	6,785	1	4,085	1	12,255	3	0	0	8,170	2	0	0	6,785	1	8,170	2	0	0	0	0		
1月	316,900	222,945	14	24	0	1	4,945	93,955	2	11	0	8,170	2	4,085	1	24,510	6	0	0	4,085	1	0	0	8,170	2	0	0	0	0	4,085	1	0	0				
			1	11	0	0			4	6	0	0	0	0	0	4,085	1	4,085	1	12,255	3	0	0	8,170	2	0	0	4,085	1	8,170	2	0	0	0	0		
2月	349,100	218,520	13	23	0	0	7,820	130,580	3	12	3	8,170	2	4,085	1	20,425	5	6,785	1	4,085	1	13,570	2	0	0	8,170	2	0	0	0	0	4,085	1	0	0		
			2	11	0	0			5	7	3	0	0	0	0	14,955	3	10,870	2	8,170	2	0	0	8,170	2	0	0	4,085	1	8,170	2	0	0	6,785	1		
3月	341,400	231,105	13	23	0	1	5,805	110,295	3	13	0	8,170	2	4,085	1	24,510	6	4,085	1	4,085	1	8,170	2	0	0	8,170	2	0	0	0	0	4,085	1	0	0		
			3	12	0	1			5	6	0	0	0	0	0	8,170	2	8,170	2	8,170	2	0	0	8,170	2	0	0	4,085	1	8,170	2	0	0	0	0		
合計	4,160,800	2,911,070	211	325	0	9	67,370	1,249,730	34	185	5	98,040	24	61,275	15	374,435	91	55,805	13	35,380	8	33,995	7	4,085	1	98,040	24	65,360	16	32,680	8	49,020	12	0	0		
			14	98	0	10			27	51	7	0	0	0	0	33,995	7	68,060	16	104,825	25	0	0	72,145	17	0	0	19,040	4	36,765	9	0	0	6,785	1		

平成28年度 総合相談の把握経路別件数

平成29年3月31日現在

	I / 介護	II / 介護予防	III / 高齢者	IV / 権利擁護	V / 身障	VI / 知的	VII / 精神	VIII / 母子	IX / その他	合計
①本人	301	259	62	76	1	0	1	0	1	701
	10	109	8	3	1	0	0	0	0	131
②家族	119	15	19	6	0	0	1	0	4	164
	17	2	5	2	0	0	0	0	0	26
③親族	94	9	17	8	3	0	0	0	0	131
	14	2	5	0	3	0	0	0	0	24
④民生委員	61	15	64	12	1	0	0	0	1	154
	15	6	15	2	0	0	0	0	1	39
⑤地域住民	11	0	5	5	0	0	1	0	3	25
	4	0	4	2	0	0	1	0	1	12
⑥介護支援専門員	523	0	13	52	0	0	0	0	2	590
	23	0	1	6	0	0	0	0	2	32
⑦その他	685	80	51	97	5	0	1	0	5	924
	80	10	8	7	1	0	0	0	2	108
合計	1,794	378	231	256	10	0	4	0	16	2,689
	163	129	46	22	5	0	1	0	6	372

※各項目の下欄は実対象者人数

総合計	2,689
相談者実数	372

※ I / 介護は介護保険制度、介護に関する相談、II / 介護予防は予防事業に参加希望、相談

資金収支計算書

(自)平成28年04月01日

(至)平成29年03月31日

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

1 / 4

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 >				
会費収入	3,472,000	3,287,000	185,000	
一般会費収入	2,677,000	2,561,000	116,000	
一般世帯会費収入	2,400,000	2,284,000	116,000	
各種団体会費収入	277,000	277,000	0	
賛助会費収入	795,000	726,000	69,000	
寄附金収入	771,000	799,909	△28,909	
寄附金収入	771,000	799,909	△28,909	
補助金収入	34,912,000	34,912,000	0	
町補助金収入	34,912,000	34,912,000	0	
法人運営費補助金収入	1,631,000	1,631,000	0	
職員人件費等補助金収入	31,481,000	31,481,000	0	
地域福祉推進事業補助金収入	1,800,000	1,800,000	0	
受託金収入	42,942,000	42,501,900	440,100	
町受託金収入	40,355,000	39,915,860	439,140	
福祉会館指定管理受託金収入(一般分)	17,903,000	17,903,000	0	
福祉会館指定管理受託金収入(修繕分)	1,300,000	1,287,360	12,640	
介護予防支援事業受託金収入	343,000	475,105	△132,105	
地域包括支援センター事業受託金収入	11,931,000	11,037,271	893,729	
介護予防把握事業受託金収入	2,200,000	2,200,000	0	
コミュニティバス運行事業受託金収入	5,292,000	5,289,998	2,002	
生活支援介護予防サービス・体制整備事業受託金収入	177,000	588,231	△411,231	
生活支援体制整備業務受託金収入	1,209,000	1,134,895	74,105	
県社協受託金収入	2,587,000	2,586,040	960	
生活福祉資金貸付事業受託金収入	335,000	334,200	800	
日常生活自立支援事業受託金収入	2,252,000	2,251,840	160	
事業収入	11,715,000	9,493,402	2,221,598	
参加費収入	128,000	83,500	44,500	
利用料収入	11,229,000	9,233,379	1,995,621	
利用料収入	4,023,000	3,585,734	437,266	
福祉会館利用料減免分補填収入	7,171,000	5,573,075	1,597,925	
生活支援介護予防サービス利用者等利用料収入	35,000	74,570	△39,570	
広告料収入	98,000	27,000	71,000	
手数料収入	160,000	146,523	13,477	
償還金収入	100,000	3,000	97,000	
貸付事業等償還金収入	100,000	3,000	97,000	
共同募金配分金収入	1,630,000	1,620,306	9,694	
一般募金配分金収入	1,510,000	1,510,000	0	
年末たすけあい配分金収入	120,000	110,306	9,694	
介護保険事業収入	39,143,000	34,279,855	4,863,145	
居宅介護料収入	23,686,000	19,252,608	4,433,392	
介護報酬収入	20,708,000	17,067,469	3,640,531	
介護予防報酬収入	580,000	382,527	197,473	
利用者介護負担金収入(公費)	2,334,000	1,743,706	590,294	
利用者介護予防負担金収入(公費)	64,000	58,906	5,094	

資金収支計算書

(自)平成28年04月01日

(至)平成29年03月31日

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

2 / 4

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
	居宅介護支援介護料収入	13,157,000	13,293,305	△136,305	
	居宅介護支援介護料収入	9,653,000	9,862,710	△209,710	
	介護予防居宅介護支援介護料収入	2,974,000	2,899,395	74,605	
	介護予防ケアマネジメント費収入	530,000	531,200	△1,200	
	利用者等利用料収入	2,207,000	1,641,362	565,638	
	利用者等利用料収入	2,207,000	1,641,362	565,638	
	その他の事業収入	93,000	92,580	420	
	その他の事業収入	93,000	92,580	420	
	受取利息配当金収入	180,000	284,850	△104,850	
	その他の収入	2,105,000	1,387,041	717,959	
	雑収入	2,105,000	1,387,041	717,959	
	雑収入	2,105,000	1,387,041	717,959	
事業活動収入計(1)		136,870,000	128,566,263	8,303,737	
< 支出 >					
	人件費支出	84,353,197	80,706,872	3,646,325	
	役員報酬支出	1,560,000	1,560,000	0	
	職員本俸支出	29,290,400	29,289,600	800	
	職員諸手当支出	16,783,337	16,216,324	567,013	
	非常勤職員給与支出	26,912,908	24,341,530	2,571,378	
	退職共済掛金支出	822,400	816,000	6,400	
	法定福利費支出	8,984,152	8,483,418	500,734	
	事業費支出	24,049,639	20,615,458	3,434,181	
	給食費支出	1,757,000	1,206,810	550,190	
	燃料費支出	1,006,630	874,341	132,289	
	消耗器具備品費支出	1,900,066	1,460,917	439,149	
	印刷製本費支出	215,956	173,190	42,766	
	保険料支出	568,740	391,768	176,972	
	諸謝金支出	910,490	676,980	233,510	
	会議費支出	145,000	99,233	45,767	
	広報費支出	1,244,000	1,231,200	12,800	
	業務委託費支出	14,173,757	12,576,589	1,597,168	
	助成金支出	1,886,000	1,814,124	71,876	
	援護費支出	20,000	0	20,000	
	貸付金支出	101,000	0	101,000	
	年末たすけあい配分金事業費支出	120,000	110,306	9,694	
	雑支出	1,000	0	1,000	
	事務費支出	25,969,902	22,127,506	3,842,396	
	福利厚生費支出	332,858	322,138	10,720	
	車輛費支出	249,936	189,582	60,354	
	旅費交通費支出	172,100	148,140	23,960	
	役員旅費支出	47,000	38,000	9,000	
	職員旅費支出	125,100	110,140	14,960	
	研修研究費支出	203,596	195,388	8,208	
	水道光熱費支出	12,418,042	10,310,856	2,107,186	
	修繕費支出	1,300,000	1,287,360	12,640	
	通信運搬費支出	747,521	701,007	46,514	

資金収支計算書

(自)平成28年04月01日

(至)平成29年03月31日

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

3 / 4

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
	手数料支出	139,856	137,058	2,798	
	賃借料支出	3,508,110	3,347,177	160,933	
	租税公課支出	1,126,200	1,119,200	7,000	
	保守料支出	5,428,858	4,033,292	1,395,566	
	渉外費支出	9,517	3,000	6,517	
	諸会費支出	81,707	81,707	0	
	雑支出	251,601	251,601	0	
	その他の支出	1,416,652	1,412,060	4,592	
	雑支出	1,416,652	1,412,060	4,592	
	雑支出	1,416,652	1,412,060	4,592	
	事業活動支出計(2)	135,789,390	124,861,896	10,927,494	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,080,610	3,704,367	△2,623,757	
< 施設整備等による収支 >					
< 収入 >					
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
< 支出 >					
	固定資産取得支出	3,581,000	3,580,200	800	
	ソフトウェア取得支出	3,581,000	3,580,200	800	
	ファイン・リース債務の返済支出	779,000	778,896	104	
	施設整備等支出計(5)	4,360,000	4,359,096	904	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△4,360,000	△4,359,096	△904	
< その他の活動による収支 >					
< 収入 >					
	基金積立資産取崩収入	9,985,000	7,762,000	2,223,000	
	福祉基金積立資産取崩収入	9,985,000	7,762,000	2,223,000	
	普通預金(基金)さが信開0349990	9,985,000	7,762,000	2,223,000	
	積立資産取崩収入	3,000	0	3,000	
	退職共済積立資産取崩収入	1,000	0	1,000	
	普通預金(退職)さが信開0385710	1,000	0	1,000	
	通所介護事業積立資産取崩収入	1,000	0	1,000	
	普通預金(通所)さが信開0372400	1,000	0	1,000	
	福祉会館管理積立資産取崩収入	1,000	0	1,000	
	普通預金(会館)さが信開0417404	1,000	0	1,000	
	事業区分間繰入金収入	231,000	230,000	1,000	
	拠点区分間繰入金収入	10,366,000	10,337,300	28,700	
	サービス区分間繰入金収入	6,876,000	4,648,208	2,227,792	
	その他の活動収入計(7)	27,461,000	22,977,508	4,483,492	
< 支出 >					
	基金積立資産支出	566,000	517,521	48,479	
	福祉基金積立資産支出	566,000	517,521	48,479	
	福祉基金積立資産支出0349990	273,000	224,521	48,479	
	福祉基金積立資産支出0097217	293,000	293,000	0	
	積立資産支出	5,047,000	5,045,000	2,000	
	退職共済積立資産支出	5,045,000	5,045,000	0	
	普通預金(退職)さが信開0385710	5,045,000	5,045,000	0	
	通所介護事業積立資産支出	1,000	0	1,000	

資金収支計算書

(自)平成28年04月01日

(至)平成29年03月31日

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
	普通預金(通所)さが信開0372400	1,000	0	1,000	
	福祉会館管理積立資産支出	1,000	0	1,000	
	普通預金(会館)さが信開0417404	1,000	0	1,000	
	事業区分間繰入金支出	232,000	230,000	2,000	
	拠点区分間繰入金支出	10,349,980	10,337,300	12,680	
	サービス区分間繰入金支出	6,875,000	4,648,208	2,226,792	
	その他の活動支出計(8)	23,069,980	20,778,029	2,291,951	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		4,391,020	2,199,479	2,191,541	
予備費支出(10)		3,200,630	0	3,200,630	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△2,089,000	1,544,750	△3,633,750	
前期末支払資金残高(12)		2,396,000	2,549,887	△153,887	
当期末支払資金残高(11)+(12)		307,000	4,094,637	△3,787,637	

事業活動計算書

(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

1 / 4

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
< サービス活動増減の部 >				
< 収益 >				
会費収益		3,287,000	3,281,500	5,500
一般会費収益		2,561,000	2,513,500	47,500
一般世帯会費収益		2,284,000	2,236,000	48,000
各種団体会費収益		277,000	277,500	△500
賛助会費収益		726,000	768,000	△42,000
寄附金収益		799,909	1,039,921	△240,012
寄附金収益		799,909	1,039,921	△240,012
経常経費補助金収益		34,912,000	35,688,000	△776,000
市区町村補助金収益		34,912,000	35,638,000	△726,000
法人運営費補助金収益		1,631,000	2,023,000	△392,000
職員人件費等補助金収益		31,481,000	31,853,000	△372,000
地域福祉推進事業補助金収益		1,800,000	1,762,000	38,000
県社協補助金収益		0	50,000	△50,000
交通遺児援護基金事業助成金収益		0	50,000	△50,000
受託金収益		42,501,900	38,967,740	3,534,160
町受託金収益		39,915,860	36,484,810	3,431,050
福祉会館指定管理受託金収益(一般分)		17,903,000	17,346,000	557,000
福祉会館指定管理受託金収益(修繕分)		1,287,360	1,396,000	△108,640
介護予防支援事業受託金収益		475,105	246,210	228,895
地域包括支援センター事業受託金収益		11,037,271	11,931,000	△893,729
介護予防把握事業受託金収益		2,200,000	2,214,000	△14,000
コミュニティバス運行事業受託金収益		5,289,998	3,351,600	1,938,398
生活支援介護予防サービス・体制整備事業受託金収益		588,231	0	588,231
生活支援体制整備業務受託金収益		1,134,895	0	1,134,895
県社協受託金収益		2,586,040	2,482,930	103,110
生活福祉資金貸付事業受託金収益		334,200	349,500	△15,300
日常生活自立支援事業受託金収益		2,251,840	2,133,430	118,410
事業収益		9,490,402	10,636,561	△1,146,159
参加費収益		83,500	102,200	△18,700
利用料収益		9,233,379	10,351,613	△1,118,234
利用料収益		3,585,734	3,251,613	334,121
福祉会館利用料減免分補填収益		5,573,075	7,100,000	△1,526,925
生活支援介護予防サービス利用者等利用料収益		74,570	0	74,570
広告料収益		27,000	26,000	1,000
手数料収益		146,523	156,748	△10,225
共同募金配分金収益		1,620,306	1,865,666	△245,360
一般募金配分金収益		1,510,000	1,750,000	△240,000
年末たすけあい配分金収益		110,306	115,666	△5,360
介護保険事業収益		34,279,855	28,676,602	5,603,253
居宅介護料収益		19,252,608	15,521,004	3,731,604
介護報酬収益		17,067,469	13,055,555	4,011,914
介護予防報酬収益		382,527	654,390	△271,863
利用者介護負担金収益(公費)		1,743,706	1,731,251	12,455
利用者介護予防負担金収益(公費)		58,906	79,808	△20,902
居宅介護支援介護料収益		13,293,305	11,367,362	1,925,943

事業活動計算書

(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

2 / 4

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	居宅介護支援介護料収益	9,862,710	8,793,680	1,069,030
	介護予防支援介護料収益	2,899,395	2,573,682	325,713
	介護予防ケアマネジメント費収益	531,200	0	531,200
	利用者等利用料収益	1,641,362	1,734,231	△92,869
	利用者等利用料収益	1,641,362	1,734,231	△92,869
	その他の事業収益	92,580	54,005	38,575
	その他の事業収益	92,580	54,005	38,575
	サービス活動収益計(1)	126,891,372	120,155,990	6,735,382
< 費用 >				
	人件費	80,706,872	79,008,086	1,698,786
	役員報酬	1,560,000	1,483,000	77,000
	職員本俸	29,289,600	28,623,337	666,263
	職員諸手当	16,216,324	15,937,101	279,223
	非常勤職員給与	24,341,530	23,788,513	553,017
	退職給付費用	816,000	822,400	△6,400
	法定福利費	8,483,418	8,353,735	129,683
	事業費	20,615,458	19,917,018	698,440
	給食費	1,206,810	1,207,888	△1,078
	燃料費	874,341	213,693	660,648
	消耗器具備品費	1,460,917	1,535,748	△74,831
	印刷製本費	173,190	168,480	4,710
	保険料	391,768	610,785	△219,017
	諸謝金	676,980	605,119	71,861
	会議費	99,233	99,223	10
	広報費	1,231,200	1,232,712	△1,512
	業務委託費	12,576,589	12,336,038	240,551
	助成金	1,814,124	1,741,666	72,458
	援護費	0	50,000	△50,000
	年末たすけあい配分金事業費	110,306	115,666	△5,360
	事務費	22,127,506	26,496,127	△4,368,621
	福利厚生費	322,138	293,884	28,254
	車輛費	189,582	714,920	△525,338
	旅費交通費	148,140	156,920	△8,780
	役員旅費	38,000	69,360	△31,360
	職員旅費	110,140	87,560	22,580
	研修研究費	195,388	175,660	19,728
	水道光熱費	10,310,856	12,894,271	△2,583,415
	修繕費	1,287,360	1,391,969	△104,609
	通信運搬費	701,007	598,609	102,398
	手数料	137,058	151,696	△14,638
	賃借料	3,347,177	3,913,271	△566,094
	租税公課	1,119,200	713,000	406,200
	保守料	4,033,292	5,396,717	△1,363,425
	渉外費	3,000	14,000	△11,000
	諸会費	81,707	81,210	497
	雑費	251,601	0	251,601
	基金組入額	517,521	1,201,945	△684,424

事業活動計算書

(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

3 / 4

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	福祉基金組入額	517,521	1,201,945	△684,424
	減価償却費	621,124	681,893	△60,769
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△300,000	△273,000	△27,000
	サービス活動費用計(2)	124,288,481	127,032,069	△2,743,588
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	2,602,891	△6,876,079	9,478,970
< サービス活動外増減の部 >				
	< 収益 >			
	受取利息配当金収益	284,850	284,850	0
	その他のサービス活動外収益	1,387,041	1,379,570	7,471
	雑収益	1,387,041	1,379,570	7,471
	サービス活動外収益計(4)	1,671,891	1,664,420	7,471
	< 費用 >			
	その他のサービス活動外費用	1,412,060	1,277,188	134,872
	雑損失	1,412,060	1,277,188	134,872
	サービス活動外費用計(5)	1,412,060	1,277,188	134,872
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	259,831	387,232	△127,401
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	2,862,722	△6,488,847	9,351,569
< 特別増減の部 >				
	< 収益 >			
	事業区分間繰入金収益	230,000	371,000	△141,000
	拠点区分間繰入金収益	10,337,300	6,186,200	4,151,100
	サービス区分間繰入金収益	4,648,208	4,424,000	224,208
	その他の特別収益	0	52,000	△52,000
	その他の特別収益	0	52,000	△52,000
	特別収益計(8)	15,215,508	11,033,200	4,182,308
	< 費用 >			
	固定資産売却損・処分損	0	1	△1
	車輛運搬具売却損・処分損	0	1	△1
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	△116,000	116,000
	事業区分間繰入金費用	230,000	371,000	△141,000
	拠点区分間繰入金費用	10,337,300	6,186,200	4,151,100
	サービス区分間繰入金費用	4,648,208	4,424,000	224,208
	その他の特別損失	0	79,000	△79,000
	その他の特別損失	0	79,000	△79,000
	特別費用計(9)	15,215,508	10,944,201	4,271,307
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	88,999	△88,999
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	2,862,722	△6,399,848	9,262,570
< 繰越活動増減差額の部 >				
	前期繰越活動増減差額(12)	4,056,487	2,773,617	1,282,870
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	6,919,209	△3,626,231	10,545,440
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	基金取崩額(15)	7,762,000	1,250,000	6,512,000
	福祉基金取崩額	7,762,000	1,250,000	6,512,000
	その他の積立金取崩額(16)	0	11,563,718	△11,563,718
	退職共済積立金取崩額	0	32,718	△32,718
	通所介護事業積立金取崩額	0	11,531,000	△11,531,000
	その他の積立金積立額(17)	5,045,000	5,131,000	△86,000

事業活動計算書

(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

4 / 4
(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
退職共済積立金積立額	5,045,000	5,131,000	△86,000
次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	9,636,209	4,056,487	5,579,722

貸借対照表
平成29年03月31日現在

法 人： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事 業： 法人全体

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
<資産の部>				<負債の部>			
流動資産	11,926,128	14,358,402	△2,432,274	流動負債	7,831,491	11,808,515	△3,977,024
現金預金	4,272,319	9,436,282	△5,163,963	事業未払金	5,854,513	9,586,415	△3,731,902
現金	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	0	0	0
小口現金	45,000	45,000	0	預り金	1,072,756	2,142,133	△1,069,377
預貯金	4,227,319	9,391,282	△5,163,963	源泉所得税預り金	0	0	0
普通預金(一般)さが信開0062292	1,167,248	161,587	1,005,661	住民税預り金	0	0	0
普通預金(会費)さが信開0115870	0	0	0	社会保険料預り金	524,810	466,305	58,505
普通預金(会費)JAあし開2625288	0	0	0	福利協会預り金	0	0	0
普通預金(基金)さが信開0097217	622,301	224,521	397,780	共済会費預り金	0	0	0
普通預金(退職)さが信開0123094	0	0	0	一般会費(世帯)預り金	0	0	0
普通預金(小口)さが信開0122470	30,000	27,000	3,000	一般会費(団体)預り金	0	0	0
普通預金(会館)さが信開0114178	814,195	386,626	427,569	賛助会費預り金	0	0	0
普通預金(通所)さが信開0139530	4,013,051	334,907	3,678,144	福祉会館利用料(次年度)預り金	547,946	1,500,294	△952,348
普通預金(ﾌｰﾑ)さが信開0364035	0	0	0	その他の預り金	0	175,534	△175,534
普通預金(会館)さが信開0389528	615,016	1,591,314	△976,298	仮受金	0	0	0
普通預金(居宅)さが信開0389641	1,517,826	172,561	1,345,265	その他の流動負債	904,222	79,967	824,255
普通預金(包括)さが信開0428005	4,092,682	6,492,766	△2,400,084	固定負債	16,657,884	12,726,300	3,931,584
普通預金(基金)さが信開0349990	0	0	0	リース債務	3,115,584	0	3,115,584
普通預金(通所)さが信開0372400	0	0	0	退職給付引当金	13,542,300	12,726,300	816,000
普通預金(退職)さが信開0385710	△8,645,000	0	△8,645,000	負債の部合計	24,489,375	24,534,815	△45,440
未収金	5,926,775	626,817	5,299,958	<純資産の部>			
貯蔵品	730	770	△40	基本金	1,000,000	1,000,000	0
立替金	142,221	3,462,676	△3,320,455	基本金	1,000,000	1,000,000	0
前払金	240,135	0	240,135	第1号基本金	1,000,000	1,000,000	0
前払費用	0	758,520	△758,520	基金	71,116,466	78,360,945	△7,244,479
仮払金	590,600	0	590,600	福祉基金	71,116,466	78,360,945	△7,244,479
その他の流動資産	753,348	73,337	680,011	国庫補助金等特別積立金	1,127,000	1,427,000	△300,000
固定資産	162,574,858	157,107,781	5,467,077	その他の積立金	67,131,936	62,086,936	5,045,000
基本財産	1,000,000	1,000,000	0	退職共済積立金	67,131,936	62,086,936	5,045,000
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	通所介護事業積立金	0	0	0
定期預金(一般)さが信開0794311	1,000,000	1,000,000	0	次期繰越活動増減差額	9,636,209	4,056,487	5,579,722
その他の固定資産	161,574,858	156,107,781	5,467,077	(うち当期活動増減差額)	2,862,722	△6,399,848	9,262,570
車輛運搬具	2,236,669	2,846,669	△610,000	純資産の部合計	150,011,611	146,931,368	3,080,243
器具及び備品	7	11,131	△11,124				
有形リース資産	3,894,480	0	3,894,480				
権利	72,800	72,800	0				
ソフトウェア	3,580,200	0	3,580,200				
投資有価証券	120,000,000	120,000,000	0				
投資有価証券(横浜市債)	30,000,000	30,000,000	0				
投資有価証券(川崎市債)	40,000,000	40,000,000	0				

貸借対照表

平成29年03月31日現在

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会

事業：法人全体

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
投資有価証券(ハマ債5)退職 積立	50,000,000	50,000,000	0				
長期貸付金	0	3,000	△3,000				
退職給付引当資産	13,542,300	12,726,300	816,000				
福祉基金積立資産	1,116,466	8,360,945	△7,244,479				
福祉基金積立資産 No.034 9990	823,466	8,360,945	△7,537,479				
福祉基金積立資産 No.009 7217	293,000	0	293,000				
退職共済積立資産	17,131,936	12,086,936	5,045,000				
普通預金(退職)さが信開03 85710	17,131,936	12,086,936	5,045,000				
通所介護事業積立資産	0	0	0				
普通預金(通所)さが信開03 72400	0	0	0				
資産の部合計	174,500,986	171,466,183	3,034,803	負債及び純資産の部合計	174,500,986	171,466,183	3,034,803

法人名： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業： 法人全体

資金収支内訳表
(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日

勘 定 科 目	社会福祉事業	公益事業	合 計	内部取引消去	法人合計			
< 事業活動による収支 >								
< 収入 >								
会費収入	3,287,000	0	3,287,000	0	3,287,000			
一般会費収入	2,561,000	0	2,561,000	0	2,561,000			
一般世帯会費収入	2,284,000	0	2,284,000	0	2,284,000			
各種団体会費収入	277,000	0	277,000	0	277,000			
賛助会費収入	726,000	0	726,000	0	726,000			
寄附金収入	799,909	0	799,909	0	799,909			
寄附金収入	799,909	0	799,909	0	799,909			
補助金収入	34,912,000	0	34,912,000	0	34,912,000			
町補助金収入	34,912,000	0	34,912,000	0	34,912,000			
法人運営費補助金収入	1,631,000	0	1,631,000	0	1,631,000			
職員人件費等補助金収入	31,481,000	0	31,481,000	0	31,481,000			
地域福祉推進事業補助金収入	1,800,000	0	1,800,000	0	1,800,000			
受託金収入	23,311,540	19,190,360	42,501,900	0	42,501,900			
町受託金収入	20,725,500	19,190,360	39,915,860	0	39,915,860			
福祉会館指定管理受託金収入(一般分)	0	17,903,000	17,903,000	0	17,903,000			
福祉会館指定管理受託金収入(修繕分)	0	1,287,360	1,287,360	0	1,287,360			
介護予防支援事業受託金収入	475,105	0	475,105	0	475,105			
地域包括支援センター事業受託金収入	11,037,271	0	11,037,271	0	11,037,271			
介護予防把握事業受託金収入	2,200,000	0	2,200,000	0	2,200,000			
コミュニティバス運行事業受託金収入	5,289,998	0	5,289,998	0	5,289,998			
生活支援介護予防サービス・体制整備事業受託金収入	588,231	0	588,231	0	588,231			
生活支援体制整備業務受託金収入	1,134,895	0	1,134,895	0	1,134,895			
県社協受託金収入	2,586,040	0	2,586,040	0	2,586,040			
生活福祉資金貸付事業受託金収入	334,200	0	334,200	0	334,200			
日常生活自立支援事業受託金収入	2,251,840	0	2,251,840	0	2,251,840			
事業収入	1,166,260	8,327,142	9,493,402	0	9,493,402			
参加費収入	83,500	0	83,500	0	83,500			
利用料収入	1,052,760	8,180,619	9,233,379	0	9,233,379			
利用料収入	978,190	2,607,544	3,585,734	0	3,585,734			
福祉会館利用料減免分補填収入	0	5,573,075	5,573,075	0	5,573,075			

法人名： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業： 法人全体

資金収支内訳表
(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日

勘 定 科 目		社会福祉事業	公益事業	合 計	内部取引消去	法人合計			
	生活支援介護予防サービス利用者等利用料収入	74,570	0	74,570	0	74,570			
	広告料収入	27,000	0	27,000	0	27,000			
	手数料収入	0	146,523	146,523	0	146,523			
	償還金収入	3,000	0	3,000	0	3,000			
	貸付事業等償還金収入	3,000	0	3,000	0	3,000			
	共同募金配分金収入	1,620,306	0	1,620,306	0	1,620,306			
	一般募金配分金収入	1,510,000	0	1,510,000	0	1,510,000			
	年末たすけあい配分金収入	110,306	0	110,306	0	110,306			
	介護保険事業収入	34,279,855	0	34,279,855	0	34,279,855			
	居宅介護料収入	19,252,608	0	19,252,608	0	19,252,608			
	介護報酬収入	17,067,469	0	17,067,469	0	17,067,469			
	介護予防報酬収入	382,527	0	382,527	0	382,527			
	利用者介護負担金収入(公費)	1,743,706	0	1,743,706	0	1,743,706			
	利用者介護予防負担金収入(公費)	58,906	0	58,906	0	58,906			
	居宅介護支援介護料収入	13,293,305	0	13,293,305	0	13,293,305			
	居宅介護支援介護料収入	9,862,710	0	9,862,710	0	9,862,710			
	介護予防居宅介護支援介護料収入	2,899,395	0	2,899,395	0	2,899,395			
	介護予防ケアマネジメント費収入	531,200	0	531,200	0	531,200			
	利用者等利用料収入	1,641,362	0	1,641,362	0	1,641,362			
	利用者等利用料収入	1,641,362	0	1,641,362	0	1,641,362			
	その他の事業収入	92,580	0	92,580	0	92,580			
	その他の事業収入	92,580	0	92,580	0	92,580			
	受取利息配当金収入	284,850	0	284,850	0	284,850			
	その他の収入	679,760	707,281	1,387,041	0	1,387,041			
	雑収入	679,760	707,281	1,387,041	0	1,387,041			
	雑収入	679,760	707,281	1,387,041	0	1,387,041			
事業活動収入計(1)		100,341,480	28,224,783	128,566,263	0	128,566,263			
< 支出 >									
	人件費支出	78,287,137	2,419,735	80,706,872	0	80,706,872			
	役員報酬支出	1,560,000	0	1,560,000	0	1,560,000			
	職員本俸支出	27,944,880	1,344,720	29,289,600	0	29,289,600			
	職員諸手当支出	15,498,110	718,214	16,216,324	0	16,216,324			

法人名： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業： 法人全体

資金収支内訳表
(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日

勘 定 科 目		社会福祉事業	公益事業	合 計	内部取引消去	法人合計			
	非常勤職員給与支出	24,341,530	0	24,341,530	0	24,341,530			
	退職共済掛金支出	776,400	39,600	816,000	0	816,000			
	法定福利費支出	8,166,217	317,201	8,483,418	0	8,483,418			
	事業費支出	12,399,755	8,215,703	20,615,458	0	20,615,458			
	給食費支出	1,206,810	0	1,206,810	0	1,206,810			
	燃料費支出	874,341	0	874,341	0	874,341			
	消耗器具備品費支出	1,274,886	186,031	1,460,917	0	1,460,917			
	印刷製本費支出	173,190	0	173,190	0	173,190			
	保険料支出	308,548	83,220	391,768	0	391,768			
	諸謝金支出	676,980	0	676,980	0	676,980			
	会議費支出	99,233	0	99,233	0	99,233			
	広報費支出	1,231,200	0	1,231,200	0	1,231,200			
	業務委託費支出	4,630,137	7,946,452	12,576,589	0	12,576,589			
	助成金支出	1,814,124	0	1,814,124	0	1,814,124			
	年末たすけあい配分金事業費支出	110,306	0	110,306	0	110,306			
	事務費支出	7,333,222	14,794,284	22,127,506	0	22,127,506			
	福利厚生費支出	319,727	2,411	322,138	0	322,138			
	車輛費支出	189,582	0	189,582	0	189,582			
	旅費交通費支出	148,140	0	148,140	0	148,140			
	役員旅費支出	38,000	0	38,000	0	38,000			
	職員旅費支出	110,140	0	110,140	0	110,140			
	研修研究費支出	195,388	0	195,388	0	195,388			
	水道光熱費支出	2,324,960	7,985,896	10,310,856	0	10,310,856			
	修繕費支出	0	1,287,360	1,287,360	0	1,287,360			
	通信運搬費支出	638,145	62,862	701,007	0	701,007			
	手数料支出	137,058	0	137,058	0	137,058			
	賃借料支出	2,752,918	594,259	3,347,177	0	3,347,177			
	租税公課支出	114,200	1,005,000	1,119,200	0	1,119,200			
	保守料支出	176,796	3,856,496	4,033,292	0	4,033,292			
	渉外費支出	3,000	0	3,000	0	3,000			
	諸会費支出	81,707	0	81,707	0	81,707			
	雑支出	251,601	0	251,601	0	251,601			

法人名： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業： 法人全体

資金収支内訳表
(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日

勘 定 科 目		社会福祉事業	公益事業	合 計	内部取引消去	法人合計			
	その他の支出	985,960	426,100	1,412,060	0	1,412,060			
	雑支出	985,960	426,100	1,412,060	0	1,412,060			
	雑支出	985,960	426,100	1,412,060	0	1,412,060			
	事業活動支出計(2)	99,006,074	25,855,822	124,861,896	0	124,861,896			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		1,335,406	2,368,961	3,704,367	0	3,704,367			
< 施設整備等による収支 >									
< 収入 >									
施設整備等収入計(4)		0	0	0	0	0			
< 支出 >									
	固定資産取得支出	3,580,200	0	3,580,200	0	3,580,200			
	ソフトウェア取得支出	3,580,200	0	3,580,200	0	3,580,200			
	ファイナンス・リース債務の返済支出	778,896	0	778,896	0	778,896			
	施設整備等支出計(5)	4,359,096	0	4,359,096	0	4,359,096			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△4,359,096	0	△4,359,096	0	△4,359,096			
< その他の活動による収支 >									
< 収入 >									
	基金積立資産取崩収入	7,762,000	0	7,762,000	0	7,762,000			
	福祉基金積立資産取崩収入	7,762,000	0	7,762,000	0	7,762,000			
	普通預金(基金)さが信開0349990	7,762,000	0	7,762,000	0	7,762,000			
	事業区分間繰入金収入	230,000	0	230,000	0	230,000			
	拠点区分間繰入金収入	10,337,300	0	10,337,300	0	10,337,300			
	サービス区分間繰入金収入	4,648,208	0	4,648,208	0	4,648,208			
その他の活動収入計(7)		22,977,508	0	22,977,508	0	22,977,508			
< 支出 >									
	基金積立資産支出	517,521	0	517,521	0	517,521			
	福祉基金積立資産支出	517,521	0	517,521	0	517,521			
	福祉基金積立資産支出0349990	224,521	0	224,521	0	224,521			
	福祉基金積立資産支出0097217	293,000	0	293,000	0	293,000			
	積立資産支出	5,045,000	0	5,045,000	0	5,045,000			
	退職共済積立資産支出	5,045,000	0	5,045,000	0	5,045,000			
	普通預金(退職)さが信開0385710	5,045,000	0	5,045,000	0	5,045,000			
	事業区分間繰入金支出	0	230,000	230,000	0	230,000			

法人名： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業： 法人全体

資金収支内訳表
(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日

勘 定 科 目		社会福祉事業	公益事業	合 計	内部取引消去	法人合計			
	拠点区分間繰入金支出	10,337,300	0	10,337,300	0	10,337,300			
	サービス区分間繰入金支出	4,648,208	0	4,648,208	0	4,648,208			
	その他の活動支出計(8)	20,548,029	230,000	20,778,029	0	20,778,029			
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		2,429,479	△230,000	2,199,479	0	2,199,479			
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		△594,211	2,138,961	1,544,750	0	1,544,750			
前期末支払資金残高(11)		4,725,229	△2,175,342	2,549,887	0	2,549,887			
当期末支払資金残高(10)+(11)		4,131,018	△36,381	4,094,637	0	4,094,637			

法人名： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業： 法人全体

事業活動内訳表
(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日

勘 定 科 目	社会福祉事業	公益事業	合 計	内部取引消去	法人合計			
< サービス活動増減の部 >								
< 収益 >								
会費収益	3,287,000	0	3,287,000	0	3,287,000			
一般会費収益	2,561,000	0	2,561,000	0	2,561,000			
一般世帯会費収益	2,284,000	0	2,284,000	0	2,284,000			
各種団体会費収益	277,000	0	277,000	0	277,000			
賛助会費収益	726,000	0	726,000	0	726,000			
寄附金収益	799,909	0	799,909	0	799,909			
寄附金収益	799,909	0	799,909	0	799,909			
経常経費補助金収益	34,912,000	0	34,912,000	0	34,912,000			
市区町村補助金収益	34,912,000	0	34,912,000	0	34,912,000			
法人運営費補助金収益	1,631,000	0	1,631,000	0	1,631,000			
職員人件費等補助金収益	31,481,000	0	31,481,000	0	31,481,000			
地域福祉推進事業補助金収益	1,800,000	0	1,800,000	0	1,800,000			
受託金収益	23,311,540	19,190,360	42,501,900	0	42,501,900			
町受託金収益	20,725,500	19,190,360	39,915,860	0	39,915,860			
福祉会館指定管理受託金収益(一般分)	0	17,903,000	17,903,000	0	17,903,000			
福祉会館指定管理受託金収益(修繕分)	0	1,287,360	1,287,360	0	1,287,360			
介護予防支援事業受託金収益	475,105	0	475,105	0	475,105			
地域包括支援センター事業受託金収益	11,037,271	0	11,037,271	0	11,037,271			
介護予防把握事業受託金収益	2,200,000	0	2,200,000	0	2,200,000			
コミュニティバス運行事業受託金収益	5,289,998	0	5,289,998	0	5,289,998			
生活支援介護予防サービス・体制整備事業受託金収益	588,231	0	588,231	0	588,231			
生活支援体制整備業務受託金収益	1,134,895	0	1,134,895	0	1,134,895			
県社協受託金収益	2,586,040	0	2,586,040	0	2,586,040			
生活福祉資金貸付事業受託金収益	334,200	0	334,200	0	334,200			
日常生活自立支援事業受託金収益	2,251,840	0	2,251,840	0	2,251,840			
事業収益	1,163,260	8,327,142	9,490,402	0	9,490,402			
参加費収益	83,500	0	83,500	0	83,500			
利用料収益	1,052,760	8,180,619	9,233,379	0	9,233,379			
利用料収益	978,190	2,607,544	3,585,734	0	3,585,734			
福祉会館利用料減免分補填収益	0	5,573,075	5,573,075	0	5,573,075			

法人名： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業： 法人全体

事業活動内訳表
(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日

勘 定 科 目		社会福祉事業	公益事業	合 計	内部取引消去	法人合計			
	生活支援介護予防サービス利用者等利用料収益	74,570	0	74,570	0	74,570			
	広告料収益	27,000	0	27,000	0	27,000			
	手数料収益	0	146,523	146,523	0	146,523			
	共同募金配分金収益	1,620,306	0	1,620,306	0	1,620,306			
	一般募金配分金収益	1,510,000	0	1,510,000	0	1,510,000			
	年末たすけあい配分金収益	110,306	0	110,306	0	110,306			
	介護保険事業収益	34,279,855	0	34,279,855	0	34,279,855			
	居宅介護料収益	19,252,608	0	19,252,608	0	19,252,608			
	介護報酬収益	17,067,469	0	17,067,469	0	17,067,469			
	介護予防報酬収益	382,527	0	382,527	0	382,527			
	利用者介護負担金収益(公費)	1,743,706	0	1,743,706	0	1,743,706			
	利用者介護予防負担金収益(公費)	58,906	0	58,906	0	58,906			
	居宅介護支援介護料収益	13,293,305	0	13,293,305	0	13,293,305			
	居宅介護支援介護料収益	9,862,710	0	9,862,710	0	9,862,710			
	介護予防支援介護料収益	2,899,395	0	2,899,395	0	2,899,395			
	介護予防ケアマネジメント費収益	531,200	0	531,200	0	531,200			
	利用者等利用料収益	1,641,362	0	1,641,362	0	1,641,362			
	利用者等利用料収益	1,641,362	0	1,641,362	0	1,641,362			
	その他の事業収益	92,580	0	92,580	0	92,580			
	その他の事業収益	92,580	0	92,580	0	92,580			
サービス活動収益計(1)		99,373,870	27,517,502	126,891,372	0	126,891,372			
< 費用 >									
	人件費	78,287,137	2,419,735	80,706,872	0	80,706,872			
	役員報酬	1,560,000	0	1,560,000	0	1,560,000			
	職員本俸	27,944,880	1,344,720	29,289,600	0	29,289,600			
	職員諸手当	15,498,110	718,214	16,216,324	0	16,216,324			
	非常勤職員給与	24,341,530	0	24,341,530	0	24,341,530			
	退職給付費用	776,400	39,600	816,000	0	816,000			
	法定福利費	8,166,217	317,201	8,483,418	0	8,483,418			
	事業費	12,399,755	8,215,703	20,615,458	0	20,615,458			
	給食費	1,206,810	0	1,206,810	0	1,206,810			
	燃料費	874,341	0	874,341	0	874,341			

法人名： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業： 法人全体

事業活動内訳表
(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日

勘 定 科 目		社会福祉事業	公益事業	合 計	内部取引消去	法人合計			
	消耗器具備品費	1,274,886	186,031	1,460,917	0	1,460,917			
	印刷製本費	173,190	0	173,190	0	173,190			
	保険料	308,548	83,220	391,768	0	391,768			
	諸謝金	676,980	0	676,980	0	676,980			
	会議費	99,233	0	99,233	0	99,233			
	広報費	1,231,200	0	1,231,200	0	1,231,200			
	業務委託費	4,630,137	7,946,452	12,576,589	0	12,576,589			
	助成金	1,814,124	0	1,814,124	0	1,814,124			
	年末たすけあい配分金事業費	110,306	0	110,306	0	110,306			
	事務費	7,333,222	14,794,284	22,127,506	0	22,127,506			
	福利厚生費	319,727	2,411	322,138	0	322,138			
	車輛費	189,582	0	189,582	0	189,582			
	旅費交通費	148,140	0	148,140	0	148,140			
	役員旅費	38,000	0	38,000	0	38,000			
	職員旅費	110,140	0	110,140	0	110,140			
	研修研究費	195,388	0	195,388	0	195,388			
	水道光熱費	2,324,960	7,985,896	10,310,856	0	10,310,856			
	修繕費	0	1,287,360	1,287,360	0	1,287,360			
	通信運搬費	638,145	62,862	701,007	0	701,007			
	手数料	137,058	0	137,058	0	137,058			
	賃借料	2,752,918	594,259	3,347,177	0	3,347,177			
	租税公課	114,200	1,005,000	1,119,200	0	1,119,200			
	保守料	176,796	3,856,496	4,033,292	0	4,033,292			
	渉外費	3,000	0	3,000	0	3,000			
	諸会費	81,707	0	81,707	0	81,707			
	雑費	251,601	0	251,601	0	251,601			
	基金組入額	517,521	0	517,521	0	517,521			
	福祉基金組入額	517,521	0	517,521	0	517,521			
	減価償却費	621,124	0	621,124	0	621,124			
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△300,000	0	△300,000	0	△300,000			
サービス活動費用計(2)		98,858,759	25,429,722	124,288,481	0	124,288,481			
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		515,111	2,087,780	2,602,891	0	2,602,891			

法人名： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業： 法人全体

事業活動内訳表
(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日

勘 定 科 目	社会福祉事業	公益事業	合 計	内部取引消去	法人合計			
< サービス活動外増減の部 >								
< 収益 >								
受取利息配当金収益	284,850	0	284,850	0	284,850			
その他のサービス活動外収益	679,760	707,281	1,387,041	0	1,387,041			
雑収益	679,760	707,281	1,387,041	0	1,387,041			
サービス活動外収益計(4)	964,610	707,281	1,671,891	0	1,671,891			
< 費用 >								
その他のサービス活動外費用	985,960	426,100	1,412,060	0	1,412,060			
雑損失	985,960	426,100	1,412,060	0	1,412,060			
サービス活動外費用計(5)	985,960	426,100	1,412,060	0	1,412,060			
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△21,350	281,181	259,831	0	259,831			
経常増減差額(7)=(3)+(6)	493,761	2,368,961	2,862,722	0	2,862,722			
< 特別増減の部 >								
< 収益 >								
事業区分間繰入金収益	230,000	0	230,000	0	230,000			
拠点区分間繰入金収益	10,337,300	0	10,337,300	0	10,337,300			
サービス区分間繰入金収益	4,648,208	0	4,648,208	0	4,648,208			
特別収益計(8)	15,215,508	0	15,215,508	0	15,215,508			
< 費用 >								
事業区分間繰入金費用	0	230,000	230,000	0	230,000			
拠点区分間繰入金費用	10,337,300	0	10,337,300	0	10,337,300			
サービス区分間繰入金費用	4,648,208	0	4,648,208	0	4,648,208			
特別費用計(9)	14,985,508	230,000	15,215,508	0	15,215,508			
特別増減差額(10)=(8)-(9)	230,000	△230,000	0	0	0			
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	723,761	2,138,961	2,862,722	0	2,862,722			
< 繰越活動増減差額の部 >								
前期繰越活動増減差額(12)	6,231,829	△2,175,342	4,056,487	0	4,056,487			
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	6,955,590	△36,381	6,919,209	0	6,919,209			
基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0			
基金取崩額(15)	7,762,000	0	7,762,000	0	7,762,000			
福祉基金取崩額	7,762,000	0	7,762,000	0	7,762,000			
その他の積立金取崩額(16)	0	0	0	0	0			

法人名： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業： 法人全体

事業活動内訳表
(自)平成28年04月01日
(至)平成29年03月31日

勘 定 科 目	社会福祉事業	公益事業	合 計	内部取引消去	法人合計			
その他の積立金積立額(17)	5,045,000	0	5,045,000	0	5,045,000			
退職共済積立金積立額	5,045,000	0	5,045,000	0	5,045,000			
次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	9,672,590	△36,381	9,636,209	0	9,636,209			

法人名： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業： 法人全体

貸借対照表内訳表
平成29年03月31日現在

勘 定 科 目	社会福祉事業	公益事業	合 計	内部取引消去	法人合計			
流動資産	9,610,516	2,315,612	11,926,128	0	11,926,128			
現金預金	2,979,397	1,292,922	4,272,319	0	4,272,319			
小口現金	45,000	0	45,000	0	45,000			
預貯金	2,934,397	1,292,922	4,227,319	0	4,227,319			
未収金	5,926,775	0	5,926,775	0	5,926,775			
貯蔵品	730	0	730	0	730			
立替金	2,700	139,521	142,221	0	142,221			
前払金	240,135	0	240,135	0	240,135			
仮払金	31,000	559,600	590,600	0	590,600			
その他の流動資産	429,779	323,569	753,348	0	753,348			
固定資産	162,574,858	0	162,574,858	0	162,574,858			
基本財産	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000			
定期預金	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000			
定期預金(一般)さが信開0794311	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000			
その他の固定資産	161,574,858	0	161,574,858	0	161,574,858			
車輛運搬具	2,236,669	0	2,236,669	0	2,236,669			
器具及び備品	7	0	7	0	7			
有形リース資産	3,894,480	0	3,894,480	0	3,894,480			
権利	72,800	0	72,800	0	72,800			
ソフトウェア	3,580,200	0	3,580,200	0	3,580,200			
投資有価証券	120,000,000	0	120,000,000	0	120,000,000			
投資有価証券(横浜市債)	30,000,000	0	30,000,000	0	30,000,000			
投資有価証券(川崎市債)	40,000,000	0	40,000,000	0	40,000,000			
投資有価証券(ハマ債5)退職積立	50,000,000	0	50,000,000	0	50,000,000			
退職給付引当資産	13,542,300	0	13,542,300	0	13,542,300			
福祉基金積立資産	1,116,466	0	1,116,466	0	1,116,466			
福祉基金積立資産 No.0349990	823,466	0	823,466	0	823,466			
福祉基金積立資産 No.0097217	293,000	0	293,000	0	293,000			
退職共済積立資産	17,131,936	0	17,131,936	0	17,131,936			
普通預金(退職)さが信開0385710	17,131,936	0	17,131,936	0	17,131,936			
資産の部合計	172,185,374	2,315,612	174,500,986	0	174,500,986			
流動負債	5,479,498	2,351,993	7,831,491	0	7,831,491			

法人名： 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業： 法人全体

貸借対照表内訳表
平成29年03月31日現在

(単位：円)

勘 定 科 目	社会福祉事業	公益事業	合 計	内部取引消去	法人合計			
事業未払金	4,582,655	1,271,858	5,854,513	0	5,854,513			
預り金	524,810	547,946	1,072,756	0	1,072,756			
社会保険料預り金	524,810	0	524,810	0	524,810			
福祉会館利用料（次年度）預り金	0	547,946	547,946	0	547,946			
その他の流動負債	372,033	532,189	904,222	0	904,222			
固定負債	16,657,884	0	16,657,884	0	16,657,884			
リース債務	3,115,584	0	3,115,584	0	3,115,584			
退職給付引当金	13,542,300	0	13,542,300	0	13,542,300			
負債の部合計	22,137,382	2,351,993	24,489,375	0	24,489,375			
基本金	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000			
基本金	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000			
第1号基本金	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000			
基金	71,116,466	0	71,116,466	0	71,116,466			
福祉基金	71,116,466	0	71,116,466	0	71,116,466			
国庫補助金等特別積立金	1,127,000	0	1,127,000	0	1,127,000			
その他の積立金	67,131,936	0	67,131,936	0	67,131,936			
退職共済積立金	67,131,936	0	67,131,936	0	67,131,936			
次期繰越活動増減差額	9,672,590	△36,381	9,636,209	0	9,636,209			
(うち当期活動増減差額)	723,761	2,138,961	2,862,722	0	2,862,722			
純資産の部合計	150,047,992	△36,381	150,011,611	0	150,011,611			
負債及び純資産の部合計	172,185,374	2,315,612	174,500,986	0	174,500,986			

1 / 2
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	4,272,319
現金		—		—	—	0
小口現金	事務所 金庫内	—		—	—	45,000
預貯金	取引金融機関	—		—	—	4,227,319
未収金	利用者・国保連・他	—	利用料・介護報酬・他	—	—	5,926,775
貯蔵品	事務所 金庫内	—	郵券	—	—	730
立替金	内部取引	—	ソフトリース料3月分	—	—	142,221
前払金	内部取引	—	H29保険・保障制度加入掛金	—	—	240,135
前払費用		—		—	—	0
仮払金	内部取引	—	H28消費税・地方消費税（中間納付分）	—	—	590,600
その他の流動資産	内部取引	—		—	—	753,348
流動資産合計						11,926,128
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金		—		—	—	1,000,000
定期預金(一般)さが信開0794311	取引金融機関	—		—	—	1,000,000
基本財産合計						1,000,000
(2) その他の固定資産						
車輛運搬具	中型バス／ニッサンシビリアン 他	—	乗用・送迎用・運搬用	10,017,800	7,781,131	2,236,669
器具及び備品	冷凍冷蔵庫(SRR-G1261C2A) 他	—	食材・保存用	2,206,538	2,206,531	7
有形リース資産	事務所内	—	PC機器	—	—	3,894,480
権利	電話加入権（82-5222） 他	—		—	—	72,800
ソフトウェア	事務所内	—	PCソフトウェア	—	—	3,580,200
投資有価証券		—		—	—	120,000,000
投資有価証券(横浜市債)	取引金融機関 H24第2回	—	福祉基金 利息運用	—	—	30,000,000
投資有価証券(川崎市債)	取引金融機関 H25第38回	—	福祉基金 利息運用	—	—	40,000,000
投資有価証券(ハマ債5)退職積立	取引金融機関 H25第4回	—	退職金支給	—	—	50,000,000
長期貸付金		—		—	—	0
退職給付引当資産	神奈川県福利協会	—	退職金支給	—	—	13,542,300
福祉基金積立資産		—		—	—	1,116,466
福祉基金積立資産 No.0349990	取引金融機関	—	福祉基金	—	—	823,466
No.0097217	取引金融機関	—	福祉基金	—	—	293,000
退職共済積立資産		—		—	—	17,131,936
普通預金(退職)さが信開0385710	取引金融機関	—	退職金支給	—	—	17,131,936
その他の固定資産合計						161,574,858
固定資産合計						162,574,858
資産合計						174,500,986
II 負債の部						
1 流動負債						

法人：社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
事業：法人全体

2 / 2
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
事業未払金	職員3月分人件費・取引業者等	—		—	—	5,854,513
1年以内返済予定リース債務		—		—	—	0
預り金		—		—	—	1,072,756
源泉所得税預り金		—		—	—	0
住民税預り金		—		—	—	0
社会保険料預り金	本人負担3月分	—		—	—	524,810
福利協会預り金		—		—	—	0
共済会費預り金		—		—	—	0
一般会費(世帯)預り金		—		—	—	0
一般会費(団体)預り金		—		—	—	0
賛助会費預り金		—		—	—	0
福祉会館利用料(次年度)預り金	内部取引	—		—	—	547,946
その他の預り金		—		—	—	0
仮受金		—		—	—	0
その他の流動負債	内部取引	—		—	—	904,222
流動負債合計						7,831,491
2 固定負債						
リース債務	リース債務残高	—		—	—	3,115,584
退職給付引当金	神奈川県福利協会	—		—	—	13,542,300
固定負債合計						16,657,884
負債合計						24,489,375
差引純資産						150,011,611

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

財産目録明細表

社会福祉法人開成町社会福祉協議会
平成29年 3月31日 現在

P-1

別表－1		勘定科目(小)	未 収 金	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉サービス部門			5,926,775	
在宅福祉サービス（介護保険外）			559,680	
	福祉機器貸与事業	利用者（11人）	8,180	2・3月分利用料金
	ふくし移送サービス	利用者（13人）	31,750	3月分利用料金
	軽度生活援助事業	利用者（6人）	19,750	同上
	コミュニティバス運行事業	開成町（福祉課）	500,000	受託金第5期（H29.4）分
介護保険事業			4,904,570	
	居宅介護支援事業	国保連	770,460	報酬／3月審査分
		国保連	764,760	報酬／4月審査分
	通所介護事業	利用者（20人） ＊ハマギンファイナンス	261,851	利用料負担金2月利用分
		利用者（21人） ＊ハマギンファイナンス	351,276	利用料負担金3月利用分
		利用者（2人）	10,971	利用料負担金3月利用分
		国保連	1,245,065	報酬／3月審査分
		国保連	1,500,187	報酬／4月審査分
		地域包括支援センター事業		462,525
地域包括支援センター	国保連	213,190	報酬／3月審査分	
	国保連	249,335	報酬／4月審査分	
計			5,926,775	

別表－2		勘定科目(小)	貯 蔵 品	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉・企画部門			20	
事業推進体制整備(会務等)			20	
事務局運営事業		次年度繰越	20	郵券(切手)
福祉サービス部門			710	
介護保険事業			710	
通所介護事業		次年度繰越	710	郵券(切手)
計			730	

別表－3		勘定科目(小)	立 替 金	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉サービス部門			2,700	
介護保険事業			2,700	
居宅介護支援事業		地域包括支援センター	2,700	ケアマネくん利用料3月分（50%）

財産目録明細表

社会福祉法人開成町社会福祉協議会
平成29年 3月31日 現在

P-2

サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
公益事業区分				
福祉会館管理運営			139,521	
福祉会館管理運営			139,521	
福祉会館管理運営		通所介護事業	66,399	上下水道料金1-2月分50%[通所]
		KOMNYれんげ	73,122	電気料金4月～2月分（1%）
		計	142,221	

別表－4		勘定科目(小)	前 払 金	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉・企画部門			2,600	
事業推進体制整備(会務等)			2,600	
事務局運営事業		H29事務局運営事業	2,600	H29社協の保険／役員2人
福祉サービス部門			237,535	
安心センター事業			9,280	
日常生活自立支援事業		H29日常生活自立支援事業	9,280	H29社協の保険／日常生活自立支援事業限定タイプ
在宅福祉サービス（介護保険外）			104,065	
ふくし移送サービス		H29ふくし移送サービス	38,000	H29送迎サービス補償
軽度生活援助事業		H29軽度生活援助事業	11,281	H29福祉サービス総合補償
ふれあい金曜会		H29ふれあい金曜会	14,784	H29ボランティア行事用保険
コミュニティバス運行事業		H29コミュニティバス運行事業	40,000	H29送迎サービス補償
介護保険事業			103,310	
居宅介護支援事業		H29居宅介護支援事業	2,720	H29介護事業者等総合保険制度
通所介護事業		H29通所介護事業	100,590	H29介護事業者等総合保険制度
地域包括支援センター事業			20,880	
地域包括支援センター		H29地域包括支援センター	20,880	H29福祉サービス総合補償
計			240,135	

別表－5		勘定科目(小)	仮 払 金	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉サービス部門			31,000	
在宅福祉サービス（介護保険外）			31,000	
コミュニティバス運行事業		H29コミュニティバス運行事業	31,000	車両保険 免責分
公益事業区分				
福祉会館管理運営			559,600	
福祉会館管理運営			559,600	
福祉会館管理運営		社協（本体）・通所・福祉会館	559,600	H28消費税・地方消費税
計			590,600	

財産目録明細表

社会福祉法人開成町社会福祉協議会
平成29年 3月31日 現在

P-3

別表ー6		勘定科目(小)	その他の流動資産	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉・企画部門			311,384	
事業推進体制整備(会務等)			311,384	
	事務局運営事業	福祉基金積立	179,000	繰入金収入／受取利息配当金
		居宅介護支援事業	44,128	ゼロックス使用料金1ヶ月分
		通所介護事業	44,128	同上
		地域包括支援センター	44,128	同上
福祉サービス部門			118,395	
在宅福祉サービス（介護保険外）			4,278	
	コミュニティバス運行事業	事務局運営事業	4,278	雇用保険戻入H28.4-H29.3月分0.2人
介護保険事業の推進			86,581	
	居宅介護支援事業	事務局運営事業	9,234	同上 0.6人
	通所介護事業	事務局運営事業	11,827	同上 0.6人
		ヒタチキャピタル	65,520	PCソフトリース料@10,920×6ヶ月分
地域包括支援センター事業			27,536	
	地域包括支援センター	事務局運営事業	27,536	雇用保険戻入H28.4-H29.3月分1.6人
公益事業区分				
福祉会館管理運営			323,569	
福祉会館管理運営			323,569	
	福祉会館管理運営	事務局運営事業	6,417	雇用保険戻入H28.4-H29.3月分0.3人
		通所介護事業	90,148	上下水道料金H27.03-04月分50%[通所]
		通所介護事業	80,362	上下水道料金H27.05-06月分50%[通所]
		通所介護事業	74,276	上下水道料金H27.11-12月分50%[通所]
		通所介護事業	72,366	上下水道料金H28.01-02月分50%[通所]
計			753,348	

別表ー7		勘定科目(小)	車両運搬具	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉・企画部門			2,236,669	
事業推進体制整備(会務等)			2,236,669	
事務局運営事業		軽自動車貨物（1台）	1	軽トラック（H17.08購入取得）
		普通ワゴン車（1台）	1	レジアス（H19.08購入取得）
		中型バス車(1台)	2,236,667	シビリアン（H22.12購入取得）
計			2,236,669	

財産目録明細表

社会福祉法人開成町社会福祉協議会
平成29年 3月31日 現在

P-4

別表－8		勘定科目(小)	器具及び備品	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉・企画部門			6	
事業推進体制整備(会務等)			6	
事務局運営事業		テント（１）	1	
		ビデオプロジェクター（１）	1	
		社協財務会計システム（１）	1	
		カラープリンター（１）	1	
		紙折機（１）	1	
		液晶テレビ（１）	1	
福祉サービス部門			1	
介護保険事業			1	
通所介護事業		冷凍冷蔵庫（１）	1	
		計	7	

別表－9		勘定科目(小)	有形リース資産	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉・企画部門			3,894,480	
事業推進体制整備(会務等)			3,894,480	
事務局運営事業		リコーリース(株)	3,894,480	PCリース（5年）@64,908×60月
計			3,894,480	

別表－10		勘定科目(小)	権 利	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉・企画部門			72,800	
事業推進体制整備(会務等)			72,800	
事務局運営事業		電話加入権	72,800	ファックス(82-5928)
		計	72,800	

別表－11		勘定科目(小)	ソフトウェア	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉サービス部門			3,580,200	
地域包括支援センター事業			3,580,200	
地域包括支援センター			3,580,200	ワイズマンPCシステム
		計	3,580,200	

財産目録明細表

社会福祉法人開成町社会福祉協議会
平成29年 3月31日 現在

P-5

別表－12		勘定科目(小)	投資有価証券	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉・企画部門			120,000,000	
事業推進体制整備(会務等)			120,000,000	
退職金積立事業		横浜市	50,000,000	投資有価証券（ハマ債5）
福祉基金積立事業		横浜市	30,000,000	投資有価証券（横浜市債）
		川崎市	40,000,000	投資有価証券(川崎市債)
計			120,000,000	

別表－13		勘定科目(小)	事業未払金	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉・企画部門			531,238	
広報啓発事業			11,760	
広報紙発行		日本郵便(株)	11,760	郵便後納3月分
事業推進体制整備(会務等)			519,478	
事務局運営事業		日本郵便(株)	2,798	郵便後納3月分
		(株)ジャックス	9,214	燃料代3月給油分
		NTTファイナンス(株)	1,656	FAX料金(82-5928)3月分
		富士ゼロックス神奈川(株)	37,600	ゼロックス使用料金3月分
		非常勤1人	82,538	給与3月勤務分
		常勤3.7人	44,332	時間外手当3月分
		シルバー人材センター	8,477	事業系廃棄物処理1-3月分
		小田原年金事務所	243,365	社保3月分／常勤3.7人
		開成町(福祉課)	74,100	受託金一部(コーディネーター賞金)返戻
		NTTファイナンス(株)	15,398	電話料金(82-5222)3月分
福祉サービス部門			4,051,417	
安心センター事業			125,604	
日常生活自立支援事業		非常勤1人	18,600	給与3月勤務分
		(株)小田原ジムキ	107,004	事務消耗品
総合相談・援護事業			126,160	
総合生活相談		神奈川県弁護士会	60,000	法律相談業務@30,000×2人
生活福祉資金貸付		(株)小田原ジムキ	66,160	事務消耗品
在宅福祉サービス(介護保険外)			299,028	
福祉機器貸与事業		あしがら環境保全(株)	27,740	不要品廃棄
ふくし移送サービス		あしがら環境保全(株)	26,260	不要品廃棄
		さがみ信金 開成町	216	振込手数料
コミュニティバス運行事業		サポーター4人	178,095	業務手当3月分
		常勤0.2人	2,496	時間外手当3月分
		小田原年金事務所	13,271	社保3月分／常勤0.2人
		(株)ジャックス	50,950	燃料代3月給油分

財産目録明細表

社会福祉法人開成町社会福祉協議会
平成29年 3月31日 現在

P-6

サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
介護保険事業			2,136,448	
居宅介護支援事業	常勤0.6人		7,700	時間外手当3月分
	非常勤2人		321,380	給与3月勤務分
	小田原年金事務所		60,550	社保3月分／常勤0.6人・非常勤1人
	NTTファイナンス(株)		2,962	電話料金（46-7726）3月分
	NTTファイナンス(株)		55	FAX料金（85-3523）3月分50%
	日本郵便(株)		580	郵便後納3月分
通所介護事業	常勤0.6人		8,538	時間外手当3月分
	非常勤12人		1,326,539	給与3月勤務分
	丸紅新電力(株)		25,112	電気料金3月分4%
	小田原年金事務所		61,229	社保3月分／常勤0.6人・非常勤1人
	NTTファイナンス(株)		153	電話料金（85-3521）3月分
	NTTファイナンス(株)		55	FAX料金（85-3523）3月分50%
	ハマギンファイナンス		3,132	振替手数料2月分
	ハマギンファイナンス		3,348	振替手数料3月分
	(有)マルイ産業		122,472	ガス代3月分
	取引業者5件		99,792	食材料3月分
	取引業者2件		11,268	調味料3月分
	さがみ信金 開成町		432	振込手数料
	(株)ジャックス		8,632	燃料代3月給油分
	福祉会館管理運営		66,399	上下水道料金1-2月分50%
	小田原保健福祉事務所		6,120	検便代3月分
	地域包括支援センター事業			1,364,177
地域包括支援センター	開成町（保険健康課）		893,719	受託金一部（CM賃金）返戻
	常勤1.6人		40,465	時間外手当3月分
	非常勤1人		292,085	給与3月勤務分
	小田原年金事務所		125,907	社保3月分／常勤1.6人・非常勤1人
	NTTファイナンス(株)		7,287	電話料金（83-7688）3月分
	日本郵便(株)		488	郵便後納3月分
	KDDI（株）		1,526	携帯電話料 3月分
	居宅介護支援事業		2,700	ケアマネくん利用料3月分（50%）
公益事業区分				
福祉会館管理運営			1,271,858	
福祉会館管理運営			1,271,858	
福祉会館管理運営	日本郵便(株)		1,752	郵便後納3月分
	常勤0.3人		3,744	時間外手当3月分
	(有)金山商店		5,508	廃棄物処分代（H28.4-H29.3）
	シルバー人材センター		339,636	管理人業務3月分
	ジャパンエレベーター		29,160	エレベーター保守3月分
	総合警備保障(株)		42,120	夜間等警備保障業務1月-3月分
	シルバー人材センター		5,193	事業系廃棄物処理1-3月分
	丸紅新電力(株)		596,431	電気料金3月分95%
	小田原年金事務所		19,907	社保3月分／常勤0.3人
	NTTファイナンス(株)		1,607	電話料金（83-7552）3月分
	日本舞台機材(株)		226,800	吊物機構・舞台昇降・照明保守点検
計			5,854,513	

財産目録明細表

社会福祉法人開成町社会福祉協議会
平成29年 3月31日 現在

P-7

別表－14		勘定科目(小)	社会保険料預り金	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉・企画部門			524,810	
事業推進体制整備(会務等)			524,810	
事務局運営事業		常勤7人＋非常勤3人	524,810	保険料 本人負担3月分
計			524,810	

別表－15		勘定科目(小)	福祉会館利用料（次年度）預り金	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
公益事業区分				
福祉会館管理運営			547,946	
福祉会館管理運営			547,946	
福祉会館管理運営		H29福祉会館管理運営	547,946	利用者・団体等
		計	547,946	

別表－16		勘定科目(小)	その他の流動負債	
サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
社会福祉事業区分				
福祉・企画部門			-52,267	
事業推進体制整備(会務等)			-52,267	
事務局運営事業	居宅介護支援事業		9,234	雇用保険戻入H28.4-H29.3月分0.6人
	通所介護事業		11,827	雇用保険戻入H28.4-H29.3月分0.6人
	地域包括支援センター		27,536	雇用保険戻入H28.4-H29.3月分1.8人
	コミュニティバス運行事業		4,278	雇用保険戻入H28.4-H29.3月分0.2人
	福祉会館管理運営		6,417	雇用保険戻入H28.4-H29.3月分0.3人
	地域包括支援センター		29,400	福利協会 H28.1-3月分 *重複
	事務局運営事業		-319,959	H27町補助金 返納
	福祉基金積立事業	事務局運営事業	179,000	繰入金支出／受取利息配当金（予算額）
福祉サービス部門			424,300	
介護保険事業			373,542	
居宅介護支援事業	事務局運営事業		44,128	ゼロックス使用料金1ヶ月分
	通所介護事業	事務局運営事業	44,128	ゼロックス使用料金1ヶ月分
	福祉会館管理運営	福祉会館管理運営	90,148	上下水道料金H27.03-04月分50%[通所]
		福祉会館管理運営	80,362	上下水道料金H27.05-06月分50%[通所]
		福祉会館管理運営	74,276	上下水道料金H27.11-12月分50%[通所]
		福祉会館管理運営	72,366	上下水道料金H28.01-02月分50%[通所]
		通所介護事業	-31,866	利用者負担金3月分*重複入力
	地域包括支援センター事業			50,758
地域包括支援センター	事務局運営事業	44,128	ゼロックス使用料金1ヶ月分	
	事務局運営事業	6,630	福利協会 事業主負担3月分	

財産目録明細表

社会福祉法人開成町社会福祉協議会
平成29年 3月31日 現在

P-8

サービス区分 A		相手方	金額	摘要
サービス区分 B				
サービス区分 C				
公益事業区分				
福祉会館管理運営			532,189	
福祉会館管理運営			532,189	
福祉会館管理運営		開成町（福祉課）	12,640	町受託金 返戻
		開成町（福祉課）	1,597,925	減免分補填収入 戻入
		福祉会館管理運営	-1,074,345	H27利用料減免分補償金 返納
		福祉会館管理運営	-4,031	H27修繕費 返納
		計	904,222	

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

- (1)貯蔵品の評価方法

(2)有価証券の評価方法

(3)退職給与引当金の計上基準

(4)固定資産の減価償却の方法

＊車輜運搬具・器具及び備品

＊ファイナンス・リース取引に係るリース資産
- 総平均原価法

移動平均法

神奈川県福利協会加入し、退職給与引当金を計上

定額法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

3. 重要な会計方針の変更

- (1)収入決算額の計上基準を変更（現金主義⇒発生主義）しました。
- (2)事務局運営・通所介護事業の収支欠損分補填措置として福祉基金積立取崩(7,762千円)を行いました。

4. 法人で採用する退職給付制度

「神奈川県市町村職員退職手当組合退職手当支給条例」の規定割合により得た額を基準とする。

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

- 当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。
- (1)法人全体の財務諸表(第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式)

(2)事業区分別内訳表(第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式)

(3)財産目録
- 当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。
- (1)法人全体の財務諸表(第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式)

(2)事業区分別内訳表(第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式)

(3)社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式)

(4)公益事業における拠点区分別内訳表(第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式)

(5)各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア)福祉・企画部門 拠点区分（社会福祉事業）

①自治会福祉活動の支援

②ボランティアセンターの推進

③当事者活動の支援

④広報啓発事業の充実

⑤福祉教育事業の充実

⑥事業推進体制の整備

イ)福祉サービス部門 拠点区分（社会福祉事業）

①安心センター事業の充実

②総合相談・援護事業の充実

③在宅福祉サービスの推進（介護保険外）

④介護保険事業の推進

ウ)福祉会館管理運営事業 拠点区分（公益事業）

①福祉会館管理運営事業

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	1,000,000	0	0	1,000,000

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

該当なし

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。 (単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	10,017,800	7,781,131	2,236,669
器具及び備品	2,206,538	2,206,531	7
権利	72,800	0	72,800

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。 (単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
なし	0	0	0

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。 (単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
有価証券(H24第2回ハマ債5)	30,000,000	30,000,000	0
有価証券(H25第38回川崎市債)	40,000,000	40,000,000	0
有価証券(H25第4回ハマ債5)	50,000,000	50,000,000	0

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。 (単位:円)

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼務等	事業上の関係				
なし			0						0		0

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

監査報告書

平成 29 年 5 月 9 日

社会福祉法人 開成町社会福祉協議会
会 長 小 澤 清 司 様

社会福祉法人 開成町社会福祉協議会

監 事 金澤 幸男 

監 事 永日 英男 

監 事 藤井 宏 

平成 28 年度の業務執行状況並びに財務の状況について、事業報告及び会計報告、さらにはこの内容を証する関係帳簿及び証拠書類等を精査したところ、正確かつ適正な事業及び経理執行がなされたことを認めます。